

平成22年度  
授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第I部

平成23年3月

拓殖大学 自己点検・評価委員会



## はじめに

一方では、現代社会の大学教育に対する厳しい評価、他方では、斬新で充実した教育実現への要望に応えるために、我が国の多くの大学で学生アンケートを実施し、その授業改善への活用がなされております。

本学では、他大学に先駆けて全学的な「授業改善のための学生アンケート」を実施してきました。アンケート結果にもとづく学生の意見や授業効果を分析し、これらを各種の教育改善につなげ、学生の学修意欲を高め、効果的学修を促進し、国際化、情報化などにも対応した教育方法の工夫・改善等に、積極的に取り組んでまいりました。

また、平成19年度から各学部の「FD委員会」に加えて、全学的な「FD委員会」を設置し、アンケート結果に基づいた意欲的な授業改善の方策を検討しております。

本報告書は、平成22年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」について、「全体集計」（第Ⅰ部）と「科目別集計」（第Ⅱ部）の2分冊としました。第Ⅱ部には「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見と、これに対する担当教員の所見を掲載しています。さらに、「分野別集計」を加え、学部・学科目別にきめ細かな評価分析を試みております。

本報告書を活用し、教員各位が今回のデータを過去のデータと比較検討し、他の教員や他学部の状況をも参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いします。

大学・学部の教育目標を目指して、教員組織、教育環境を最大限に機能させた教育指導はもとより、学生の効果的学修のため、教育方法を工夫・改善することが常に求められております。

今後とも全教職員が一致協力して、FD活動を推進し、本学の教育改善の活性化につながることを切に希望します。

平成23年3月

拓殖大学学長  
自己点検・評価委員長  
渡辺利夫



# 目 次

はじめに

## I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の課題	3

## II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

## III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差	1 1
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差	
(1) 専任教員所属別	1 2
(2) 講師(非常勤)所属別	1 3
3. 履修登録者数別比較表	1 4
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部専門科目	1 5
②政経学部専門科目	1 6
③外国語学部専門科目	1 7
④工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	1 8
⑤国際学部専門科目	2 0
⑥教養教育科目	2 1
⑦外国語科目	2 2
⑧スポーツ・トレーニング科目	2 3
⑨教職・社教・日語科目	2 4
⑩ゼミ・外書講読科目	2 5
⑪全体（講義等科目）	2 6
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
①学年別	2 7
②学科別	2 8
(3) 満足度平均値	
①学科目別	3 0

②所属別	-----	3 1
③身分別	-----	3 2
④年齢別	-----	3 3
5. 学科目別 回答の分析	-----	3 4
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	-----	3 8

#### IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目 (コース別)	-----	4 1
2. 政経学部専門科目 (分野別)	-----	4 2
3. 外国語学部専門科目 (学科別)	-----	4 3
4. 工学部専門科目		
(1) 実験・実習科目 (学科別)	-----	4 4
(2) 学科・学科目別 (講義等科目)	-----	4 5
5. 国際学部科目		
(1) 英語群	-----	4 6
(2) 地域言語群	-----	4 7
(3) 基礎科目群	-----	4 8
(4) 専門共通科目	-----	4 9
(5) 専門コース科目	-----	5 0
6. 教養教育等科目		
(1) 講義等科目 (群別)	-----	5 1
(2) 外国語科目 (1 2カ国語)	-----	5 2
(3) スポーツ・トレーニング科目	-----	5 3
(4) 教職課程・社会教育主事講座科目、日本語教員養成基礎講座科目	-----	5 4

#### V 評価及び課題

1. 商学部	-----	5 7
2. 政経学部	-----	6 1
3. 外国語学部	-----	6 7
4. 工学部	-----	7 3
5. 国際学部	-----	8 1
6. 教養教育	-----	8 7
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	-----	1 0 0

#### 参考資料

実施要領	-----	1 0 3
アンケート様式	-----	1 0 7
科目別集計様式	-----	1 1 3

## I 学生アンケートの実施について





## 1. 経緯と実施方針

教員による自発的アンケート調査は、以前から行われてきたが、平成4年に拓殖大学自己評価委員会（現「自己点検・評価委員会」）を設置し、平成6年度から全学的な「学生による授業評価」を実施した。その結果は各学部および全学的なFD委員会を通じて、授業の内容・方法の改善に役立っている。平成16年度からは、名称を「授業改善のための学生アンケート」へ変更して、内容の大幅な改善を図った。

## 2. 実施状況

平成22年度の「授業改善のための学生アンケート」は同年11月8日から同12月10日（予備日12月11日から12月20日）の間に全学で実施され、専任教員（256名）並びに講師（非常勤）（380名）のうち各1名を除く全員の協力があつた。

実施科目数は専任教員の557科目、講師（非常勤）の727科目の合計1,284科目であつた。アンケートの回答数は延べ41,925件からあり、科目数（昨年度1,257科目）、回答数（昨年度41,390件）ともに前年より増加している。よって、過去最大の調査規模となつた。

## 3. 集計結果の概要

全体としては昨年度とほぼ同様な傾向を示しているが、各学部とも設問項目の前年比上昇傾向にある。受講科目あたりの履修登録者数は減少傾向にあつて、満足度も上昇している（ただし200～300名クラスの満足度は下降）。満足度の特に高い科目は、教養教育の第10群、高学年に配当された英語や地域言語、スポーツ・トレーニング科目、ゼミ・外書講読科目などの師弟関係の密な科目である。

ところで、予習・復習は年々上昇傾向にあるが、依然として調査項目中最下位である。この値の高い外国語学部（英米2.93、中国3.08、スペイン3.06）や国際学部（開発3.29、アジア3.11、国際3.09）は、その授業の満足度も外国語学部（それぞれ3.90、3.82、4.01）、国際学部（それぞれ4.24、4.14、3.90）とその成果が結実している。科目や教室の状況によって宿題等を課しにくい場合があるが、学士力の向上には欠かせない教育ツールである。

## 4. 今後の課題

最近導入したBlackBoardが予習・復習に活用され始めたが、この調査には表れていない。また、アンケート調査の時点で、既に受講を諦めてしまった学生（欠席）の、その科目を放棄した理由も知りたいものである。このように、新たな視点から調査項目を見直すことも将来的に必要と思われる。

この「授業改善のための学生アンケート」調査の目的は、この結果を授業内容・方法の

改善に役立て、教育活動の充実に資することにあるから、この集計を個々の教員がそれぞれの授業の改善に役立て、各学部のFD委員会を中心とした組織的な授業改善のために活用されたい。

平成23年3月

拓殖大学 自己点検・評価委員会  
副委員長 三代川 正秀

## II 実施状況



## 1. 実施期間

平成22年11月8日(月)～12月10日(金)

※予備 12月11日(土)～12月20日(月)

## 2. 実施教員数

### 1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
商 学 部	52	52	0	100.0%
政 経 学 部	57	57	0	100.0%
外国語学部	41	40	1	97.6%
工 学 部	62	62	0	100.0%
国 際 学 部	31	31	0	100.0%
兼 担	13	13	0	100.0%
合 計	256	255	1	99.6%

(注) 専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

### 2) 講師(非常勤)

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
商 学 部	112	112	0	100.0%
政 経 学 部	119	119	0	100.0%
外国語学部	49	48	1	98.0%
工 学 部	38	38	0	100.0%
国 際 学 部	49	49	0	100.0%
兼 担	13	13	0	100.0%
合 計	380	379	1	99.7%

(注) 講師(非常勤)：客員教授を含む

### 3) 全体

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率 (%)
専 任 教 員	256	255	1	99.6%
非常勤講師	380	379	1	99.7%
合 計	636	634	2	99.7%

### 3. 実施科目数

所 属	専任教員	非常勤講師	合 計
商 学 部	112	210	322
政 経 学 部	129	189	318
外 国 語 学 部	95	104	199
工 学 部	112	48	160
国 際 学 部	89	154	243
兼 担	20	22	42
合 計	557	727	1,284

### 4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	無回答	合 計
商 学 部	3,476	3,783	2,671	808	17	10,755
政 経 学 部	4,028	3,658	2,952	1,160	32	11,830
外 国 語 学 部	1,351	835	589	184	38	2,997
工 学 部	2,406	2,118	1,429	91	109	6,153
国 際 学 部	2,876	2,751	1,267	361	213	7,468
無 回 答	95	149	88	33	2,357	2,722
合 計	14,232	13,294	8,996	2,637	2,766	41,925

(注) 「無回答」は、「所属学科」「学年」についての未記入を示す

### 5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部 専門科目	124					2	126
政経学部 専門科目	5	130		1		7	143
外国語学部 専門科目	1	1	109			0	111
工学部 講義	1			83		0	84
工学部 実験実習				32		0	32
国際学部 専門科目		2	1		58	5	66
教養科目・総合教育科目	48	26	25	8	31	8	146
外国語科目	117	107	52	29	150	16	471
スポーツ・トレーニング科目	8	18		2		0	28
教職・社教・日本語科目	7	18	5	2	4	2	38
ゼミ・外書講読	11	16	7	3		2	39
合 計	322	318	199	160	243	42	1,284

(注) 教養科目・総合教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

### Ⅲ 全 体 集 計





1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部 専門科目	政経学 部専門 科目	外国語 学部 専門科 目	工学部 専門科 目（講 義）	国際学 部専門 科目	教養科 目・総 合教育 科目	外国語 科目	教職・ 社教・ 日語科 目	ゼミ・ 外書講 読	全体
		科目 数：(126)	科目 数：(143)	科目 数：(111)	科目 数：(84)	科目 数：(66)	科目 数：(146)	科目 数：(471)	科目 数：(38)	科目 数：(39)	科目 数：(1224)
I-1	平均値	4.49	4.40	4.44	4.63	4.28	4.44	4.46	4.48	4.60	4.46
	標準偏差	0.21	0.23	0.33	0.19	0.23	0.29	0.30	0.30	0.31	0.29
I-2	平均値	3.99	3.74	3.92	3.63	3.74	3.74	4.11	4.26	3.96	3.94
	標準偏差	0.59	0.82	0.58	0.53	0.50	0.73	0.46	0.49	0.73	0.62
I-3	平均値	2.72	2.60	3.36	2.81	2.89	2.68	3.30	2.98	3.51	3.03
	標準偏差	0.45	0.43	0.62	0.50	0.35	0.51	0.57	0.29	0.71	0.60
II-1	平均値	4.01	3.99	4.23	3.70	3.99	4.03	4.11	4.22	4.32	4.06
	標準偏差	0.39	0.41	0.42	0.48	0.35	0.50	0.44	0.47	0.50	0.46
II-4	平均値	3.77	3.74	4.05	3.43	3.76	3.84	3.93	3.97	4.28	3.86
	標準偏差	0.46	0.44	0.49	0.55	0.37	0.56	0.53	0.45	0.47	0.53
II-5	平均値	4.05	3.99	4.28	3.67	3.93	4.09	4.16	4.20	4.45	4.10
	標準偏差	0.43	0.47	0.47	0.60	0.44	0.53	0.49	0.38	0.46	0.51
II-6	平均値	3.90	3.95	4.08	3.71	3.99	3.98	4.03	4.04	4.18	3.99
	標準偏差	0.48	0.50	0.43	0.44	0.36	0.51	0.41	0.41	0.48	0.45
II-7	平均値	3.83	3.84	4.11	3.61	3.96	3.94	4.03	3.98	4.19	3.96
	標準偏差	0.50	0.54	0.41	0.49	0.40	0.55	0.43	0.39	0.48	0.49
II-8	平均値	4.05	4.20	4.24	3.68	4.08	4.10	4.17	4.35	4.41	4.13
	標準偏差	0.45	0.44	0.40	0.55	0.40	0.53	0.44	0.38	0.46	0.48
II-9	平均値	3.64	3.64	4.04	3.29	3.75	3.79	3.92	4.00	4.25	3.82
	標準偏差	0.42	0.37	0.45	0.51	0.34	0.54	0.48	0.43	0.45	0.50
II-10	平均値	3.66	3.71	4.04	3.37	3.79	3.82	3.89	4.09	4.20	3.83
	標準偏差	0.38	0.35	0.43	0.52	0.34	0.48	0.45	0.41	0.44	0.47
II-11	平均値	3.63	3.65	3.93	3.35	3.81	3.73	3.77	4.10	4.25	3.75
	標準偏差	0.42	0.38	0.45	0.53	0.37	0.48	0.50	0.43	0.44	0.49
III	平均値	3.88	3.86	4.13	3.49	3.87	3.91	4.03	4.11	4.35	3.95
	標準偏差	0.46	0.39	0.47	0.54	0.38	0.53	0.52	0.43	0.50	0.51

○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.55	3.52	3.33	3.69	3.45	3.46	3.40	3.42	3.35	3.45
	標準偏差	0.29	0.25	0.38	0.32	0.24	0.34	0.33	0.25	0.36	0.33
II-3	平均値	3.28	3.27	3.15	3.37	3.21	3.25	3.22	3.14	3.08	3.23
	標準偏差	0.25	0.27	0.22	0.24	0.17	0.27	0.25	0.15	0.25	0.25

(注) I-4は、複数回答項目のため、「5. 回答の分布」を参照

## 2. 教員所属別（講義等科目）

### （1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数：(111)	科目数：(125)	科目数：(95)	科目数：(81)	科目数：(89)	科目数：(20)	科目数：(521)	科目数：(703)	科目数：(1224)
I-1	平均値	4.50	4.45	4.49	4.60	4.42	4.52	4.49	4.44	4.46
	標準偏差	0.23	0.25	0.34	0.19	0.28	0.23	0.26	0.30	0.29
I-2	平均値	4.01	4.02	3.88	3.72	3.98	3.61	3.92	3.95	3.94
	標準偏差	0.60	0.59	0.62	0.57	0.51	0.63	0.60	0.63	0.62
I-3	平均値	2.85	2.86	3.33	2.86	3.21	2.88	3.01	3.05	3.03
	標準偏差	0.56	0.57	0.66	0.50	0.51	0.69	0.60	0.61	0.60
II-1	平均値	3.98	4.07	4.22	3.79	4.14	4.01	4.05	4.08	4.06
	標準偏差	0.39	0.47	0.43	0.45	0.36	0.51	0.45	0.46	0.46
II-4	平均値	3.76	3.87	4.07	3.50	3.90	3.74	3.82	3.89	3.86
	標準偏差	0.47	0.53	0.42	0.50	0.40	0.61	0.51	0.55	0.53
II-5	平均値	4.05	4.11	4.28	3.80	4.09	4.04	4.07	4.11	4.10
	標準偏差	0.45	0.50	0.46	0.51	0.43	0.63	0.49	0.52	0.51
II-6	平均値	3.94	3.94	4.05	3.78	4.08	3.96	3.96	4.01	3.99
	標準偏差	0.38	0.64	0.41	0.41	0.37	0.49	0.47	0.44	0.45
II-7	平均値	3.80	3.91	4.09	3.68	4.08	3.81	3.91	3.99	3.96
	標準偏差	0.50	0.63	0.40	0.48	0.42	0.65	0.53	0.45	0.49
II-8	平均値	4.10	4.24	4.21	3.77	4.18	4.33	4.13	4.14	4.13
	標準偏差	0.44	0.49	0.42	0.49	0.39	0.35	0.47	0.48	0.48
II-9	平均値	3.70	3.78	4.03	3.41	3.91	3.74	3.77	3.85	3.82
	標準偏差	0.46	0.49	0.40	0.50	0.37	0.58	0.49	0.51	0.50
II-10	平均値	3.74	3.82	4.03	3.47	3.92	3.82	3.80	3.84	3.83
	標準偏差	0.42	0.46	0.38	0.49	0.38	0.53	0.46	0.47	0.47
II-11	平均値	3.69	3.78	3.95	3.42	3.85	3.89	3.75	3.75	3.75
	標準偏差	0.43	0.48	0.41	0.49	0.38	0.55	0.47	0.51	0.49
III	平均値	3.89	4.01	4.11	3.59	3.98	4.02	3.93	3.97	3.95
	標準偏差	0.46	0.49	0.44	0.51	0.39	0.56	0.49	0.53	0.51

#### ○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.55	3.48	3.34	3.62	3.42	3.50	3.48	3.43	3.45
	標準偏差	0.30	0.29	0.38	0.34	0.24	0.33	0.32	0.33	0.33
II-3	平均値	3.29	3.22	3.15	3.37	3.23	3.17	3.24	3.23	3.23
	標準偏差	0.27	0.27	0.21	0.23	0.19	0.17	0.25	0.25	0.25

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

(2) 講師（非常勤）所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数：(203)	科目数：(175)	科目数：(104)	科目数：(45)	科目数：(154)	科目数：(22)	科目数：(703)	科目数：(521)	科目数：(1224)
I-1	平均値	4.51	4.38	4.47	4.54	4.32	4.60	4.44	4.49	4.46
	標準偏差	0.27	0.29	0.30	0.25	0.31	0.26	0.30	0.26	0.29
I-2	平均値	3.95	3.87	4.02	3.70	4.04	4.22	3.95	3.92	3.94
	標準偏差	0.67	0.75	0.56	0.51	0.50	0.36	0.63	0.60	0.62
I-3	平均値	3.00	2.81	3.13	2.85	3.28	3.68	3.05	3.01	3.03
	標準偏差	0.64	0.54	0.61	0.56	0.50	0.54	0.61	0.60	0.60
II-1	平均値	4.15	4.03	4.03	3.73	4.12	4.34	4.08	4.05	4.06
	標準偏差	0.44	0.44	0.55	0.54	0.38	0.31	0.46	0.45	0.46
II-4	平均値	3.97	3.82	3.84	3.56	3.93	4.20	3.89	3.82	3.86
	標準偏差	0.55	0.48	0.67	0.67	0.44	0.41	0.55	0.51	0.53
II-5	平均値	4.19	4.06	4.13	3.74	4.12	4.36	4.11	4.07	4.10
	標準偏差	0.50	0.48	0.57	0.74	0.47	0.33	0.52	0.49	0.51
II-6	平均値	4.03	4.00	3.98	3.78	4.05	4.18	4.01	3.96	3.99
	標準偏差	0.46	0.40	0.50	0.47	0.38	0.42	0.44	0.47	0.45
II-7	平均値	4.02	3.93	4.01	3.76	4.05	4.23	3.99	3.91	3.96
	標準偏差	0.48	0.43	0.46	0.56	0.38	0.30	0.45	0.53	0.49
II-8	平均値	4.17	4.20	4.08	3.80	4.15	4.28	4.14	4.13	4.13
	標準偏差	0.49	0.45	0.51	0.61	0.41	0.39	0.48	0.47	0.48
II-9	平均値	3.88	3.74	3.89	3.46	3.95	4.26	3.85	3.77	3.82
	標準偏差	0.52	0.40	0.58	0.65	0.43	0.41	0.51	0.49	0.50
II-10	平均値	3.86	3.78	3.88	3.47	3.94	4.15	3.84	3.80	3.83
	標準偏差	0.45	0.42	0.54	0.57	0.39	0.35	0.47	0.46	0.47
II-11	平均値	3.74	3.67	3.76	3.43	3.87	4.14	3.75	3.75	3.75
	標準偏差	0.50	0.46	0.57	0.57	0.45	0.35	0.51	0.47	0.49
III	平均値	4.03	3.91	3.95	3.61	4.05	4.16	3.97	3.93	3.95
	標準偏差	0.55	0.44	0.60	0.65	0.47	0.40	0.53	0.49	0.51

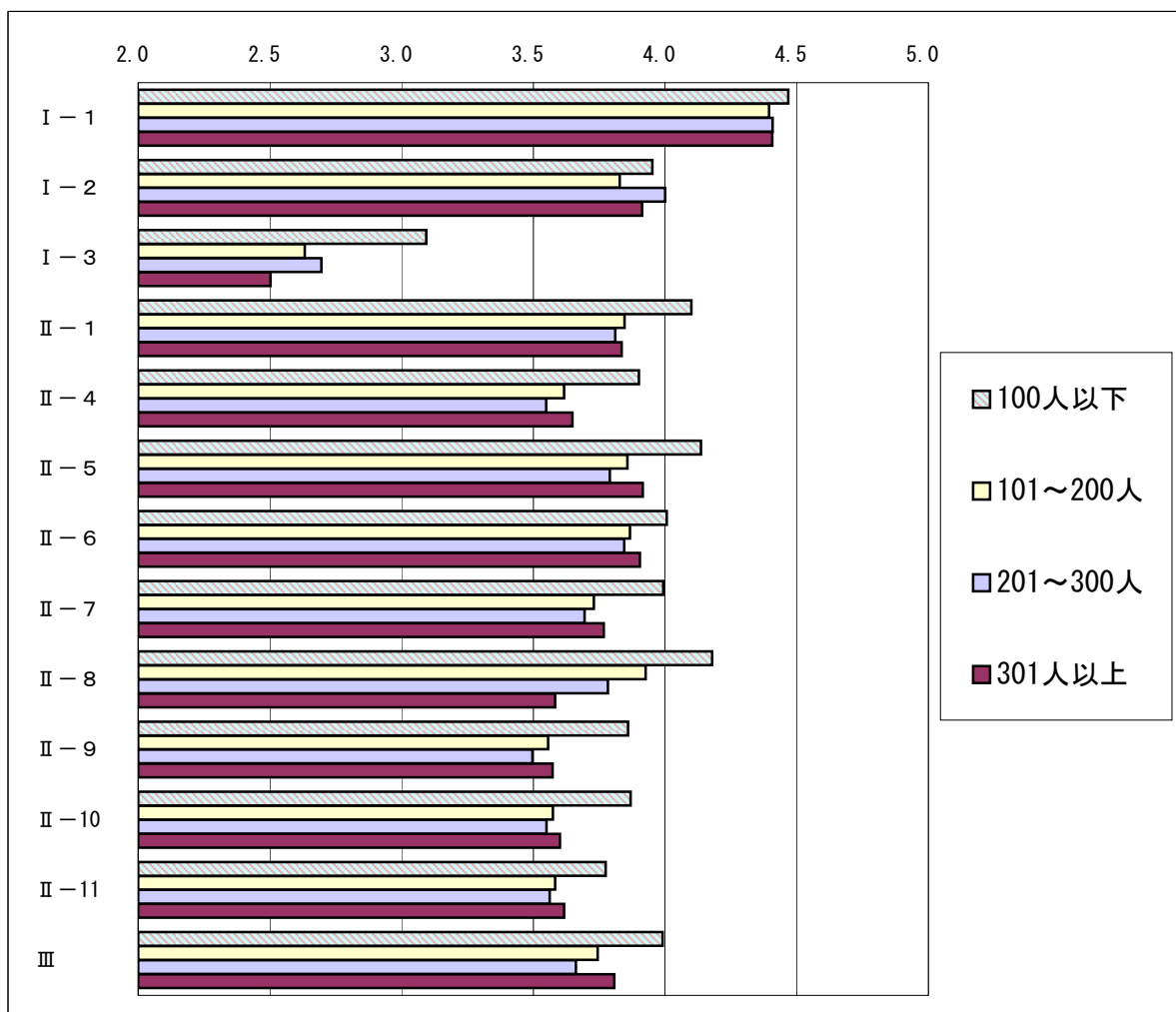
○3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.43	3.44	3.39	3.52	3.45	3.30	3.43	3.48	3.45
	標準偏差	0.33	0.30	0.37	0.40	0.34	0.21	0.33	0.32	0.33
II-3	平均値	3.24	3.21	3.21	3.23	3.25	3.15	3.23	3.24	3.23
	標準偏差	0.27	0.25	0.26	0.24	0.24	0.23	0.25	0.25	0.25

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

### 3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) I-4受講動機(複数回答)、II-2難易度、II-3進度(3の回答が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

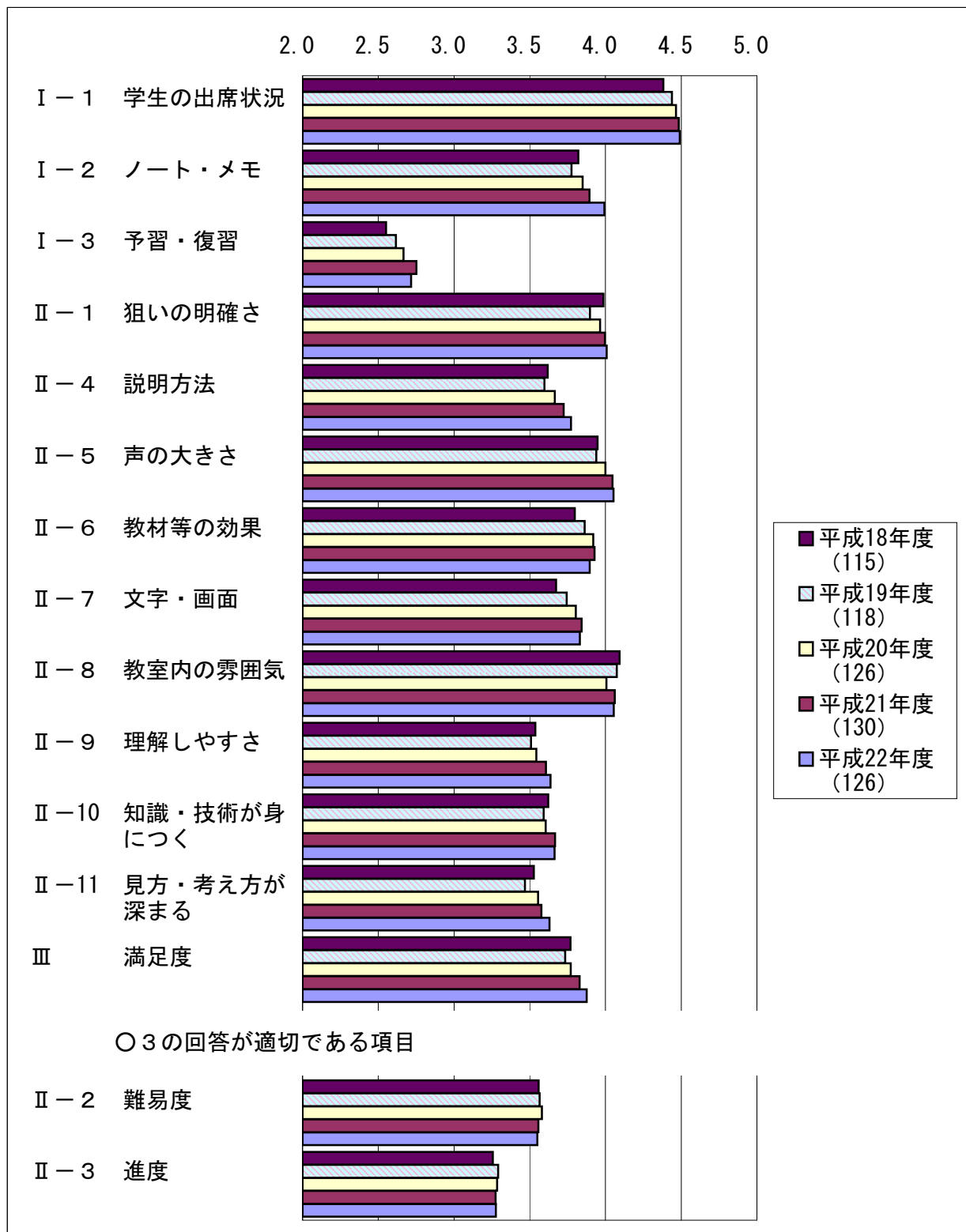
#### ○ 平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		1,050	116	37	21
I-1	学生の出席状況	4.47	4.39	4.41	4.41
I-2	ノート・メモ	3.95	3.83	4.00	3.91
I-3	予習・復習	3.09	2.63	2.70	2.50
II-1	狙いの明確さ	4.10	3.85	3.81	3.84
II-4	説明方法	3.90	3.62	3.55	3.65
II-5	声の大きさ	4.14	3.86	3.79	3.92
II-6	教材等の効果	4.01	3.87	3.85	3.91
II-7	文字・画面	3.99	3.73	3.69	3.77
II-8	教室内の雰囲気	4.18	3.93	3.78	3.58
II-9	理解しやすさ	3.86	3.56	3.50	3.57
II-10	知識・技術が身につく	3.87	3.57	3.55	3.60
II-11	見方・考え方が深まる	3.78	3.58	3.56	3.62
III	満足度	3.99	3.75	3.66	3.81

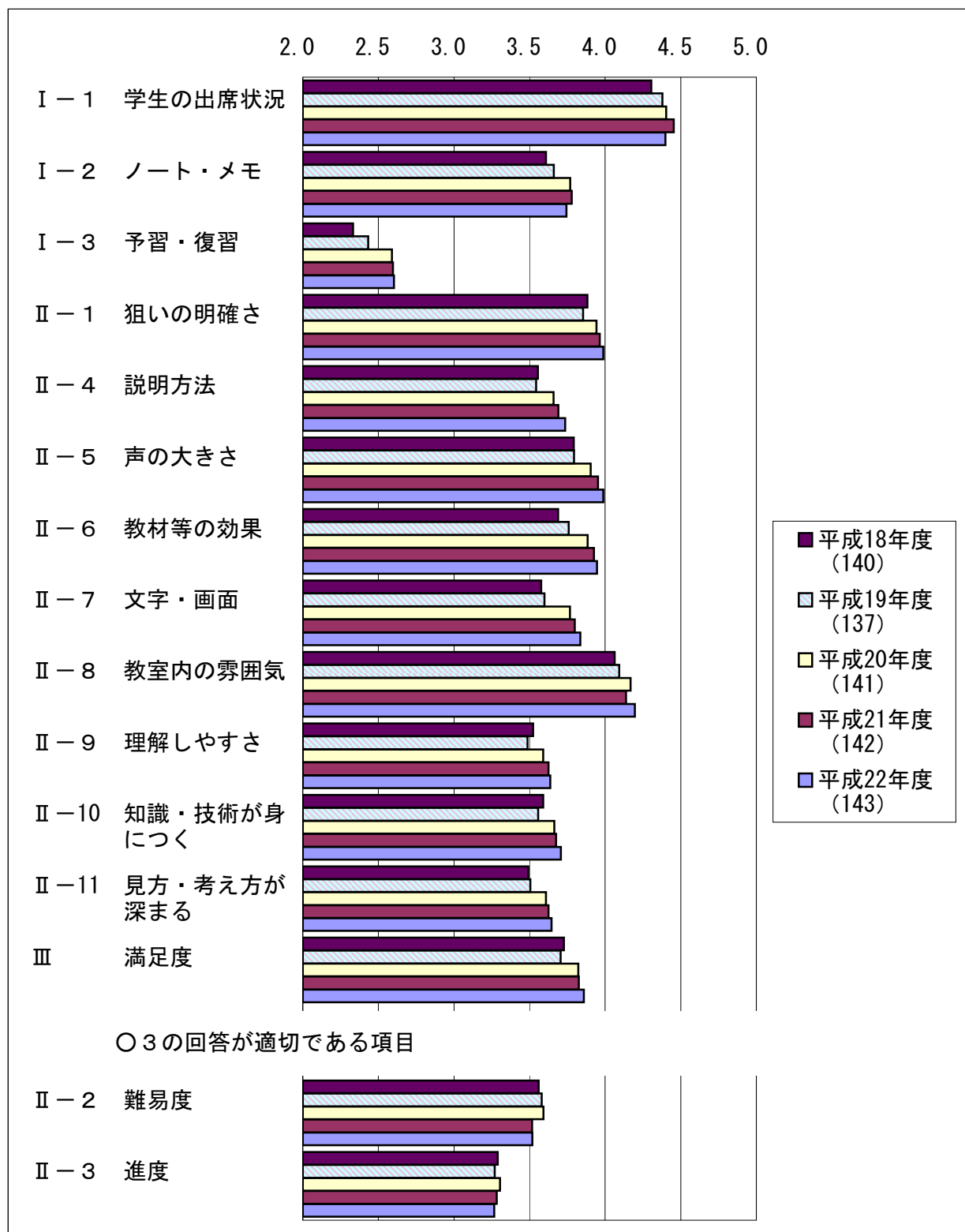
#### 4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

##### (1) 学科目別平均値

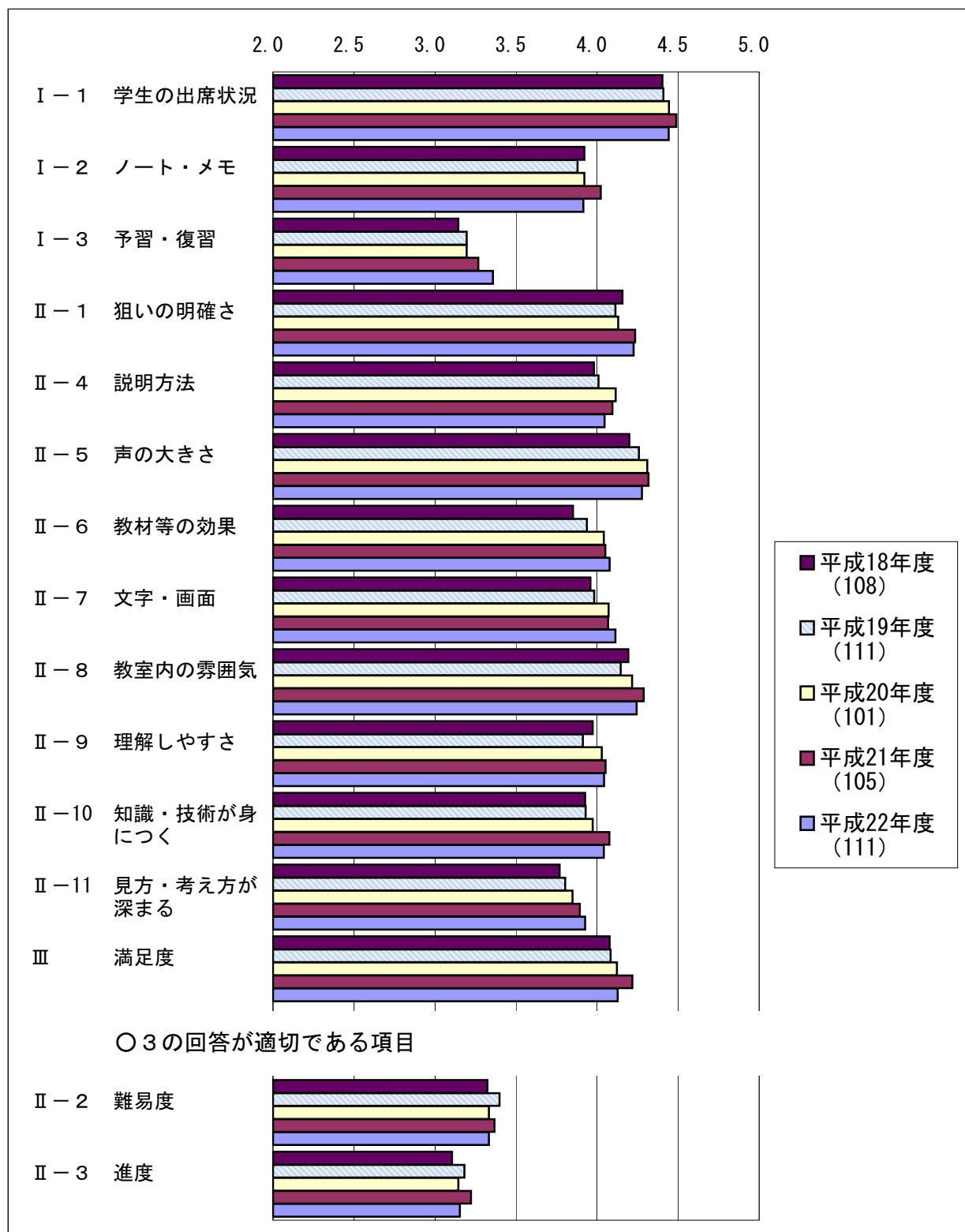
##### ① 商学部専門科目



② 政経学部専門科目

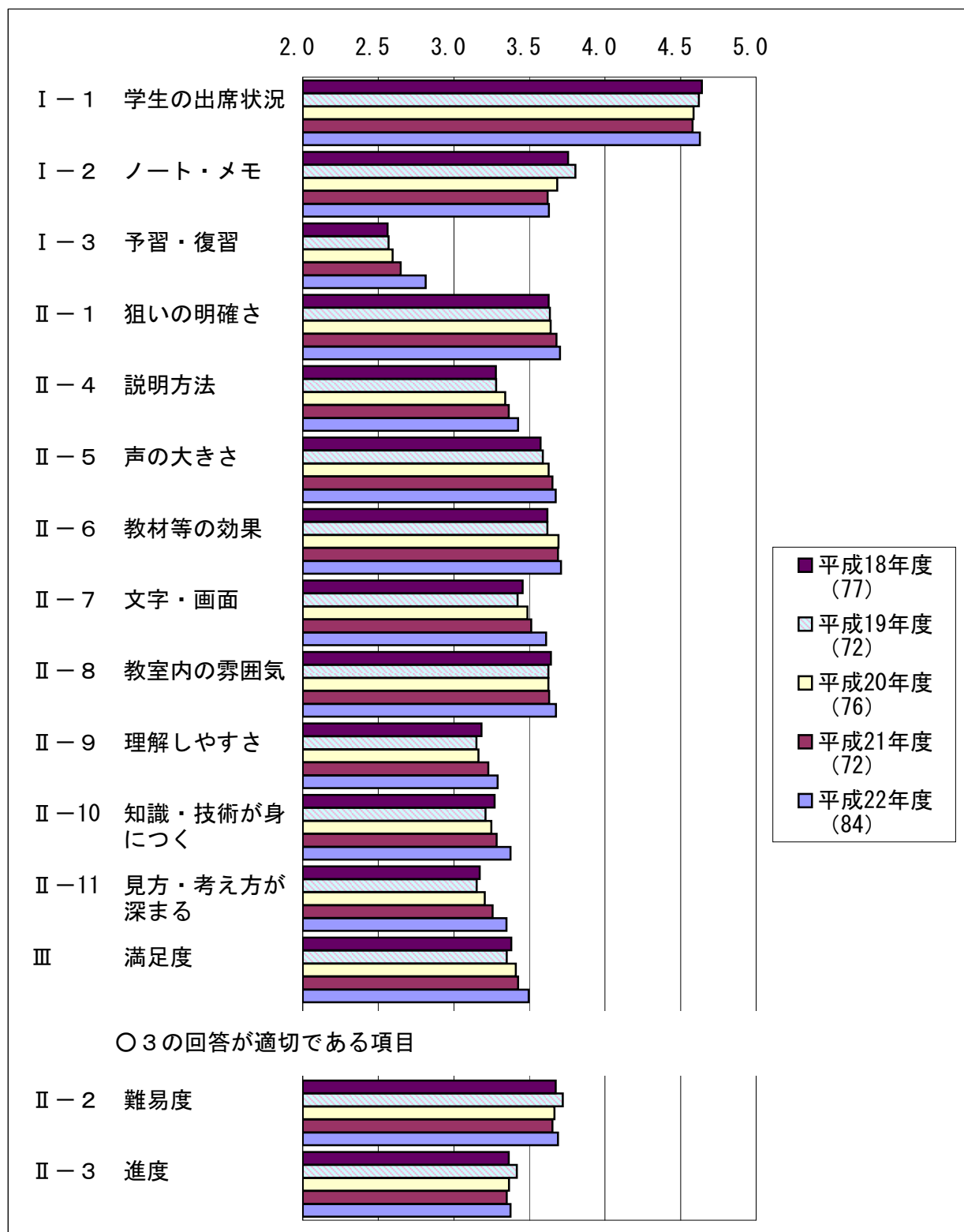


③ 外国語学部専門科目



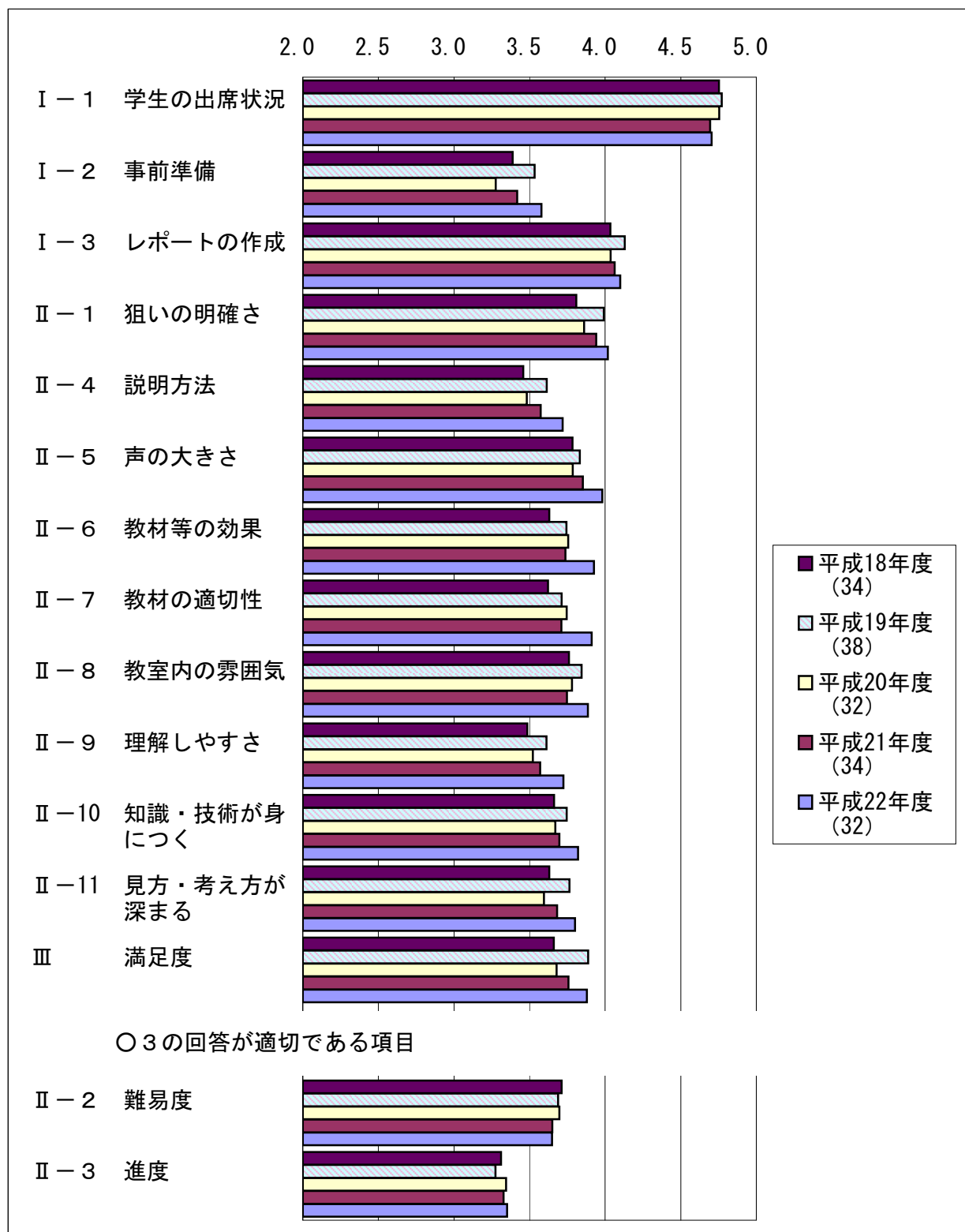
④ 工学部専門科目

・講義等科目

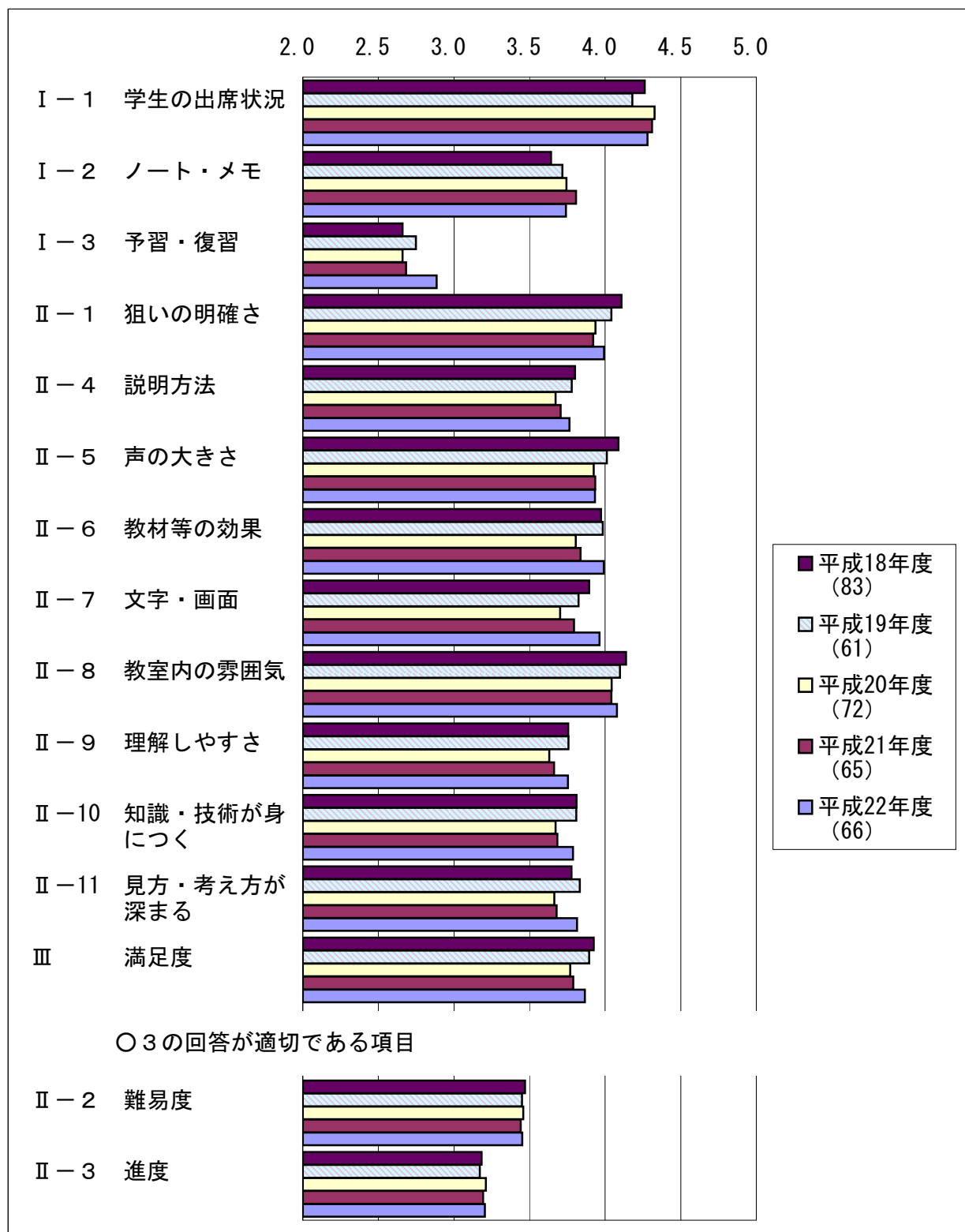




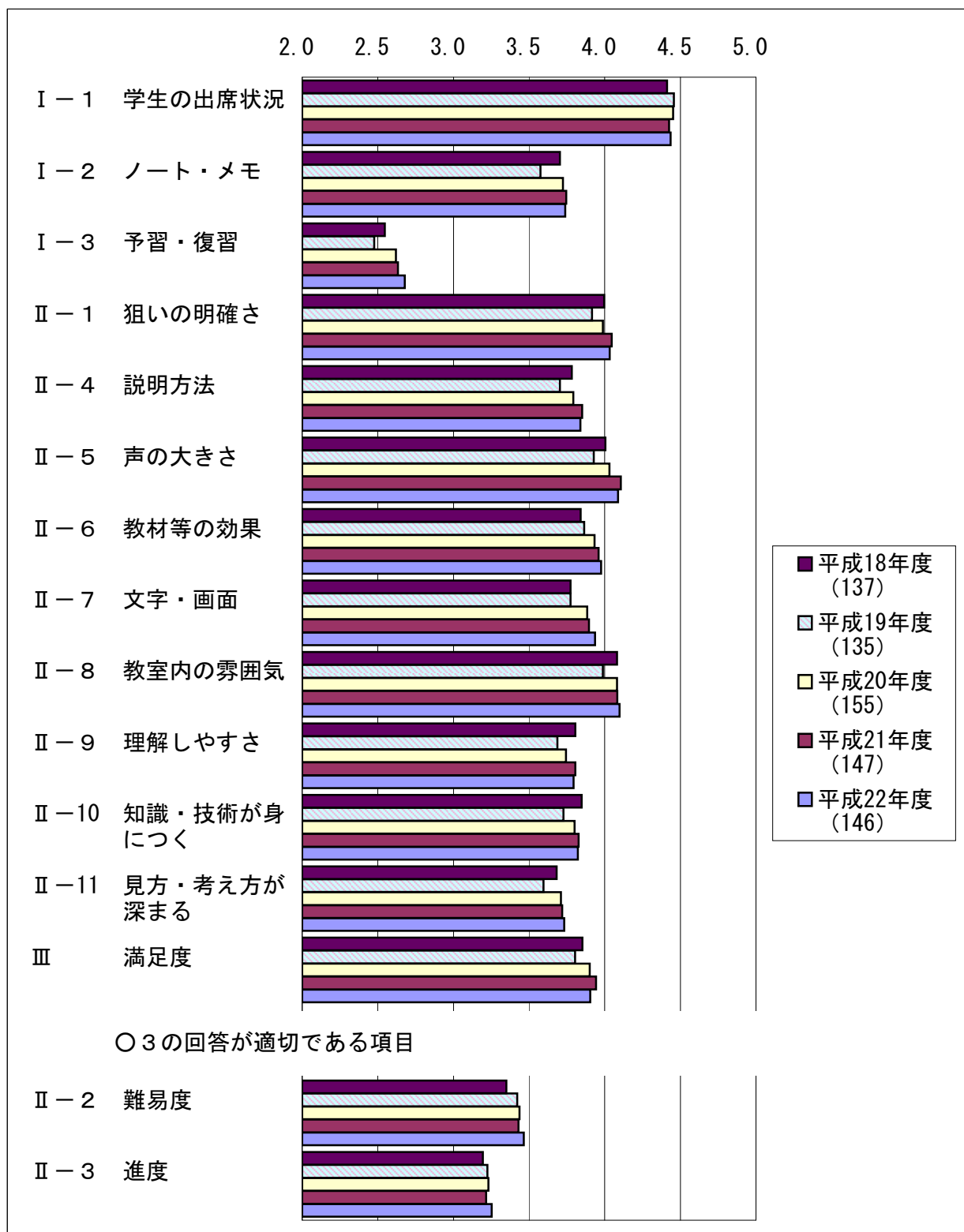
・工学部 実験・実習科目



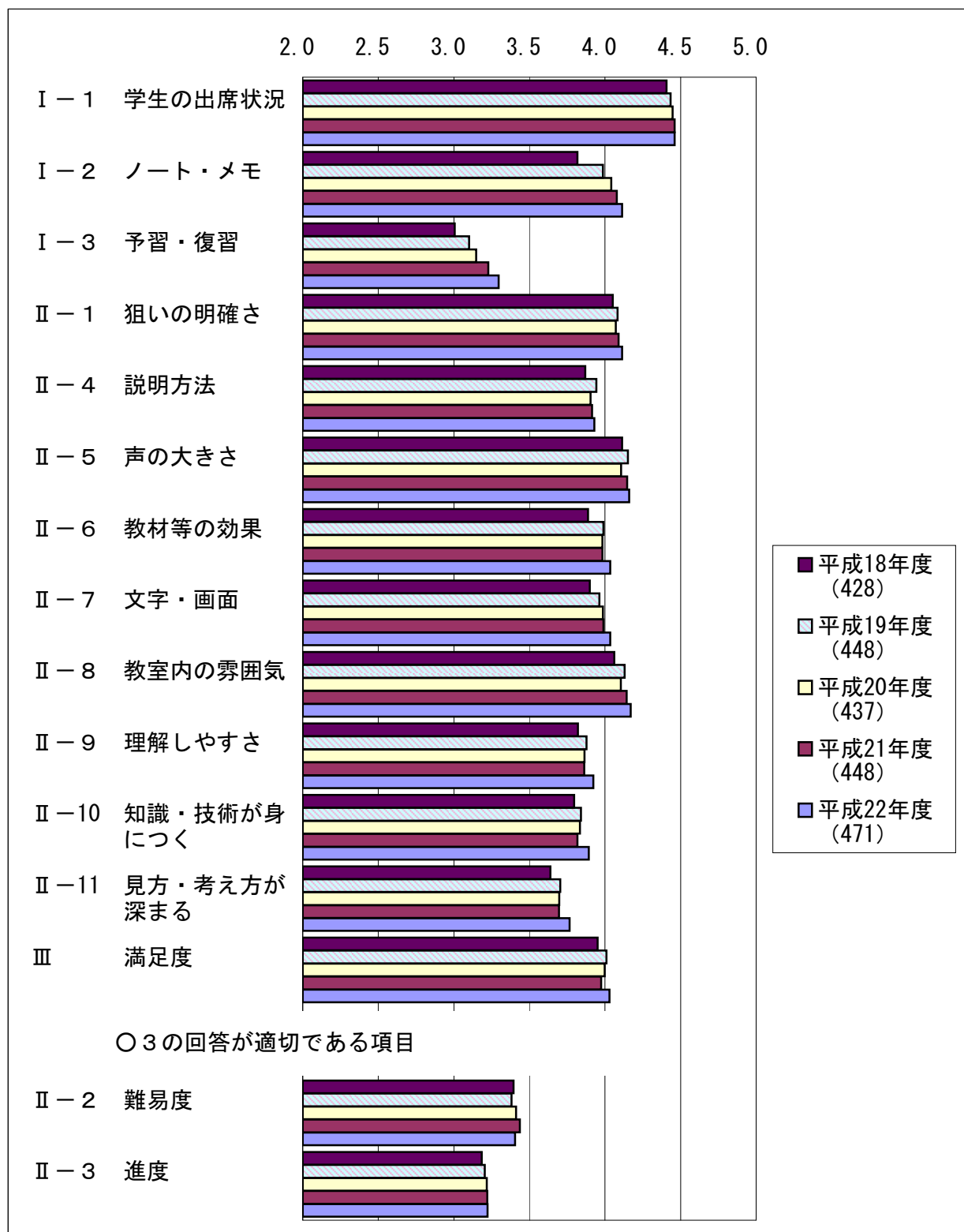
⑤ 国際学部専門科目



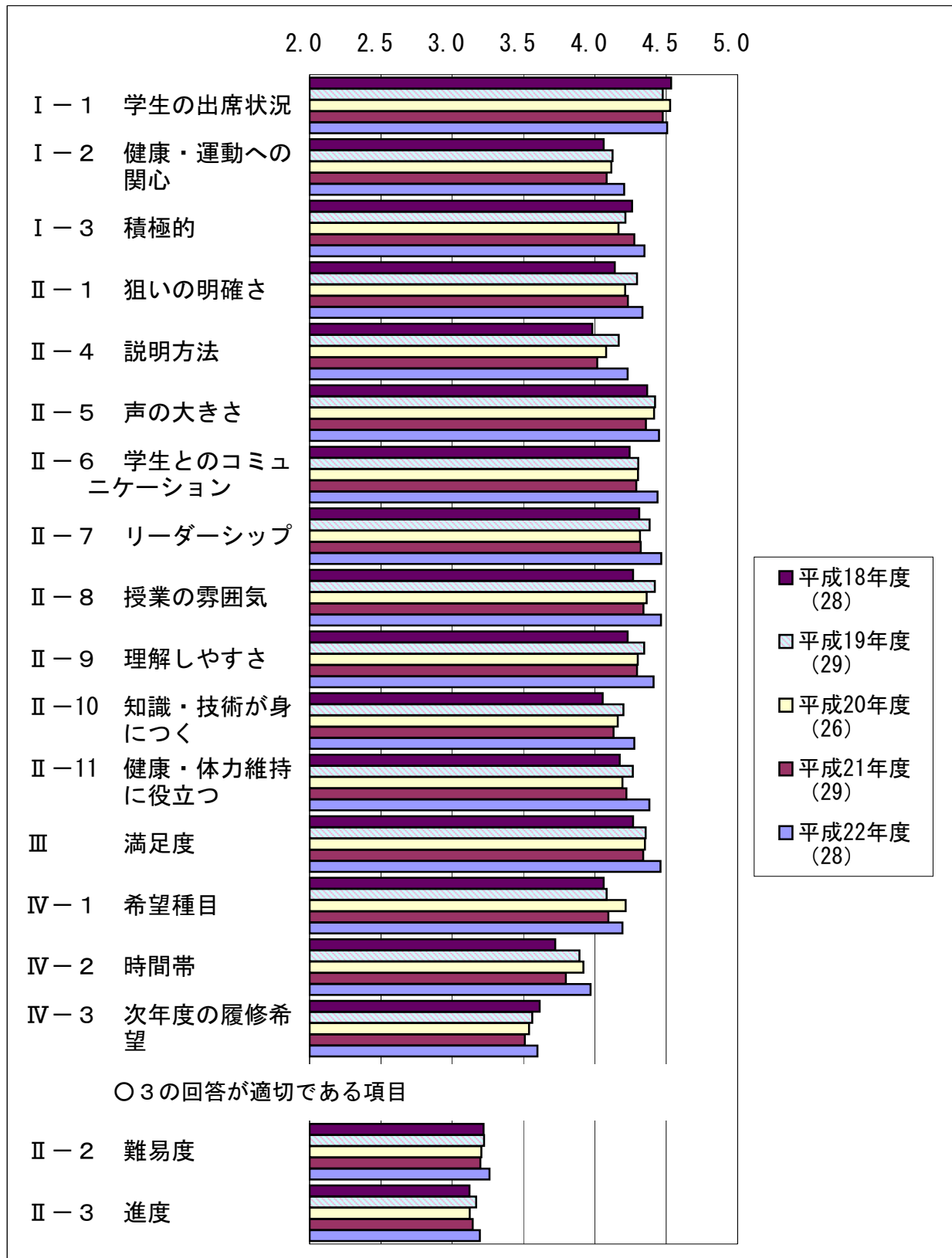
⑥ 教養教育科目



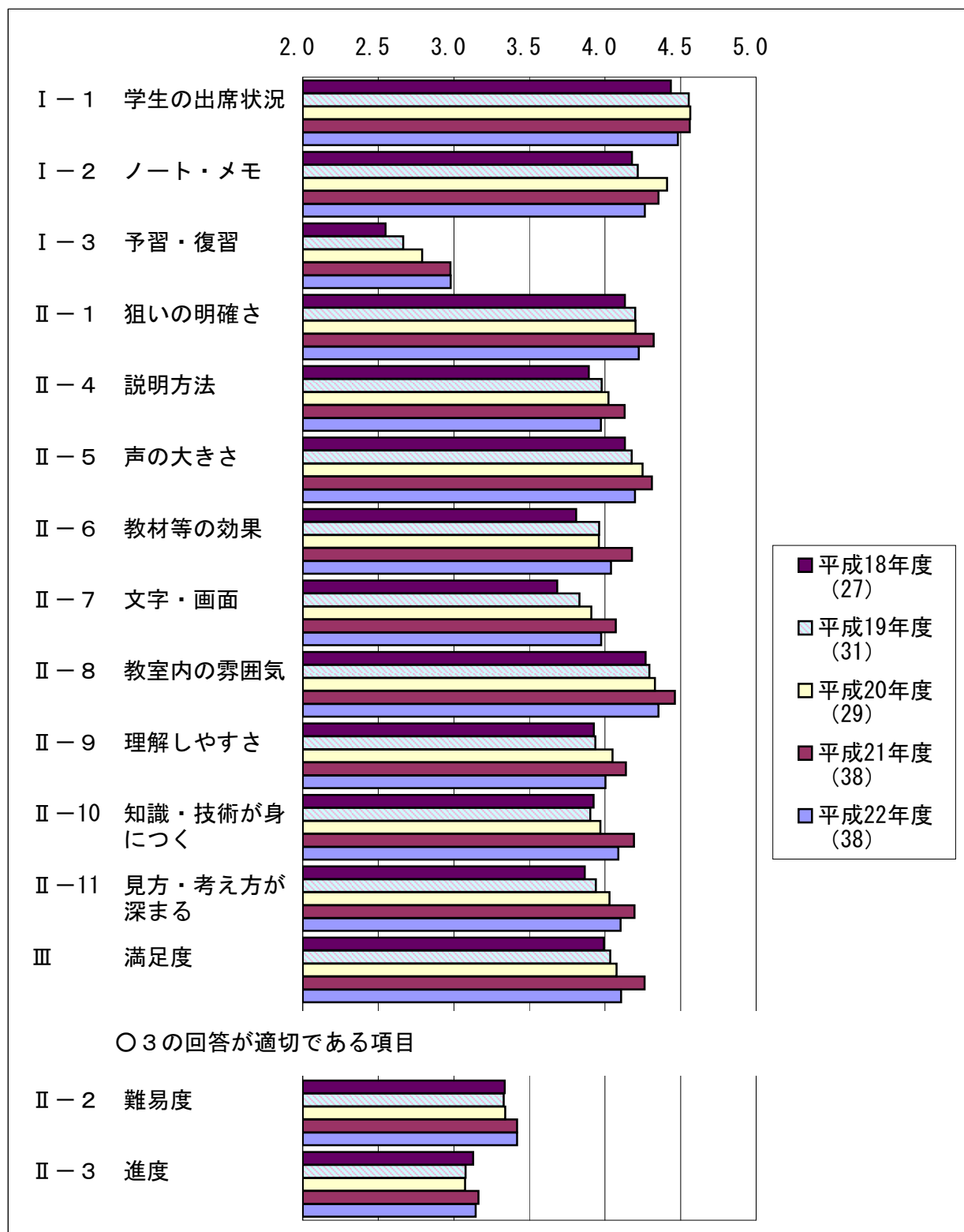
⑦ 外国語科目



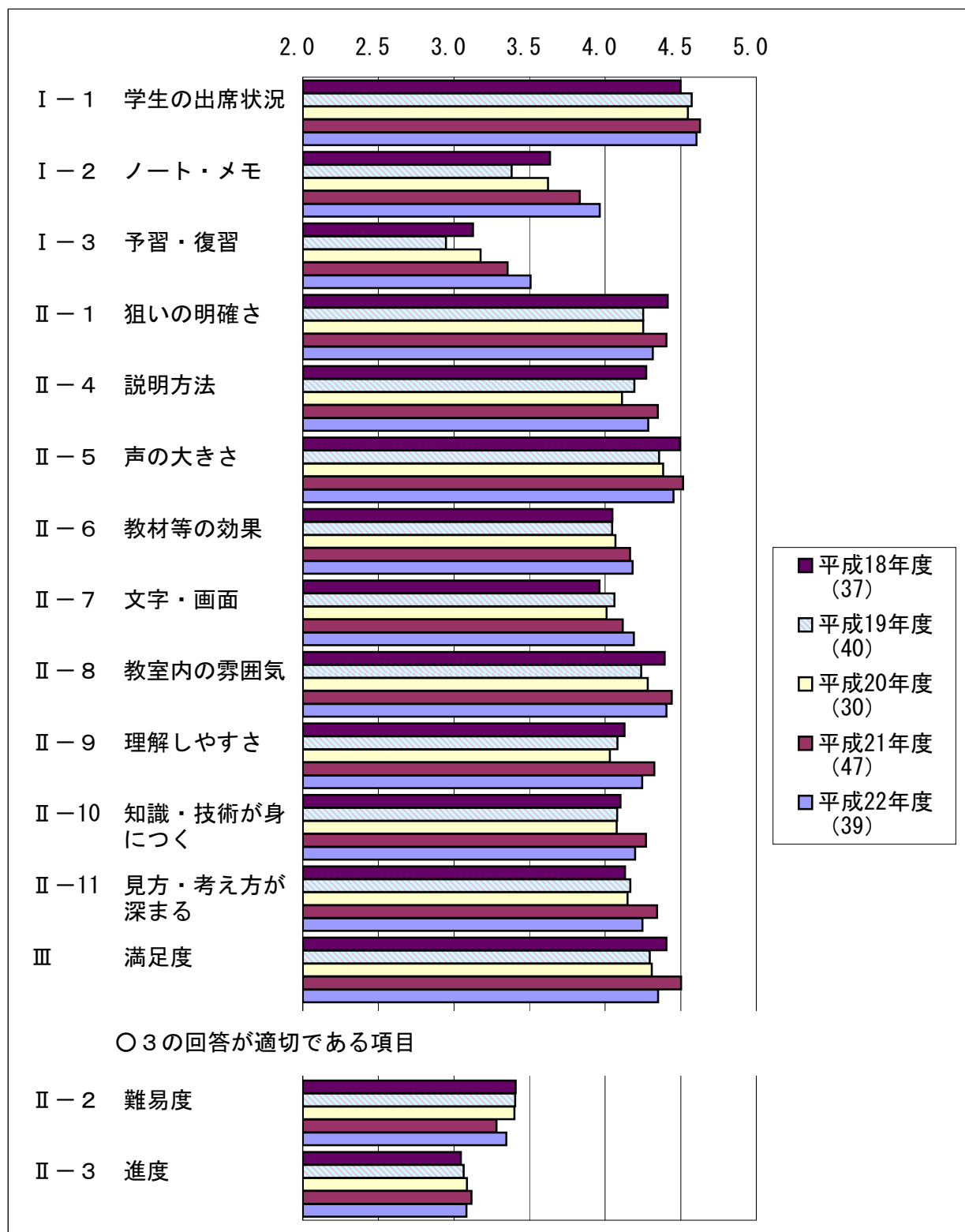
⑧ スポーツ・トレーニング科目



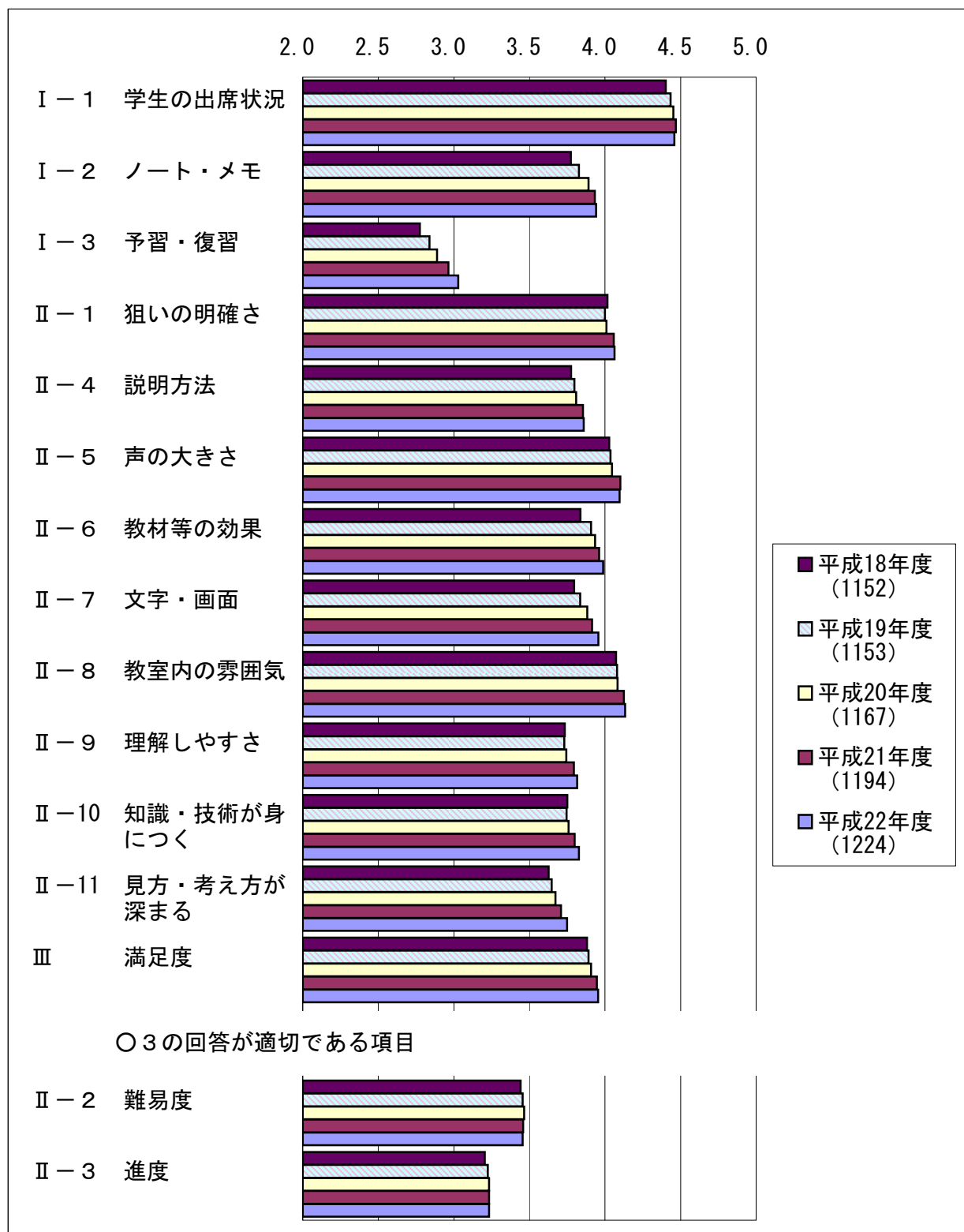
⑨ 教職・社教・日語科目



⑩ ゼミ・外書講読科目



⑪ 全体（講義等科目）





(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義科目）

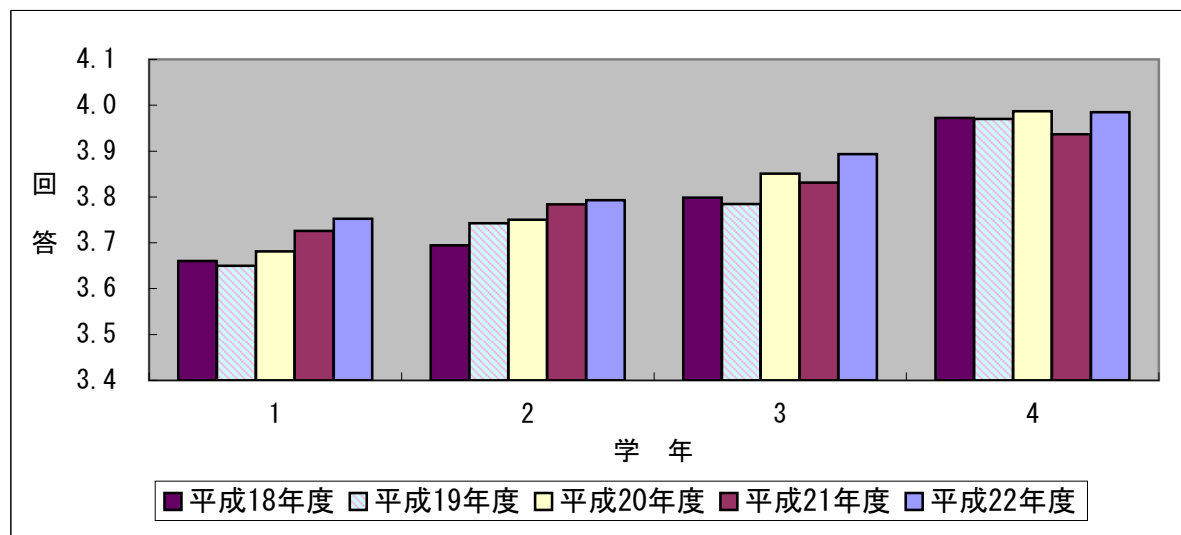
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年
		回答件数：(13429)	回答件数：(12636)	回答件数：(8633)	回答件数：(2623)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.56	4.46	4.45	4.10
	標準偏差	0.78	0.81	0.80	0.95
I-2 ノート・メモ	平均値	3.84	3.93	3.93	3.91
	標準偏差	1.22	1.13	1.15	1.14
I-3 予習・復習	平均値	2.81	2.87	2.76	2.76
	標準偏差	1.23	1.24	1.23	1.20
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.91	3.93	3.98	4.06
	標準偏差	1.00	1.00	0.98	0.95
II-4 説明方法	平均値	3.67	3.70	3.76	3.86
	標準偏差	1.07	1.06	1.03	1.00
II-5 声の大きさ	平均値	3.91	3.95	4.00	4.14
	標準偏差	1.07	1.07	1.04	0.95
II-6 教材等の効果	平均値	3.84	3.89	3.98	4.03
	標準偏差	1.09	1.09	1.06	1.05
II-7 文字・画面	平均値	3.78	3.81	3.89	3.98
	標準偏差	1.07	1.08	1.06	1.04
II-8 教室内の雰囲気	平均値	3.86	3.95	3.99	4.09
	標準偏差	1.04	1.02	1.01	1.00
II-9 理解しやすさ	平均値	3.61	3.65	3.69	3.78
	標準偏差	1.04	1.04	0.99	0.98
II-10 知識・技術が身につく	平均値	3.64	3.66	3.72	3.79
	標準偏差	1.01	1.03	0.98	0.98
II-11 見方・考え方が深まる	平均値	3.55	3.61	3.70	3.78
	標準偏差	1.04	1.06	1.02	1.03
III 満足度	平均値	3.75	3.79	3.89	3.98
	標準偏差	1.08	1.09	1.02	0.99

○3の回答が適切である項目

II-2 難易度	平均値	3.49	3.49	3.49	3.44
	標準偏差	0.82	0.78	0.78	0.76
II-3 進度	平均値	3.29	3.25	3.27	3.20
	標準偏差	0.71	0.66	0.68	0.66

○学年別満足度（平均値）



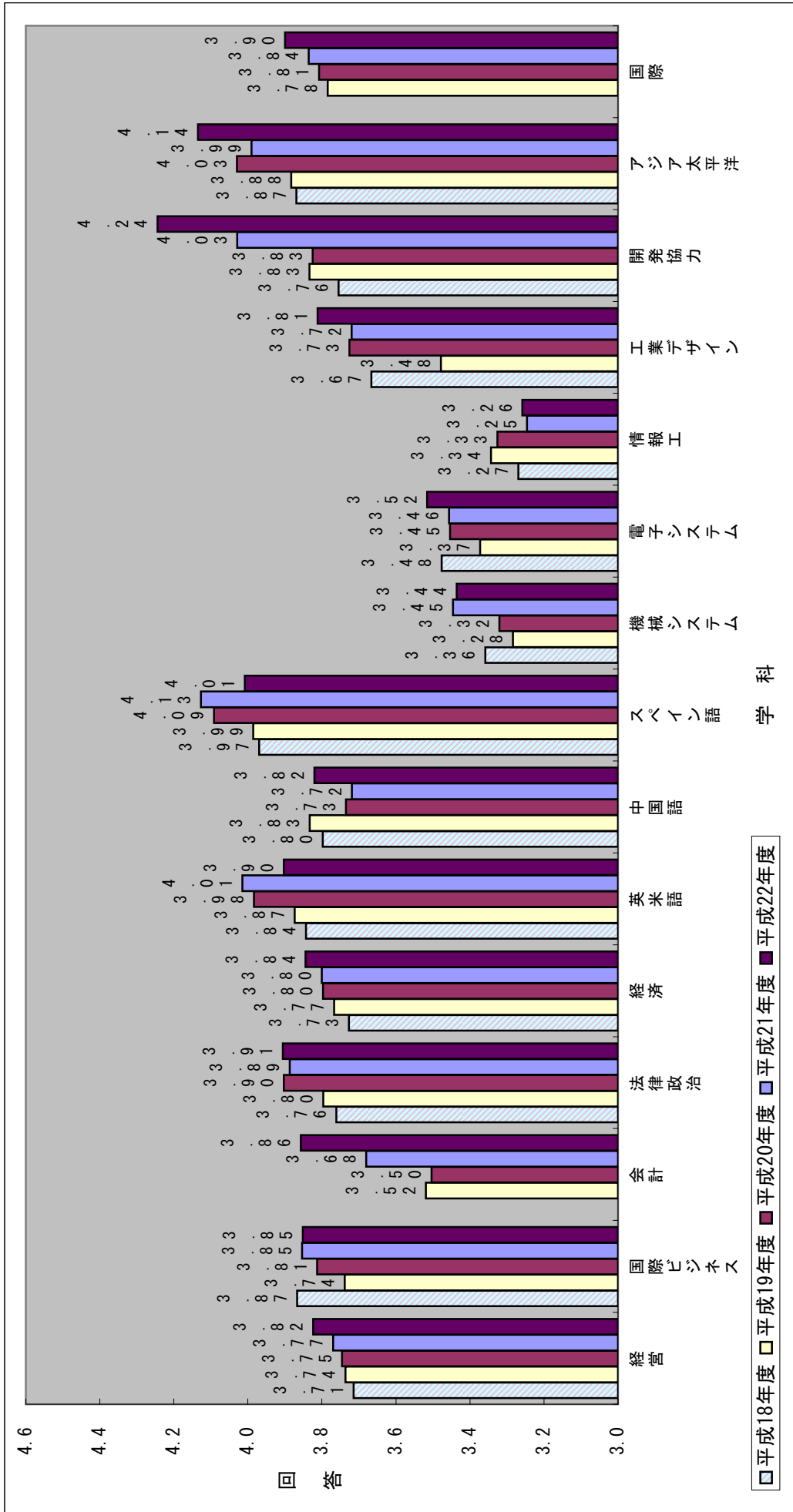
## ② 学科別

設問項目	区分	経営	国際ビジネス	会計	法律政治	経済	英米語	中国語	スペイン語	機械システム	電子システム	情報工	工業デザイン	開発協力	アジア太平洋	国際
		回答件数: (6485)	回答件数: (2672)	回答件数: (1397)	回答件数: (4198)	回答件数: (7370)	回答件数: (1509)	回答件数: (745)	回答件数: (717)	回答件数: (1319)	回答件数: (1387)	回答件数: (1390)	回答件数: (733)	回答件数: (41)	回答件数: (37)	回答件数: (7353)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.50	4.49	4.63	4.45	4.43	4.55	4.50	4.39	4.68	4.62	4.57	4.39	3.98	2.86	4.37
	標準偏差	0.79	0.82	0.73	0.80	0.85	0.74	0.77	0.84	0.69	0.82	0.75	0.83	1.04	1.27	0.83
I-2 ノート・メモ	平均値	3.97	4.07	4.09	3.96	3.88	3.92	3.99	3.80	3.63	3.70	3.56	3.75	3.95	3.76	3.86
	標準偏差	1.16	1.11	1.15	1.16	1.22	1.17	1.11	1.22	1.26	1.22	1.19	1.14	1.12	1.12	1.10
I-3 予習・復習	平均値	2.74	2.80	2.71	2.72	2.70	2.93	3.08	3.06	2.66	2.81	2.58	2.68	3.29	3.11	3.09
	標準偏差	1.22	1.25	1.24	1.20	1.23	1.29	1.19	1.30	1.20	1.20	1.08	1.20	0.90	1.22	1.22
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.96	3.95	4.05	4.00	3.95	4.02	3.99	4.15	3.63	3.71	3.53	3.84	4.17	4.08	4.03
	標準偏差	0.98	1.02	0.97	0.98	0.98	1.03	0.95	1.01	1.07	1.03	1.04	1.01	1.02	0.95	0.95
II-4 説明方法	平均値	3.72	3.74	3.75	3.78	3.73	3.84	3.72	3.99	3.37	3.44	3.27	3.63	4.12	4.05	3.80
	標準偏差	1.06	1.06	1.05	1.03	1.05	1.09	1.10	1.02	1.08	1.10	1.07	1.03	0.98	1.03	1.00
II-5 声の大きさ	平均値	3.99	4.02	4.00	4.03	3.95	4.06	3.99	4.16	3.61	3.69	3.60	3.79	4.27	4.22	4.01
	標準偏差	1.05	1.05	1.04	1.01	1.05	1.13	1.08	0.98	1.09	1.13	1.10	1.17	0.84	1.11	1.01
II-6 教材等の効果	平均値	3.87	3.91	3.96	3.92	3.95	3.92	3.89	4.03	3.62	3.63	3.66	3.85	4.12	4.08	4.00
	標準偏差	1.08	1.13	1.04	1.16	1.04	1.13	1.07	1.08	1.11	1.10	1.11	1.02	0.93	0.92	1.02
II-7 文字・画面	平均値	3.77	3.80	3.85	3.87	3.85	3.90	3.90	4.05	3.56	3.58	3.47	3.76	4.27	4.05	3.98
	標準偏差	1.11	1.12	1.07	1.10	1.07	1.08	1.02	0.96	1.06	1.09	1.12	1.00	0.87	0.81	0.96
II-8 教室内の雰囲気	平均値	3.95	3.90	4.00	4.09	3.95	4.04	3.90	4.08	3.58	3.53	3.53	3.81	4.44	3.97	4.03
	標準偏差	1.02	1.03	1.02	0.99	1.04	1.03	0.99	0.98	1.08	1.10	1.04	1.00	0.74	1.04	0.96
II-9 理解しやすさ	平均値	3.63	3.66	3.67	3.72	3.64	3.80	3.77	3.97	3.28	3.33	3.10	3.57	4.10	4.03	3.83
	標準偏差	1.05	1.03	1.04	0.97	1.00	1.07	0.98	0.99	1.04	1.04	1.10	1.00	0.83	1.12	0.97
II-10 知識・技術が身につく	平均値	3.64	3.68	3.69	3.77	3.65	3.83	3.80	3.97	3.32	3.37	3.15	3.62	4.12	3.95	3.83
	標準偏差	1.02	1.02	1.00	0.96	0.97	1.04	0.96	0.97	1.02	1.03	1.05	0.98	0.81	1.05	0.97
II-11 見方・考え方が深まる	平均値	3.59	3.65	3.56	3.73	3.60	3.76	3.64	3.86	3.25	3.34	3.09	3.73	3.93	3.84	3.77
	標準偏差	1.05	1.05	1.04	1.01	1.03	1.09	1.06	1.00	1.02	1.04	1.09	0.94	0.91	1.24	1.01
III 満足度	平均値	3.82	3.85	3.86	3.91	3.84	3.90	3.82	4.01	3.44	3.52	3.26	3.81	4.24	4.14	3.90
	標準偏差	1.07	1.08	1.06	1.05	1.01	1.13	1.08	1.05	1.08	1.06	1.11	1.03	0.77	1.11	1.05

### ○3の回答が適切である項目

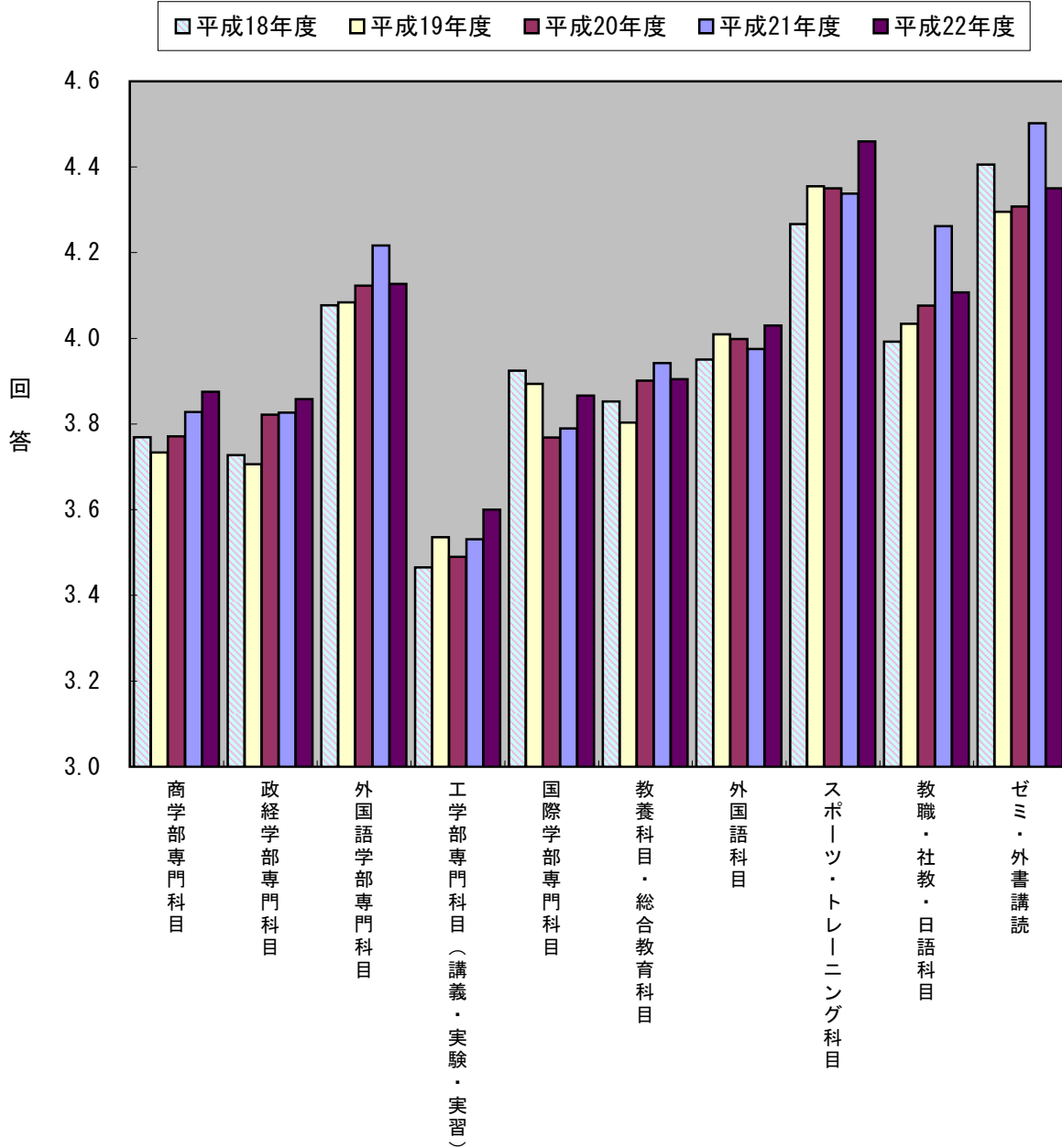
II-2 難易度	平均値	3.50	3.53	3.49	3.45	3.50	3.37	3.46	3.39	3.52	3.67	3.62	3.48	3.27	3.27	3.43
	標準偏差	0.79	0.80	0.83	0.78	0.79	0.80	0.75	0.76	0.83	0.87	0.85	0.79	0.71	0.80	0.76
II-3 進捗	平均値	3.30	3.32	3.26	3.21	3.25	3.17	3.25	3.22	3.36	3.40	3.31	3.23	3.20	3.19	3.25
	標準偏差	0.70	0.71	0.71	0.68	0.69	0.63	0.65	0.63	0.73	0.78	0.69	0.65	0.64	0.81	0.65

○学年別満足度（平均値）



(3) 満足度 平均値

① 学科目別

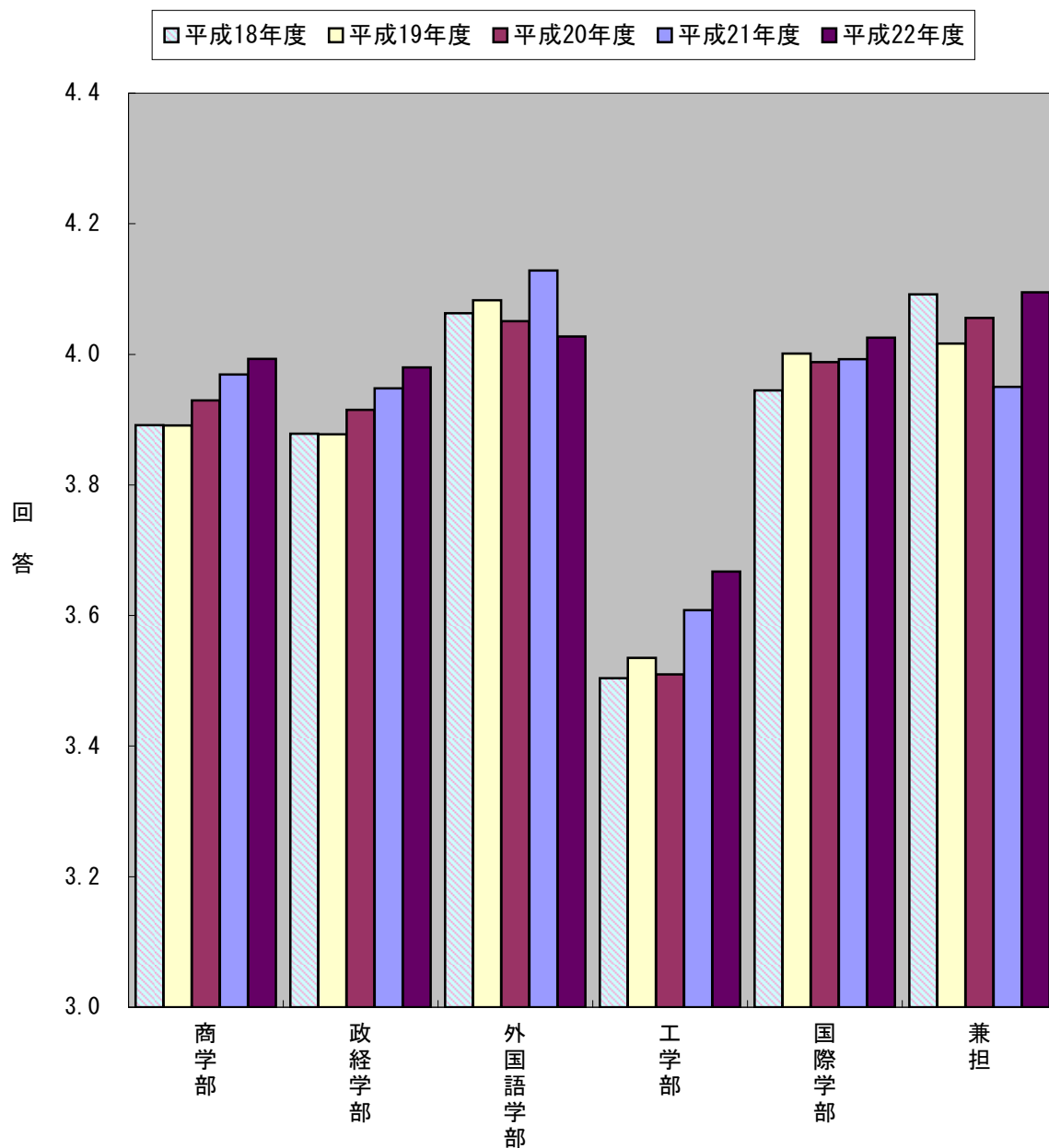


○科目数

平成18年度	115	140	108	111	83	137	428	28	27	37
平成19年度	118	137	111	110	61	135	448	29	31	40
平成20年度	126	141	101	108	72	155	437	26	29	30
平成21年度	130	142	105	106	65	147	448	29	38	47
平成22年度	126	143	111	116	66	146	471	28	38	39

学科目

② 所属別



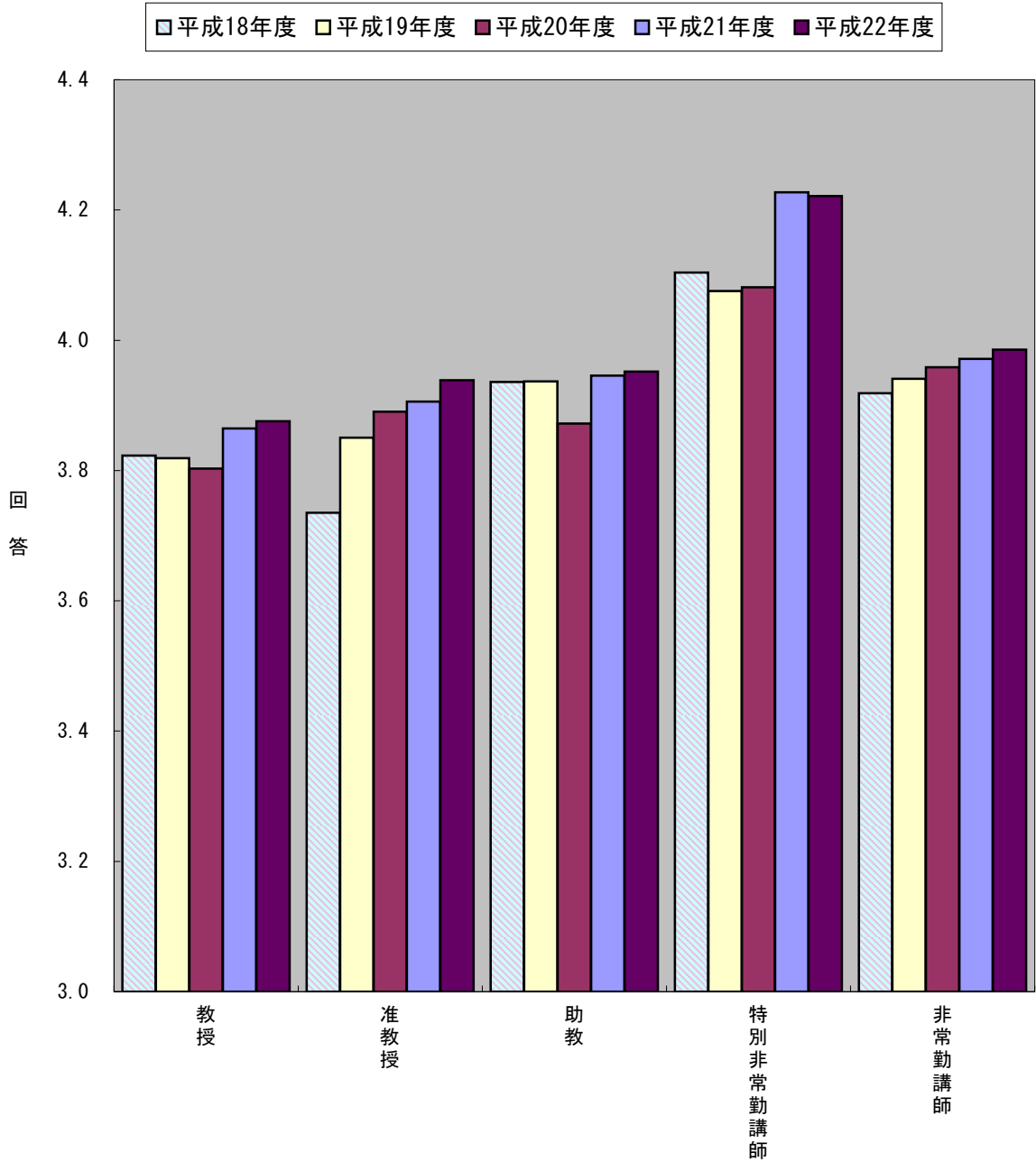
○人数

平成18年度	152	159	92	98	79	22
平成19年度	159	167	93	92	80	19
平成20年度	164	167	88	91	84	19
平成21年度	166	170	88	90	80	28
平成22年度	164	176	88	100	80	26

※講師（非常勤）を含む

学部

③ 身分別

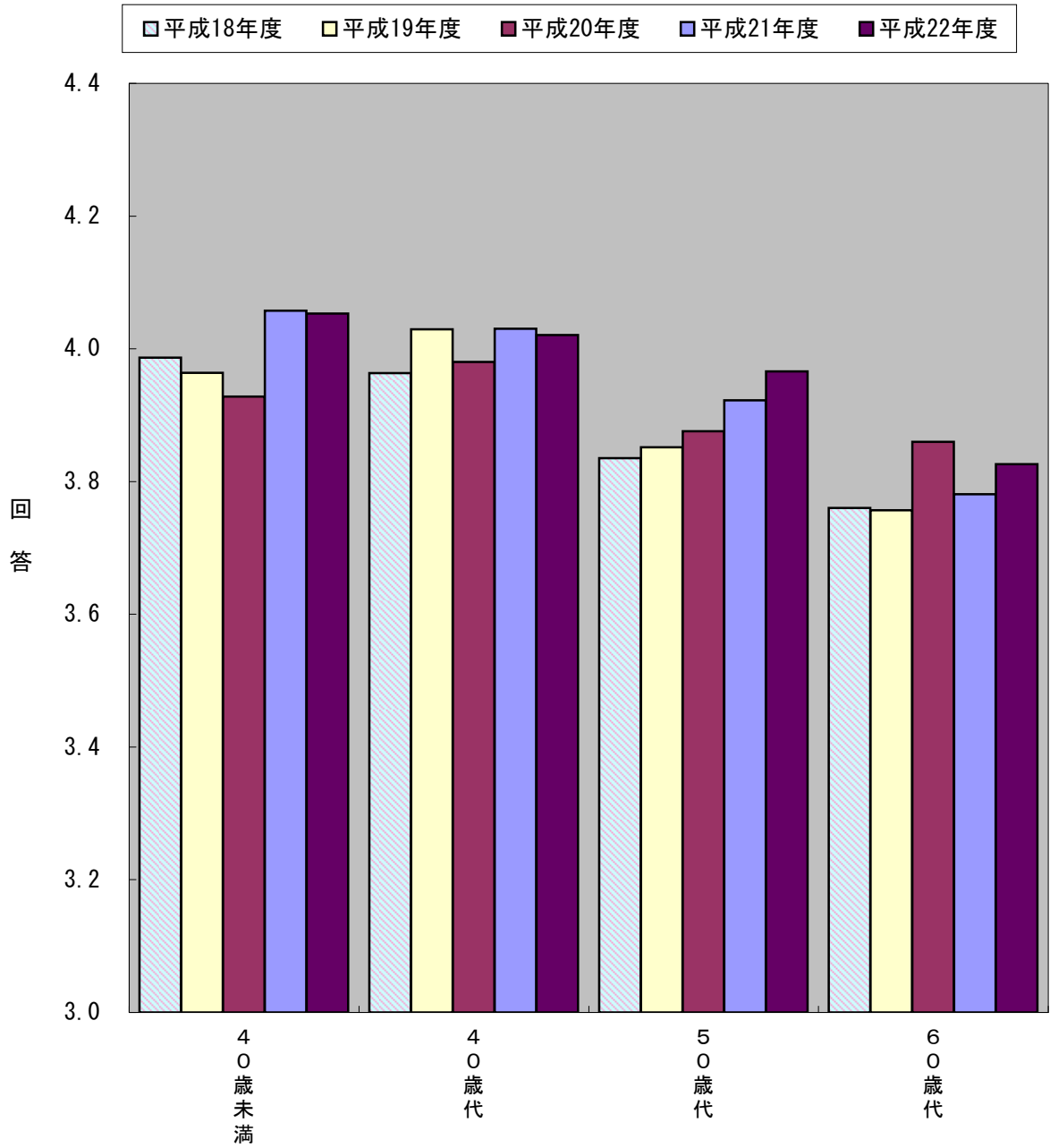


○人数

平成18年度	167	50	26	18	341
平成19年度	165	53	22	19	351
平成20年度	154	60	18	19	361
平成21年度	159	63	14	21	365
平成22年度	156	64	12	23	379

身分

④ 年齢別



○人数

平成18年度	99	161	188	151
平成19年度	103	162	195	150
平成20年度	99	174	183	146
平成21年度	106	176	195	143
平成22年度	106	177	191	160

年齢

## 5. 学科目別 回答の分析

### (1) 商学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.73%	1.05%	9.17%	23.60%	65.45%
I-2	4.61%	4.38%	15.61%	28.09%	47.32%
I-3	21.57%	18.45%	34.73%	16.42%	8.83%
I-4	11.92%	2.69%	42.88%	13.19%	29.33%
II-1	2.38%	4.33%	21.17%	37.93%	34.18%
II-2	0.90%	3.13%	48.30%	36.35%	11.32%
II-3	0.75%	3.74%	67.12%	20.86%	7.53%
II-4	3.75%	6.93%	28.08%	35.13%	26.12%
II-5	2.52%	5.36%	20.36%	32.02%	39.75%
II-6	3.02%	4.11%	22.94%	34.86%	35.07%
II-7	4.29%	7.98%	23.83%	31.83%	32.08%
II-8	2.42%	6.02%	22.98%	33.86%	34.72%
II-9	3.84%	7.60%	31.47%	36.17%	20.93%
II-10	3.34%	6.53%	31.73%	38.16%	20.24%
II-11	3.92%	7.51%	32.72%	35.21%	20.65%
III	3.34%	5.25%	24.03%	36.87%	30.50%

### (2) 政経学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	1.07%	1.15%	10.81%	26.83%	60.13%
I-2	8.45%	6.01%	18.89%	26.98%	39.67%
I-3	24.44%	18.07%	34.72%	14.53%	8.24%
I-4	17.28%	3.16%	33.42%	12.99%	33.15%
II-1	2.41%	4.26%	22.59%	37.30%	33.44%
II-2	1.04%	3.39%	47.43%	37.27%	10.86%
II-3	1.22%	4.36%	66.96%	20.56%	6.90%
II-4	3.45%	6.61%	30.71%	34.17%	25.06%
II-5	2.28%	5.76%	22.94%	32.44%	36.57%
II-6	2.28%	3.95%	21.49%	33.69%	38.58%
II-7	3.36%	6.46%	23.86%	31.16%	35.16%
II-8	2.68%	4.92%	21.04%	30.96%	40.40%
II-9	3.21%	7.39%	32.68%	37.12%	19.60%
II-10	2.67%	6.46%	31.54%	39.32%	20.01%
II-11	3.37%	6.74%	32.60%	36.25%	21.03%
III	2.57%	4.95%	26.04%	36.96%	29.48%

### (3) 外国語学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.12%	0.76%	11.57%	25.25%	62.30%
I-2	5.51%	5.51%	18.30%	33.55%	37.13%
I-3	9.40%	13.45%	31.47%	26.83%	18.85%
I-4	4.97%	1.88%	51.92%	13.54%	27.69%
II-1	1.88%	2.93%	14.08%	36.85%	44.25%
II-2	1.59%	5.40%	54.67%	31.30%	7.05%
II-3	0.76%	4.22%	73.61%	18.06%	3.34%
II-4	2.18%	4.18%	21.08%	34.10%	38.46%
II-5	2.06%	3.82%	14.81%	28.57%	50.73%
II-6	2.38%	2.80%	18.80%	35.10%	40.93%
II-7	1.88%	3.82%	20.51%	33.14%	40.66%
II-8	1.00%	3.23%	16.90%	34.62%	44.25%
II-9	1.94%	4.58%	19.67%	40.05%	33.76%
II-10	1.88%	3.41%	19.88%	41.71%	33.12%
II-11	2.24%	5.06%	25.09%	37.75%	29.86%
III	2.30%	4.30%	16.26%	36.48%	40.66%



## (4) 工学部専門科目 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.43%	0.77%	6.65%	18.81%	73.34%
I-2	8.15%	8.55%	27.18%	28.48%	27.65%
I-3	18.95%	20.15%	38.70%	14.96%	7.24%
I-4	8.90%	2.53%	63.48%	9.94%	15.16%
II-1	3.91%	7.46%	30.97%	36.51%	21.15%
II-2	0.80%	3.06%	40.09%	37.80%	18.26%
II-3	0.85%	2.52%	61.36%	26.10%	9.17%
II-4	7.23%	10.60%	38.61%	29.58%	13.98%
II-5	5.62%	8.92%	30.66%	30.80%	24.01%
II-6	4.23%	5.92%	31.70%	34.35%	23.79%
II-7	5.30%	7.99%	35.23%	31.26%	20.21%
II-8	4.61%	8.16%	36.25%	31.56%	19.43%
II-9	7.53%	13.25%	41.33%	27.04%	10.86%
II-10	6.32%	10.78%	42.69%	29.16%	11.05%
II-11	7.01%	11.28%	42.84%	27.17%	11.70%
III	6.35%	8.67%	38.56%	30.58%	15.83%

## (5) 工学部専門科目 (実験・実習科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1		0.38%	5.37%	14.49%	79.75%
I-2	7.69%	7.38%	27.52%	32.13%	25.29%
I-3	1.70%	2.32%	19.47%	35.16%	41.34%
I-4	0.62%	3.19%	31.47%	38.62%	26.11%
II-1	1.00%	3.62%	22.02%	42.42%	30.95%
II-2	0.31%	2.23%	38.77%	47.15%	11.54%
II-3	0.47%	2.34%	58.91%	30.39%	7.89%
II-4	2.15%	7.68%	31.80%	39.25%	19.12%
II-5	1.64%	4.68%	24.02%	38.85%	30.81%
II-6	1.31%	3.77%	28.71%	38.88%	27.33%
II-7	1.23%	3.15%	30.34%	39.09%	26.19%
II-8	2.07%	5.14%	30.62%	37.68%	24.48%
II-9	2.31%	6.08%	31.62%	42.62%	17.38%
II-10	1.69%	4.85%	29.31%	43.85%	20.31%
II-11	1.77%	4.69%	31.00%	40.08%	22.46%
III	1.62%	4.55%	28.12%	40.99%	24.73%

## (6) 国際学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.77%	1.50%	14.08%	31.65%	52.00%
I-2	5.78%	7.76%	27.88%	29.43%	29.15%
I-3	17.52%	16.24%	38.01%	18.29%	9.93%
I-4	11.71%	2.26%	37.68%	16.36%	31.99%
II-1	2.24%	4.73%	23.21%	37.90%	31.93%
II-2	0.65%	3.03%	56.07%	32.36%	7.88%
II-3	0.82%	2.38%	74.14%	17.71%	4.96%
II-4	2.89%	7.13%	31.54%	34.09%	24.35%
II-5	3.17%	5.61%	25.06%	32.91%	33.25%
II-6	2.03%	3.81%	21.95%	36.14%	36.08%
II-7	2.52%	4.71%	24.72%	34.50%	33.56%
II-8	1.56%	4.56%	24.18%	35.50%	34.19%
II-9	2.83%	5.84%	30.69%	37.60%	23.04%
II-10	2.81%	6.25%	29.14%	38.23%	23.56%
II-11	2.99%	5.86%	30.08%	35.68%	25.39%
III	2.71%	5.48%	27.13%	35.41%	29.27%

## (7) 教養科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.95%	1.16%	10.93%	24.37%	62.59%
I-2	7.59%	6.55%	20.57%	27.73%	37.56%
I-3	26.21%	18.98%	35.41%	13.04%	6.35%
I-4	18.87%	3.48%	34.33%	9.13%	34.19%
II-1	3.04%	5.54%	24.13%	35.85%	31.43%
II-2	1.27%	3.58%	52.54%	31.68%	10.93%
II-3	1.15%	2.87%	69.58%	19.22%	7.18%
II-4	4.49%	7.74%	30.09%	33.11%	24.56%
II-5	3.84%	6.40%	22.46%	30.66%	36.63%
II-6	3.04%	4.39%	26.24%	32.48%	33.84%
II-7	4.59%	7.48%	27.46%	31.33%	29.15%
II-8	2.99%	7.26%	26.93%	31.90%	30.92%
II-9	4.33%	7.61%	32.08%	36.10%	19.88%
II-10	3.74%	6.83%	31.45%	38.38%	19.61%
II-11	4.08%	7.04%	33.40%	34.62%	20.87%
III	4.02%	6.19%	27.10%	35.38%	27.31%

## (8) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.32%	0.97%	10.83%	25.40%	62.48%
I-2	2.62%	4.07%	17.60%	34.17%	41.54%
I-3	9.49%	13.39%	34.27%	27.84%	15.01%
I-4	2.36%	2.51%	57.75%	11.78%	25.60%
II-1	1.24%	3.51%	18.02%	40.11%	37.12%
II-2	1.10%	4.68%	52.41%	32.55%	9.26%
II-3	0.80%	3.48%	70.63%	19.87%	5.21%
II-4	2.31%	5.60%	25.15%	36.14%	30.80%
II-5	1.49%	4.12%	18.05%	32.93%	43.42%
II-6	1.10%	3.10%	22.74%	37.65%	35.41%
II-7	1.05%	3.41%	23.96%	36.81%	34.77%
II-8	1.16%	3.06%	18.57%	37.23%	39.98%
II-9	1.84%	5.21%	25.06%	39.75%	28.14%
II-10	1.80%	4.63%	26.84%	40.91%	25.81%
II-11	2.74%	6.04%	32.69%	35.06%	23.47%
III	2.00%	4.44%	21.54%	36.64%	35.38%

## (9) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.14%		11.43%	23.15%	65.27%
I-2	1.16%	1.45%	17.25%	34.35%	45.80%
I-3	0.29%	1.47%	10.85%	31.67%	55.72%
I-4	3.00%	1.50%	46.68%	14.56%	34.26%
II-1	0.29%	0.44%	15.09%	33.53%	50.65%
II-2	2.32%	3.77%	67.78%	15.82%	10.30%
II-3	0.14%	2.03%	83.07%	7.81%	6.95%
II-4	1.01%	1.45%	20.84%	28.22%	48.48%
II-5		0.73%	10.56%	26.39%	62.32%
II-6	0.14%	0.72%	12.90%	27.83%	58.41%
II-7		0.72%	12.32%	26.96%	60.00%
II-8	0.14%	0.87%	12.59%	26.48%	59.91%
II-9		1.01%	13.19%	29.71%	56.09%
II-10	0.29%	1.16%	16.84%	33.09%	48.62%
II-11	0.29%	0.43%	13.75%	32.42%	53.11%
III	0.44%	0.58%	11.03%	28.01%	59.94%

## (10) 教職・社教・日語科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.34%	0.84%	9.94%	29.49%	59.39%
I-2	2.45%	2.62%	13.60%	30.91%	50.42%
I-3	14.70%	13.18%	41.13%	21.45%	9.54%
I-4	3.35%	0.49%	65.39%	14.61%	16.16%
II-1	1.26%	2.78%	14.67%	39.46%	41.82%
II-2	0.34%	2.36%	59.43%	30.72%	7.15%
II-3	0.67%	3.88%	77.40%	14.17%	3.88%
II-4	2.45%	4.48%	23.23%	33.70%	36.15%
II-5	1.10%	4.81%	17.23%	30.83%	46.03%
II-6	1.02%	4.08%	21.09%	35.46%	38.35%
II-7	1.69%	5.65%	23.71%	34.35%	34.60%
II-8	0.59%	1.60%	14.76%	34.23%	48.82%
II-9	1.43%	4.22%	21.52%	41.10%	31.73%
II-10	1.01%	3.54%	18.30%	43.00%	34.15%
II-11	1.10%	4.14%	18.17%	39.98%	36.60%
III	1.69%	4.41%	14.92%	38.90%	40.08%

## (11) ゼミ・外書講読

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.22%	0.44%	6.62%	25.61%	67.11%
I-2	7.51%	7.28%	20.31%	28.70%	36.20%
I-3	9.78%	11.56%	34.22%	25.33%	19.11%
I-4	5.37%	3.12%	26.00%	25.82%	39.69%
II-1	1.55%	3.09%	17.66%	30.46%	47.24%
II-2	2.65%	2.87%	62.25%	26.71%	5.52%
II-3	1.99%	4.64%	79.91%	10.82%	2.65%
II-4	2.21%	1.10%	19.43%	35.32%	41.94%
II-5	1.10%	2.20%	15.20%	29.74%	51.76%
II-6	1.55%	2.21%	23.01%	33.85%	39.38%
II-7	1.54%	2.86%	21.81%	36.56%	37.22%
II-8	1.10%	1.98%	14.54%	35.24%	47.14%
II-9	0.88%	1.98%	20.00%	37.58%	39.56%
II-10	1.10%	3.09%	18.98%	41.06%	35.76%
II-11	0.66%	2.20%	20.48%	39.21%	37.44%
III	1.55%	1.11%	12.61%	34.29%	50.44%

## (12) 全体 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.67%	1.06%	10.44%	25.24%	62.58%
I-2	5.83%	5.71%	19.83%	29.67%	38.96%
I-3	18.76%	16.86%	35.46%	18.75%	10.17%
I-4	12.39%	2.79%	43.21%	12.32%	29.29%
II-1	2.32%	4.57%	21.82%	37.71%	33.58%
II-2	1.04%	3.66%	50.51%	34.10%	10.69%
II-3	0.94%	3.43%	69.13%	20.07%	6.42%
II-4	3.64%	6.83%	29.02%	34.12%	26.40%
II-5	2.76%	5.58%	21.68%	31.80%	38.17%
II-6	2.39%	3.97%	23.75%	34.93%	34.96%
II-7	3.18%	6.00%	25.51%	33.10%	32.20%
II-8	2.29%	5.16%	23.13%	33.73%	35.69%
II-9	3.44%	7.11%	30.29%	36.72%	22.44%
II-10	3.03%	6.26%	30.30%	38.51%	21.90%
II-11	3.60%	6.91%	32.64%	34.83%	22.02%
III	3.14%	5.42%	25.30%	35.85%	30.28%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 政経学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	125	4.10	0.42
		非常勤講師	175	4.03	0.40
IV-2	授業に支障をきたすような私語は無い	専任教員	125	4.14	0.54
		非常勤講師	175	4.06	0.57

(2) 外国語学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	95	4.13	0.83
		非常勤講師	104	4.02	0.51
IV-2	このクラスの学生数は適切ですか	専任教員	95	4.10	0.86
		非常勤講師	104	4.02	0.60

(3) 国際学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	授業の開始時間、終了時間は守られている	専任教員	89	4.47	0.25
		非常勤講師	154	4.40	0.50
IV-2	出欠はきちんととられている	専任教員	89	4.49	0.45
		非常勤講師	154	4.48	0.49
IV-3	授業中、学生同士の私語はない	専任教員	89	4.03	0.47
		非常勤講師	154	3.76	0.64
IV-4	1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、②国際政治、③国際文化、④国際観光、⑤農業総合	専任教員	89	2.49	0.78
		非常勤講師	154	2.50	0.86

#### IV コース・分野・学科別集計



## 1. 商学部専門科目（コース別）

区 分 項 目	学 科 コ ー ス 科 目 数	経 営			国際ビジネス		会 計	全 体
		経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	コミュニケーション		
		21	30	16	29	5	50	151
I-1	平均値	4.49	4.45	4.53	4.50	4.41	4.52	4.50
	標準偏差	0.21	0.23	0.20	0.23	0.33	0.24	0.23
I-2	平均値	4.02	2.81	4.27	4.14	3.40	3.98	3.79
	標準偏差	0.72	0.96	0.45	0.49	0.40	0.55	0.82
I-3	平均値	2.80	2.35	2.87	2.89	2.68	2.79	2.73
	標準偏差	0.63	0.44	0.46	0.59	0.59	0.49	0.55
II-1	平均値	3.94	4.02	4.17	4.05	3.82	4.01	4.02
	標準偏差	0.33	0.37	0.27	0.42	0.18	0.45	0.39
II-4	平均値	3.72	3.72	4.03	3.96	3.62	3.72	3.80
	標準偏差	0.36	0.42	0.37	0.50	0.18	0.53	0.47
II-5	平均値	4.05	4.04	4.19	4.14	3.99	4.01	4.06
	標準偏差	0.43	0.42	0.38	0.45	0.24	0.46	0.43
II-6	平均値	3.82	4.11	4.13	4.04	3.83	3.77	3.94
	標準偏差	0.28	0.30	0.26	0.39	0.20	0.62	0.46
II-7	平均値	3.70	4.04	4.00	3.97	3.84	3.75	3.87
	標準偏差	0.46	0.38	0.29	0.52	0.32	0.53	0.48
II-8	平均値	4.06	4.20	4.11	3.99	3.92	4.06	4.08
	標準偏差	0.30	0.31	0.45	0.55	0.32	0.48	0.44
II-9	平均値	3.70	3.61	3.91	3.85	3.69	3.53	3.68
	標準偏差	0.34	0.40	0.31	0.49	0.35	0.50	0.45
II-10	平均値	3.70	3.74	3.89	3.86	3.73	3.57	3.72
	標準偏差	0.34	0.34	0.27	0.45	0.34	0.43	0.40
II-11	平均値	3.69	3.45	3.89	3.89	3.63	3.50	3.64
	標準偏差	0.39	0.40	0.31	0.47	0.30	0.47	0.46
III	平均値	3.91	3.81	4.13	4.02	3.62	3.79	3.89
	標準偏差	0.33	0.43	0.30	0.50	0.28	0.55	0.47

### ※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.41	3.62	3.36	3.49	3.54	3.62	3.54
	標準偏差	0.25	0.28	0.15	0.30	0.20	0.33	0.30
II-3	平均値	3.30	3.44	3.13	3.17	3.23	3.31	3.29
	標準偏差	0.32	0.32	0.11	0.24	0.12	0.21	0.27

### ※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / コース	経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	コミュニケーション	会 計	全 体
1. 講義への興味	13.3	10.9	11.1	10.6	5.8	10.3	11.3
2. 教員にひかれて	3.9	2.3	2.0	2.3	0.8	2.5	2.6
3. 単位が必要	40.7	53.1	38.1	39.8	63.3	49.7	43.6
4. 単位取得が楽	15.3	8.4	14.0	13.8	13.3	12.9	13.3
5. 時間帯が空いている	26.8	25.2	34.9	33.6	16.7	24.6	29.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 2. 政経学部専門科目（分野別）

区分	分野	法律	政治	行政	経済	全体
設問	科目数	29	26	11	67	133
I-1	平均値	4.41	4.45	4.41	4.40	4.41
	標準偏差	0.27	0.19	0.25	0.28	0.26
I-2	平均値	4.05	4.14	3.58	3.92	3.96
	標準偏差	0.58	0.66	0.48	0.58	0.60
I-3	平均値	2.73	2.75	2.74	2.70	2.72
	標準偏差	0.40	0.61	0.34	0.55	0.51
II-1	平均値	4.18	4.08	4.13	3.92	4.03
	標準偏差	0.40	0.46	0.47	0.44	0.45
II-4	平均値	3.90	3.90	3.90	3.73	3.81
	標準偏差	0.47	0.52	0.53	0.50	0.50
II-5	平均値	4.23	4.12	4.12	3.95	4.06
	標準偏差	0.44	0.51	0.66	0.52	0.52
II-6	平均値	4.07	3.81	4.02	3.96	3.96
	標準偏差	0.40	0.93	0.28	0.40	0.54
II-7	平均値	4.01	3.83	3.84	3.84	3.88
	標準偏差	0.47	0.80	0.49	0.57	0.59
II-8	平均値	4.43	4.45	4.30	4.12	4.27
	標準偏差	0.37	0.37	0.44	0.51	0.47
II-9	平均値	3.77	3.78	3.69	3.64	3.70
	標準偏差	0.38	0.45	0.32	0.46	0.43
II-10	平均値	3.85	3.88	3.76	3.67	3.76
	標準偏差	0.34	0.43	0.36	0.43	0.41
II-11	平均値	3.85	3.88	3.80	3.66	3.76
	標準偏差	0.33	0.44	0.34	0.46	0.43
III	平均値	3.99	4.01	4.10	3.88	3.95
	標準偏差	0.37	0.48	0.51	0.45	0.45

### ※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.57	3.54	3.48	3.52	3.53
	標準偏差	0.22	0.26	0.30	0.26	0.26
II-3	平均値	3.21	3.24	3.14	3.24	3.23
	標準偏差	0.22	0.26	0.11	0.30	0.26

### ※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回答 / 分野	法律	政治	行政	経済	全体
1. 講義への興味	17.6	15.9	18.6	17.6	17.5
2. 教員にひかれて	2.0	2.1	1.4	3.9	3.2
3. 単位が必要	29.1	29.9	30.9	33.8	32.2
4. 単位取得が楽	12.7	15.0	13.3	14.0	13.8
5. 時間帯が空いている	38.6	37.0	35.8	30.6	33.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



### 3. 外国語学部専門科目（学科別）

区 分	学 科	英米語	中国語	スペイン語	全 体
設 問	科目数	66	21	31	118
I-1	平均値	4.47	4.49	4.36	4.44
	標準偏差	0.33	0.35	0.32	0.33
I-2	平均値	3.77	4.15	4.06	3.91
	標準偏差	0.58	0.45	0.63	0.59
I-3	平均値	3.26	3.36	3.59	3.36
	標準偏差	0.62	0.47	0.62	0.61
II-1	平均値	4.20	4.13	4.39	4.24
	標準偏差	0.45	0.39	0.31	0.41
II-4	平均値	4.07	3.79	4.23	4.06
	標準偏差	0.46	0.53	0.41	0.48
II-5	平均値	4.30	4.09	4.41	4.29
	標準偏差	0.51	0.42	0.36	0.47
II-6	平均値	4.08	3.94	4.17	4.08
	標準偏差	0.43	0.38	0.47	0.43
II-7	平均値	4.11	3.96	4.23	4.12
	標準偏差	0.40	0.43	0.39	0.41
II-8	平均値	4.24	4.12	4.35	4.25
	標準偏差	0.40	0.31	0.43	0.40
II-9	平均値	4.05	3.89	4.18	4.06
	標準偏差	0.45	0.38	0.42	0.44
II-10	平均値	4.04	3.85	4.20	4.05
	標準偏差	0.40	0.46	0.38	0.42
II-11	平均値	3.96	3.67	4.10	3.95
	標準偏差	0.45	0.37	0.44	0.45
III	平均値	4.13	3.92	4.28	4.13
	標準偏差	0.44	0.46	0.47	0.46

#### ※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.29	3.31	3.39	3.32
	標準偏差	0.39	0.36	0.39	0.38
II-3	平均値	3.11	3.16	3.22	3.15
	標準偏差	0.19	0.28	0.23	0.22

#### ※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 学 科	英米語	中国語	スペイン語	全 体
1. 講義への興味	5.5	3.2	3.7	4.7
2. 教員にひかれて	2.1	1.2	1.3	1.8
3. 単位が必要	47.1	63.2	49.5	50.4
4. 単位取得が楽	13.2	10.1	21.3	14.4
5. 時間帯が空いている	32.1	22.3	24.3	28.7
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

#### 4. 工学部専門科目

##### (1) 実験・実習科目 (学科別)

区分	学科	機械	情エレ(電子)	情報	デザイン	基礎教育	全体
設問	科目数	4	6	7	14	1	32
I-1	平均値	4.80	4.79	4.90	4.53	4.90	4.70
	標準偏差	0.14	0.17	0.13	0.23		0.24
I-2	平均値	2.98	3.22	3.35	3.94	4.70	3.58
	標準偏差	0.29	0.48	0.59	0.32		0.58
I-3	平均値	4.12	4.02	4.18	4.06	4.56	4.10
	標準偏差	0.34	0.30	0.33	0.25		0.29
I-4	平均値	3.76	3.89	3.97	3.76	4.22	3.84
	標準偏差	0.34	0.17	0.34	0.25		0.27
II-1	平均値	3.83	4.08	4.00	4.07	3.82	4.02
	標準偏差	0.27	0.14	0.31	0.35		0.30
II-4	平均値	3.43	3.84	3.54	3.88	3.12	3.72
	標準偏差	0.29	0.22	0.33	0.43		0.40
II-5	平均値	3.86	3.88	3.93	4.13	3.44	3.98
	標準偏差	0.55	0.29	0.34	0.47		0.43
II-6	平均値	3.69	3.85	3.95	4.04	3.62	3.93
	標準偏差	0.41	0.17	0.28	0.37		0.33
II-7	平均値	3.73	3.86	3.84	4.05	3.54	3.91
	標準偏差	0.37	0.13	0.22	0.32		0.29
II-8	平均値	3.76	3.84	3.98	3.89	3.96	3.89
	標準偏差	0.50	0.16	0.32	0.47		0.38
II-9	平均値	3.54	3.57	3.61	3.93	3.28	3.72
	標準偏差	0.31	0.09	0.41	0.34		0.36
II-10	平均値	3.66	3.58	3.84	3.99	3.42	3.82
	標準偏差	0.35	0.11	0.47	0.27		0.35
II-11	平均値	3.57	3.54	3.74	4.03	3.46	3.80
	標準偏差	0.20	0.13	0.32	0.33		0.35
III	平均値	3.67	3.80	3.81	4.05	3.36	3.88
	標準偏差	0.36	0.13	0.35	0.36		0.35

##### ※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.73	3.60	3.69	3.60	3.92	3.65
	標準偏差	0.15	0.24	0.29	0.20		0.22
II-3	平均値	3.36	3.32	3.18	3.45	3.34	3.35
	標準偏差	0.23	0.14	0.16	0.24		0.22

(注) : 「実験・実習用アンケート」で実施した演習等科目を含む。

(2) 学科・学科目別(講義科目)

区分	学 科	機 械		情エレ(電子システム)		情 報			デザイン	基礎教育系列		全 体
	科 目	1・2年次選択	3・4年次選択	コア	応用	講義	コア	選択	講義	必修	選択	
設 問	科目数	14	6	9	10	3	5	8	9	11	9	84
I-1	平均値	4.68	4.71	4.66	4.68	4.53	4.60	4.57	4.42	4.59	4.76	4.63
	標準偏差	0.09	0.14	0.24	0.17	0.19	0.06	0.15	0.17	0.19	0.25	0.19
I-2	平均値	3.45	3.60	3.59	3.58	3.17	3.30	3.65	3.74	3.80	4.00	3.63
	標準偏差	0.61	0.83	0.47	0.34	0.20	0.74	0.58	0.50	0.25	0.43	0.53
I-3	平均値	2.67	3.05	2.95	2.62	2.44	2.64	2.62	2.86	2.87	3.23	2.81
	標準偏差	0.47	0.79	0.36	0.26	0.10	0.39	0.13	0.56	0.32	0.79	0.50
II-1	平均値	3.60	3.74	3.78	3.71	3.19	3.51	3.46	4.01	3.53	4.14	3.70
	標準偏差	0.26	0.34	0.46	0.43	0.18	0.68	0.35	0.46	0.45	0.66	0.48
II-4	平均値	3.30	3.56	3.46	3.45	2.88	3.29	3.07	3.78	3.19	3.97	3.43
	標準偏差	0.34	0.37	0.44	0.48	0.06	0.74	0.39	0.48	0.56	0.75	0.55
II-5	平均値	3.52	3.81	3.77	3.75	3.47	3.44	3.51	3.92	3.43	4.02	3.67
	標準偏差	0.32	0.52	0.57	0.52	0.09	0.85	0.49	0.82	0.55	0.83	0.60
II-6	平均値	3.57	3.80	3.65	3.71	3.47	3.69	3.61	3.96	3.43	4.19	3.71
	標準偏差	0.27	0.35	0.37	0.36	0.10	0.49	0.32	0.51	0.32	0.66	0.44
II-7	平均値	3.52	3.62	3.54	3.58	3.28	3.50	3.38	3.83	3.49	4.14	3.61
	標準偏差	0.33	0.39	0.45	0.34	0.44	0.56	0.51	0.58	0.30	0.72	0.49
II-8	平均値	3.50	3.81	3.58	3.59	3.37	3.34	3.64	4.10	3.54	4.11	3.68
	標準偏差	0.37	0.52	0.62	0.49	0.26	0.51	0.21	0.40	0.56	0.83	0.55
II-9	平均値	3.28	3.30	3.34	3.25	2.64	3.07	2.94	3.67	3.10	3.79	3.29
	標準偏差	0.27	0.22	0.43	0.48	0.14	0.69	0.35	0.47	0.45	0.70	0.51
II-10	平均値	3.27	3.49	3.43	3.32	2.83	3.06	3.02	3.74	3.16	4.04	3.37
	標準偏差	0.28	0.21	0.44	0.41	0.03	0.61	0.29	0.40	0.35	0.84	0.52
II-11	平均値	3.17	3.40	3.39	3.32	2.80	3.02	3.04	3.96	3.12	3.89	3.35
	標準偏差	0.22	0.32	0.43	0.41	0.04	0.58	0.25	0.41	0.37	0.84	0.53
III	平均値	3.30	3.69	3.50	3.53	2.94	3.21	3.14	3.95	3.28	4.08	3.49
	標準偏差	0.26	0.37	0.48	0.42	0.05	0.68	0.38	0.47	0.42	0.72	0.54

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.55	3.63	3.79	3.86	4.04	3.69	3.75	3.57	3.77	3.52	3.69
	標準偏差	0.30	0.31	0.18	0.40	0.23	0.30	0.30	0.33	0.38	0.22	0.32
II-3	平均値	3.36	3.37	3.45	3.43	3.51	3.44	3.33	3.26	3.40	3.29	3.37
	標準偏差	0.25	0.17	0.16	0.27	0.10	0.19	0.23	0.17	0.36	0.22	0.24

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

学 科	機 械		情エレ(電子システム)		情 報			デザイン	基礎教育系列		全 体
回答/科目	1・2年次選択	3・4年次選択	コア	応用	講義	コア	選択	講義	必修	選択	
1. 講義への興味	11.3	12.5	3.3	7.3	5.9	9.2	10.6	10.5	4.0	12.1	8.9
2. 教員にひかれて	2.5	5.4	3.0	1.4	1.1	3.2	1.5	2.4	3.1	2.6	2.5
3. 単位が必要	64.9	55.4	63.9	67.8	75.7	72.2	65.7	42.9	70.6	66.1	63.5
4. 単位取得が楽	7.4	11.6	10.1	13.6	7.0	7.6	8.0	13.9	10.2	8.9	9.9
5. 時間帯が空いている	13.9	15.2	19.7	9.9	10.3	7.9	14.2	30.2	12.1	10.3	15.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 5. 国際学部科目

### (1) 英語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科 目 数	37	24	36	19	2	75
I-1	平 均 値	4.43	3.99	4.46	4.33	4.73	4.43
	標 準 偏 差	0.23	0.73	0.32	0.73	0.09	0.27
I-2	平 均 値	3.92	3.73	3.93	3.88	4.45	3.94
	標 準 偏 差	0.44	0.93	0.38	0.83	0.07	0.41
I-3	平 均 値	3.24	3.19	3.62	3.59	3.47	3.43
	標 準 偏 差	0.46	0.93	0.46	1.02	0.19	0.49
II-1	平 均 値	4.09	3.94	4.12	4.39	4.55	4.12
	標 準 偏 差	0.29	1.11	0.38	0.68	0.07	0.33
II-4	平 均 値	3.87	3.71	3.89	4.22	4.00	3.89
	標 準 偏 差	0.37	1.13	0.40	0.76	0.00	0.37
II-5	平 均 値	4.11	3.88	4.16	4.38	4.27	4.14
	標 準 偏 差	0.35	1.16	0.47	0.65	0.09	0.39
II-6	平 均 値	3.99	3.90	4.06	4.19	4.27	4.02
	標 準 偏 差	0.30	0.88	0.34	0.70	0.09	0.30
II-7	平 均 値	4.01	3.84	4.09	4.17	4.10	4.05
	標 準 偏 差	0.33	1.09	0.32	0.78	0.14	0.32
II-8	平 均 値	4.05	3.79	4.18	4.39	4.45	4.12
	標 準 偏 差	0.33	1.08	0.36	0.89	0.07	0.34
II-9	平 均 値	3.88	3.83	3.98	4.32	3.75	3.94
	標 準 偏 差	0.33	1.10	0.35	0.64	0.35	0.33
II-10	平 均 値	3.80	3.80	3.92	4.29	4.18	3.88
	標 準 偏 差	0.34	0.83	0.30	0.58	0.02	0.31
II-11	平 均 値	3.71	3.63	3.79	4.26	4.08	3.76
	標 準 偏 差	0.35	1.11	0.35	0.59	0.12	0.33
III	平 均 値	3.97	3.82	4.01	4.46	4.18	4.00
	標 準 偏 差	0.35	1.06	0.37	0.71	0.02	0.34

### ※3の回答が適切である項目

II-2	平 均 値	3.39	3.07	3.37	3.09	3.35	3.37
	標 準 偏 差	0.26	0.92	0.34	0.70	0.21	0.29
II-3	平 均 値	3.28	3.08	3.21	3.18	3.08	3.23
	標 準 偏 差	0.22	0.65	0.18	0.38	0.12	0.20

### ※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	4.1	4.3	0.0	0.0	13.3	2.5
2. 教員にひかれて	2.2	4.3	0.8	0.0	0.0	1.6
3. 単位が必要	56.8	56.5	74.9	68.4	0.0	63.4
4. 単位取得が楽	13.3	10.9	12.1	21.1	33.3	13.2
5. 時間帯が空いている	23.7	23.9	12.1	10.5	53.3	19.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 地域言語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2~4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科目数	38	14	36	15	7	82
I-1	平均値	4.43	3.93	4.24	3.83	4.17	4.33
	標準偏差	0.35	0.92	0.38	0.91	0.51	0.35
I-2	平均値	4.43	3.89	4.18	3.97	4.50	4.34
	標準偏差	0.31	0.59	0.46	1.08	0.38	0.36
I-3	平均値	3.50	3.07	3.37	3.20	3.14	3.42
	標準偏差	0.55	0.83	0.45	1.02	0.57	0.50
II-1	平均値	4.24	4.00	4.06	4.30	4.61	4.21
	標準偏差	0.35	0.76	0.44	0.92	0.43	0.40
II-4	平均値	4.03	3.93	3.86	4.10	4.61	4.04
	標準偏差	0.34	0.65	0.48	0.65	0.52	0.44
II-5	平均値	4.20	4.04	4.01	4.25	4.50	4.17
	標準偏差	0.33	0.72	0.57	0.61	0.52	0.46
II-6	平均値	4.13	3.89	4.00	4.05	4.39	4.12
	標準偏差	0.34	0.76	0.48	1.05	0.63	0.43
II-7	平均値	4.07	3.79	3.97	3.98	4.50	4.08
	標準偏差	0.36	0.87	0.46	0.85	0.78	0.45
II-8	平均値	4.27	4.04	4.07	3.97	4.68	4.23
	標準偏差	0.35	0.77	0.45	0.93	0.43	0.43
II-9	平均値	4.10	3.89	3.87	3.90	4.50	4.06
	標準偏差	0.31	0.76	0.50	0.96	0.48	0.43
II-10	平均値	4.09	3.93	3.86	3.93	4.71	4.07
	標準偏差	0.30	0.81	0.51	1.03	0.34	0.45
II-11	平均値	4.04	4.00	3.82	3.97	4.54	3.99
	標準偏差	0.40	0.81	0.45	0.90	0.64	0.47
III	平均値	4.25	3.96	3.94	4.23	4.79	4.18
	標準偏差	0.42	0.72	0.52	0.90	0.37	0.51

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.45	3.25	3.47	3.83	3.32	3.43
	標準偏差	0.28	0.43	0.35	0.74	0.37	0.31
II-3	平均値	3.28	3.14	3.29	3.58	3.11	3.27
	標準偏差	0.19	0.36	0.28	0.72	0.20	0.24

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2~4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	0.3	13.3	0.8	0.0	3.4	1.0
2. 教員にひかれて	0.7	0.0	0.4	0.0	0.0	0.5
3. 単位が必要	34.7	33.3	64.0	64.7	6.9	46.1
4. 単位取得が楽	14.5	33.3	17.2	0.0	37.9	16.5
5. 時間帯が空いている	49.8	20.0	17.6	35.3	51.7	35.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 基礎科目群 (回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年	2年	3・4年	全 体
設 問	科目数	17	12	11	23
I-1	平均値	4.54	4.24	4.10	4.47
	標準偏差	0.28	0.74	0.69	0.37
I-2	平均値	3.77	4.05	3.57	3.80
	標準偏差	0.61	0.61	0.92	0.66
I-3	平均値	2.84	3.06	2.72	2.96
	標準偏差	0.28	0.85	0.59	0.38
II-1	平均値	4.08	4.12	4.39	4.18
	標準偏差	0.41	0.84	0.71	0.42
II-4	平均値	3.69	4.32	4.06	3.85
	標準偏差	0.48	0.32	0.83	0.51
II-5	平均値	4.12	4.50	4.13	4.20
	標準偏差	0.48	0.57	0.82	0.45
II-6	平均値	4.06	4.39	4.26	4.14
	標準偏差	0.35	0.58	0.71	0.33
II-7	平均値	4.15	4.43	4.31	4.19
	標準偏差	0.39	0.57	0.52	0.37
II-8	平均値	4.17	4.24	4.08	4.26
	標準偏差	0.46	0.64	0.76	0.44
II-9	平均値	3.63	4.03	4.12	3.85
	標準偏差	0.48	0.73	0.62	0.56
II-10	平均値	3.73	4.07	4.25	3.89
	標準偏差	0.37	0.59	0.46	0.42
II-11	平均値	3.58	4.11	4.13	3.73
	標準偏差	0.28	0.52	0.73	0.46
III	平均値	3.77	4.27	4.23	3.91
	標準偏差	0.49	0.54	0.70	0.50

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.77	3.41	3.17	3.62
	標準偏差	0.48	0.40	0.62	0.47
II-3	平均値	3.44	2.96	2.88	3.32
	標準偏差	0.37	0.41	0.33	0.36

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年	2年	3・4年	全 体
1. 講義への興味	6.7	8.0	8.8	7.2
2. 教員にひかれて	4.1	0.0	0.0	2.9
3. 単位が必要	50.7	38.0	29.8	45.9
4. 単位取得が楽	10.1	18.0	22.8	13.1
5. 時間帯が空いている	28.4	36.0	38.6	30.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 専門共通科目 (回答者の所属で分類)

区分	科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
設問	科目数	12	11	12	14
I-1	平均値	4.57	4.42	4.24	4.44
	標準偏差	0.24	0.61	0.46	0.28
I-2	平均値	3.89	3.42	4.11	3.88
	標準偏差	0.61	0.86	0.68	0.54
I-3	平均値	2.95	2.96	3.08	2.93
	標準偏差	0.33	0.47	0.63	0.34
II-1	平均値	3.95	3.77	4.18	3.98
	標準偏差	0.33	0.68	0.64	0.33
II-4	平均値	3.69	3.59	4.02	3.74
	標準偏差	0.35	0.74	0.45	0.31
II-5	平均値	3.88	3.76	4.26	3.94
	標準偏差	0.42	0.82	0.52	0.37
II-6	平均値	3.89	3.88	4.15	3.93
	標準偏差	0.28	0.61	0.68	0.33
II-7	平均値	3.76	3.92	4.14	3.82
	標準偏差	0.44	0.53	0.61	0.38
II-8	平均値	3.90	3.91	4.16	3.99
	標準偏差	0.36	0.54	0.64	0.42
II-9	平均値	3.67	3.51	3.96	3.71
	標準偏差	0.25	0.49	0.50	0.24
II-10	平均値	3.66	3.65	4.03	3.73
	標準偏差	0.31	0.67	0.47	0.31
II-11	平均値	3.66	3.79	3.99	3.74
	標準偏差	0.33	0.61	0.56	0.33
III	平均値	3.71	3.72	4.05	3.76
	標準偏差	0.33	0.63	0.43	0.30

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.52	3.19	3.43	3.47
	標準偏差	0.23	0.39	0.35	0.24
II-3	平均値	3.33	3.05	3.16	3.28
	標準偏差	0.18	0.31	0.22	0.20

※1-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答 / 科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
1. 講義への興味	11.7	7.1	6.8	10.3
2. 教員にひかれて	2.5	0.0	1.8	2.2
3. 単位が必要	41.3	59.5	51.1	44.5
4. 単位取得が楽	10.4	11.9	14.6	11.5
5. 時間帯が空いている	34.2	21.4	25.6	31.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 専門コース科目（回答者の所属で分類）

区 分	科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		専門コース科目	
	科目数	10		13		9		8		4		0		44	
設 問	学生所属	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻
I-1	平均値	4.22	4.33	4.25	4.43	4.15	4.18	4.35	4.20	4.07	4.15			4.23	4.30
	標準偏差	0.12	0.35	0.21	0.38	0.10	0.22	0.18	0.18	0.24	0.34			0.18	0.22
I-2	平均値	3.68	3.78	3.76	3.69	3.48	3.58	3.59	3.42	4.55	4.48			3.72	3.72
	標準偏差	0.49	0.76	0.43	0.85	0.33	0.39	0.43	0.54	0.42	0.46			0.50	0.52
I-3	平均値	2.96	3.00	2.90	2.67	2.83	2.77	2.80	2.49	2.88	2.64			2.88	2.84
	標準偏差	0.56	0.85	0.26	0.82	0.23	0.47	0.35	0.36	0.14	0.37			0.34	0.40
II-1	平均値	4.01	3.96	4.03	4.06	4.07	4.09	3.79	3.65	4.23	4.10			4.01	3.98
	標準偏差	0.37	0.64	0.27	0.56	0.29	0.33	0.55	0.65	0.44	0.46			0.38	0.41
II-4	平均値	3.71	3.72	3.83	3.92	3.78	3.90	3.64	3.43	4.06	3.93			3.78	3.75
	標準偏差	0.27	0.79	0.35	0.66	0.37	0.34	0.58	0.64	0.65	0.74			0.42	0.41
II-5	平均値	3.85	3.77	3.98	4.03	3.89	3.96	3.81	3.64	4.15	3.89			3.92	3.90
	標準偏差	0.26	0.69	0.51	0.71	0.48	0.45	0.69	0.75	0.45	0.54			0.48	0.49
II-6	平均値	4.08	4.13	4.02	4.23	3.96	4.10	3.91	3.82	4.20	4.10			4.02	3.99
	標準偏差	0.27	0.54	0.30	0.42	0.34	0.36	0.59	0.56	0.36	0.42			0.37	0.36
II-7	平均値	4.06	4.17	4.05	4.14	3.97	3.95	3.95	3.73	4.01	3.85			4.01	4.01
	標準偏差	0.24	0.50	0.38	0.54	0.43	0.49	0.59	0.57	0.42	0.40			0.40	0.40
II-8	平均値	3.94	3.88	4.17	4.21	4.15	4.19	3.93	3.87	4.39	4.28			4.09	4.07
	標準偏差	0.49	0.71	0.40	0.50	0.39	0.51	0.32	0.38	0.29	0.30			0.41	0.44
II-9	平均値	3.76	3.94	3.72	3.69	3.81	3.91	3.68	3.55	4.15	4.09			3.78	3.77
	標準偏差	0.27	0.56	0.29	0.69	0.28	0.32	0.52	0.55	0.46	0.43			0.36	0.36
II-10	平均値	3.79	3.85	3.81	3.66	3.78	3.78	3.70	3.56	4.13	4.09			3.81	3.81
	標準偏差	0.31	0.42	0.35	0.77	0.24	0.26	0.52	0.45	0.47	0.46			0.37	0.39
II-11	平均値	3.82	3.87	3.86	3.78	3.84	3.75	3.65	3.57	4.10	4.13			3.83	3.82
	標準偏差	0.35	0.68	0.39	0.71	0.31	0.37	0.46	0.45	0.51	0.64			0.39	0.40
III	平均値	3.83	3.91	3.90	3.89	3.90	3.96	3.74	3.64	4.14	4.08			3.88	3.86
	標準偏差	0.36	0.76	0.38	0.60	0.37	0.44	0.57	0.64	0.50	0.46			0.42	0.41

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.42	3.34	3.54	3.36	3.41	3.39	3.41	3.38	3.34	3.39			3.45	3.46
	標準偏差	0.24	0.29	0.21	0.30	0.22	0.28	0.23	0.29	0.12	0.16			0.22	0.24
II-3	平均値	3.18	3.02	3.17	3.17	3.17	3.20	3.26	3.26	3.14	3.13			3.19	3.18
	標準偏差	0.18	0.41	0.18	0.23	0.09	0.13	0.17	0.18	0.13	0.17			0.16	0.22

単位：%

回 答 / 科目区分	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光	国際観光	国際観光	専門コース科目						
1. 講義への興味	14.8	13.0	11.3	5.3	13.8	8.9	9.3	10.6	5.7	5.9			11.9	9.1
2. 教員にひかれて	2.5	0.0	2.4	2.1	1.3	0.7	3.4	2.6	2.5	2.0			2.5	1.5
3. 単位が必要	34.7	31.2	36.3	34.0	40.2	47.9	31.1	39.7	45.1	51.0			35.7	40.8
4. 単位取得が楽	14.2	6.5	18.3	20.2	14.7	13.0	26.8	20.5	13.9	13.7			18.5	15.6
5. 時間帯が空いている	33.9	49.4	31.7	38.3	29.9	29.5	29.5	26.5	32.8	27.5			31.4	32.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0



## 6. 教養教育科目

### (1) 講義科目 (群別)

項目	群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
	科目数	9	8	3	9	13	5	10	4	4	16	21	102
I-1	平均値	4.37	4.34	4.44	4.46	4.41	4.50	4.30	4.33	4.45	4.55	4.60	4.46
	標準偏差	0.27	0.19	0.17	0.14	0.19	0.18	0.25	0.24	0.18	0.23	0.29	0.24
I-2	平均値	4.21	3.57	3.57	3.97	4.04	3.59	4.17	3.31	3.53	3.66	2.69	3.60
	標準偏差	0.49	0.73	0.35	0.52	0.49	0.38	0.34	0.28	0.25	0.66	0.50	0.72
I-3	平均値	2.51	2.38	2.49	2.49	2.56	2.33	2.51	2.37	2.24	2.64	2.50	2.50
	標準偏差	0.34	0.28	0.26	0.54	0.23	0.23	0.33	0.29	0.21	0.38	0.44	0.36
II-1	平均値	3.91	3.70	3.77	3.76	3.98	3.84	3.61	3.52	3.49	4.37	4.13	3.94
	標準偏差	0.36	0.24	0.25	0.63	0.31	0.34	0.34	0.51	0.22	0.36	0.47	0.47
II-4	平均値	3.70	3.62	3.58	3.50	3.73	3.65	3.29	3.17	3.28	4.25	3.88	3.72
	標準偏差	0.28	0.35	0.34	0.68	0.40	0.51	0.39	0.49	0.27	0.23	0.52	0.51
II-5	平均値	4.00	3.81	3.72	3.69	3.99	3.90	3.55	3.56	3.77	4.46	4.15	3.98
	標準偏差	0.27	0.39	0.55	0.80	0.50	0.64	0.40	0.52	0.32	0.30	0.42	0.52
II-6	平均値	3.78	3.84	3.84	3.56	3.71	3.87	3.77	3.74	3.85	4.08	4.10	3.88
	標準偏差	0.33	0.37	0.03	0.51	0.98	0.37	0.44	0.34	0.22	0.33	0.32	0.50
II-7	平均値	3.85	3.64	3.81	3.38	3.59	3.79	3.48	3.61	3.56	4.04	4.15	3.79
	標準偏差	0.22	0.46	0.09	0.52	0.77	0.49	0.61	0.41	0.26	0.31	0.34	0.52
II-8	平均値	3.95	3.63	3.36	3.98	3.92	3.79	3.85	3.73	3.72	4.36	4.16	3.98
	標準偏差	0.32	0.51	0.35	0.55	0.52	0.47	0.51	0.48	0.46	0.32	0.42	0.49
II-9	平均値	3.63	3.59	3.56	3.53	3.62	3.60	3.17	3.12	3.16	4.19	3.89	3.67
	標準偏差	0.29	0.30	0.23	0.57	0.29	0.37	0.38	0.52	0.26	0.25	0.46	0.48
II-10	平均値	3.66	3.66	3.61	3.53	3.65	3.59	3.24	3.21	3.25	4.14	3.95	3.70
	標準偏差	0.26	0.28	0.21	0.57	0.24	0.29	0.32	0.45	0.24	0.25	0.34	0.43
II-11	平均値	3.68	3.62	3.58	3.52	3.65	3.69	3.31	3.25	3.44	4.10	3.52	3.62
	標準偏差	0.30	0.17	0.18	0.60	0.27	0.34	0.32	0.48	0.17	0.24	0.37	0.40
III	平均値	3.79	3.72	3.70	3.67	3.83	3.72	3.45	3.28	3.40	4.33	3.83	3.80
	標準偏差	0.29	0.27	0.30	0.71	0.28	0.41	0.46	0.53	0.20	0.22	0.46	0.47

### ※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.52	3.29	3.30	3.43	3.44	3.32	3.78	3.75	3.66	3.29	3.43	3.45
	標準偏差	0.13	0.35	0.18	0.20	0.19	0.23	0.24	0.24	0.09	0.30	0.34	0.30
II-3	平均値	3.23	3.11	3.28	3.24	3.38	3.15	3.44	3.26	3.24	3.07	3.39	3.27
	標準偏差	0.11	0.15	0.19	0.31	0.21	0.06	0.28	0.05	0.20	0.14	0.34	0.26

### ※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 / 群	第1群	第2群	第3群	第4群	第5群	第6群	第7群	第8群	第9群	第10群	第12群	全体
1. 講義への興味	21.9	15.7	18.1	25.6	19.5	19.5	21.3	24.2	27.3	13.3	0.9	19.6
2. 教員にひかれて	2.6	4.5	5.9	2.0	4.2	4.3	2.2	3.9	1.0	3.4	2.3	3.4
3. 単位が必要	28.5	28.3	32.7	32.6	29.3	30.0	45.4	41.9	42.4	30.4	72.9	33.9
4. 単位取得が楽	6.9	8.7	8.1	5.1	11.3	10.5	6.0	8.6	4.7	12.1	11.2	8.7
5. 時間帯が空いている	40.0	42.8	35.3	34.6	35.7	35.7	25.0	21.4	24.6	40.8	12.6	34.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 外国語科目 (商・政経・外国語学部、12カ国語)

項目	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
	科目数	135	1	5	22	13	22	16	9		4	15	38	280
I-1	平均値	4.49	4.20	4.55	4.53	4.61	4.44	4.52	4.44		4.64	4.54	4.60	4.51
	標準偏差	0.30	1.10	0.28	0.20	0.22	0.36	0.22	0.26		0.31	0.25	0.30	0.29
I-2	平均値	3.92	4.73	4.47	4.32	4.38	4.28	4.20	3.96		4.67	4.04	4.32	4.10
	標準偏差	0.54	0.58	0.29	0.36	0.45	0.45	0.33	0.44		0.38	0.44	0.34	0.50
I-3	平均値	3.03	2.90	3.55	3.24	3.27	3.24	3.09	3.14		2.86	3.14	3.77	3.19
	標準偏差	0.63	1.49	0.36	0.55	0.62	0.56	0.33	0.38		0.83	0.59	0.37	0.61
II-1	平均値	3.97	4.50	4.10	4.23	4.28	4.06	4.24	4.19		4.16	3.88	4.40	4.09
	標準偏差	0.51	0.90	0.37	0.40	0.45	0.55	0.33	0.29		0.68	0.50	0.28	0.49
II-4	平均値	3.83	3.87	4.01	3.97	4.10	3.86	4.16	3.98		3.82	3.53	4.34	3.94
	標準偏差	0.63	0.78	0.49	0.50	0.55	0.61	0.29	0.33		1.01	0.64	0.37	0.60
II-5	平均値	4.11	3.17	4.12	4.12	4.26	4.12	4.38	4.26		3.96	3.92	4.48	4.18
	標準偏差	0.57	0.53	0.61	0.46	0.49	0.53	0.32	0.42		1.07	0.59	0.30	0.53
II-6	平均値	3.95	4.57	3.92	4.05	4.13	4.02	4.13	4.07		3.93	3.77	4.30	4.02
	標準偏差	0.44	0.63	0.15	0.42	0.45	0.43	0.35	0.36		0.45	0.43	0.44	0.44
II-7	平均値	3.95	4.77	3.76	4.08	4.06	4.02	4.17	4.05		3.91	3.82	4.35	4.03
	標準偏差	0.49	0.43	0.50	0.46	0.46	0.34	0.24	0.49		0.73	0.52	0.41	0.48
II-8	平均値	4.12	3.50	4.27	4.16	4.24	4.29	4.21	4.17		4.46	3.94	4.33	4.18
	標準偏差	0.54	1.28	0.46	0.47	0.43	0.34	0.32	0.29		0.29	0.42	0.41	0.48
II-9	平均値	3.85	4.07	3.70	3.92	3.91	3.66	3.89	3.91		3.63	3.41	4.42	3.90
	標準偏差	0.53	0.94	0.50	0.49	0.51	0.47	0.23	0.23		0.58	0.61	0.32	0.53
II-10	平均値	3.77	4.37	3.76	3.93	3.91	3.78	3.97	3.93		3.77	3.46	4.25	3.86
	標準偏差	0.51	0.72	0.23	0.44	0.51	0.60	0.20	0.28		0.61	0.58	0.40	0.51
II-11	平均値	3.59	4.17	3.62	3.73	3.69	3.69	3.86	3.84		3.59	3.27	4.19	3.70
	標準偏差	0.56	1.09	0.38	0.50	0.57	0.56	0.25	0.31		0.65	0.56	0.37	0.55
III	平均値	3.93	4.07	3.84	4.05	4.12	3.94	4.18	4.21		3.96	3.59	4.37	4.02
	標準偏差	0.61	1.08	0.50	0.55	0.51	0.58	0.26	0.27		0.63	0.64	0.32	0.57

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.30	4.13	3.69	3.52	3.48	3.63	3.43	3.38		3.47	3.71	3.22	3.38
	標準偏差	0.34	0.97	0.18	0.42	0.25	0.28	0.30	0.16		0.51	0.38	0.22	0.35
II-3	平均値	3.14	4.63	3.44	3.29	3.18	3.15	3.33	3.12		3.01	3.46	3.13	3.18
	標準偏差	0.20	0.49	0.28	0.32	0.18	0.21	0.26	0.13		0.29	0.29	0.20	0.24

※1-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 /	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
1. 講義への興味		3.2	3.4	4.2	4.5	3.5	2.9	0.5	3.7		3.3	0.6	2.6	2.9
2. 教員にひかれて		2.2	10.3	8.3	3.0	0.7	1.7	2.0	15.6		6.7	1.3	6.4	3.3
3. 単位が必要		69.4	34.5	45.8	53.2	47.2	58.7	56.1	33.9		30.0	67.7	40.0	59.1
4. 単位取得が楽		9.9	34.5	0.0	5.4	6.3	7.0	5.6	14.7		6.7	8.2	16.9	10.1
5. 時間帯が空いている		15.3	17.2	41.7	33.9	42.4	29.8	35.9	32.1		53.3	22.2	34.2	24.6
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1. A語：アラビア語、B・P語：ブラジル・ポルトガル語、C語：中国語、F語：フランス語、  
G語：ドイツ語、K語：韓国語、I・M語：インドネシア・マレーシア語、  
I・P語：インド・パキスタン語 (実施科目なし)、R語：ロシア語、S語：スペイン語

注2. 国際学部の地域言語は、47ページを参照

### (3) スポーツ・トレーニング科目

設 問	科 目 数	28
I-1	平均値	4.51
	標準偏差	0.27
I-2	平均値	4.20
	標準偏差	0.25
I-3	平均値	4.35
	標準偏差	0.26
II-1	平均値	4.33
	標準偏差	0.27
II-4	平均値	4.23
	標準偏差	0.36
II-5	平均値	4.45
	標準偏差	0.25
II-6	平均値	4.44
	標準偏差	0.33
II-7	平均値	4.46
	標準偏差	0.29
II-8	平均値	4.46
	標準偏差	0.27
II-9	平均値	4.41
	標準偏差	0.27
II-10	平均値	4.28
	標準偏差	0.24
II-11	平均値	4.38
	標準偏差	0.27
III	平均値	4.46
	標準偏差	0.25
IV-1	平均値	4.19
	標準偏差	0.29
IV-2	平均値	3.97
	標準偏差	0.42
IV-3	平均値	3.60
	標準偏差	0.37

#### ※3の回答が適切である項目

設 問	科 目 数	28
II-2	平均値	3.26
	標準偏差	0.17
II-3	平均値	3.19
	標準偏差	0.14

#### ※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

回 答	全 体
1. 講義への興味	3.0
2. 教員にひかれて	1.5
3. 単位が必要	46.7
4. 単位取得が楽	14.6
5. 時間帯が空いている	34.3
合 計	100.0

(4) 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

区分	課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
設 問	科目数	35		3	38
I-1	平均値	4.45		4.87	4.48
	標準偏差	0.29		0.02	0.30
I-2	平均値	4.28		4.09	4.26
	標準偏差	0.48		0.68	0.49
I-3	平均値	2.99		2.84	2.98
	標準偏差	0.29		0.36	0.29
II-1	平均値	4.23		4.18	4.22
	標準偏差	0.45		0.81	0.47
II-4	平均値	3.97		3.96	3.97
	標準偏差	0.46		0.49	0.45
II-5	平均値	4.18		4.35	4.20
	標準偏差	0.39		0.22	0.38
II-6	平均値	4.05		3.87	4.04
	標準偏差	0.40		0.54	0.41
II-7	平均値	3.97		4.05	3.98
	標準偏差	0.40		0.28	0.39
II-8	平均値	4.36		4.24	4.35
	標準偏差	0.38		0.39	0.38
II-9	平均値	4.00		4.05	4.00
	標準偏差	0.44		0.39	0.43
II-10	平均値	4.09		4.01	4.09
	標準偏差	0.42		0.44	0.43
II-11	平均値	4.10		4.10	4.10
	標準偏差	0.44		0.48	0.43
III	平均値	4.13		3.81	4.11
	標準偏差	0.43		0.35	0.43

※3の回答が適切である項目

II-2	平均値	3.43		3.23	3.42
	標準偏差	0.23		0.41	0.25
II-3	平均値	3.16		2.98	3.14
	標準偏差	0.13		0.34	0.15

※1-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
1. 講義への興味	3.3		4.6	3.3
2. 教員にひかれて	0.4		1.5	0.5
3. 単位が必要	68.0		18.5	65.4
4. 単位取得が楽	14.6		15.4	14.6
5. 時間帯が空いている	13.7		60.0	16.2
合 計	100.0	0.0	100.0	100.0

## V 評価及び課題



## 1. 商学部

### (1) アンケート実施状況

平成 22 年度に「授業改善のための学生アンケート」を実施した商学の教員数は、専任教員 529 名、講師（非常勤講師）112 名であり、実施率はどちらも 100%である。専任教員に関しては平成 12 年度から今年度まで実施率は 100%であり、講師に関して、ここ 4 年間は 100%である。これらの数字から判断する限り、専任教員、講師とも「授業改善のための学生アンケート」の実施の必要性に関して、理解が得られているようである。

平成 22 年度の実施科目数は専任教員 112 科目、講師 210 科目であり、1 年生から 4 年生まで延べ 10,755 名が回答している。1 年生は 3,476 名、2 年生は 3,783 名、3 年生は 2,671 名、4 年生は 808 名というように、学年が進むほど回答数が少なくなっている。アンケートはその実施が目的ではない。アンケートの結果が教員に適正にフィードバックされて、授業改善がおこなわれることが目的である。この観点から、集計結果を分析し、今後取り組むべき課題とその解決策を指摘する。

### (2) 集計結果

#### (A) アンケート設問項目別の点検・評価

「学生の出席状況」（設問項目 I-1）について、平成 22 年度の平均値は 4.49（5 点満点）であった。専任教員の科目が 4.50、講師の科目は 4.51 であった。標準偏差は専任教員の科目が 0.23、講師の科目が 0.27 であった。平均値と標準偏差に関して専任教員と講師の差は見られない。平均値はここ数年微増傾向にあり、「まじめに授業に出席する学生が増えている」という教員の感想とも合致している。

「ノートやメモをきちんととっているか」（設問項目 I-2）について、5 点満点で 3.99（専任教員の科目 4.01、講師の科目 3.95）であった。平均値は数年前には微減傾向にあったが、2 年前から横ばいである。1 年生向けの基礎ゼミ I においてスタディ・スキルにおいてノートの取り方を指導しているからであろうか。

「予習・復習を行っているか」（設問項目 I-3）について、5 点満点で 2.72（専任教員の科目 2.85、講師の科目は 3.00）となっている。学生は授業に出席するようにはなったが、ノート等をとらず（あるいはノートをうまくとれず）、予習等を通して教室以外で学習する機会は少ない（あるいは学習する気はない）といった傾向が読み取れるのかもしれない。単位制の本来の目的を遂行するためにも、予習・復習を必要とするような授業、例えば小テストの実施やレポートの提出を求めるなどの工夫を要する必要があるであろうか。

「授業の狙いやポイントが明確か」（設問項目 II-1）について、5 点満点で 4.01（専任教員の科目 3.98、講師の科目は 4.15）となっている。やや専任教員の科目の数値が低い。平均値が選択肢 4 の「そう思う」に近い値となっている。教員の側では授業のポイント等を明確にしようという努力が見られ、学生の側ではそれをうまく理解しているということにはなる。今後、シラバス（講義要項）にある授業の目的や達成目標を「○○できる」という形に統一することで、授業の狙いがより明確にあるであろう。

「授業の難易度」（設問項目 II-2）について、5 点満点で 3.55（専任教員の科目 3.55、講

師の科目は 3.43) となっている。平均値は選択肢 3 の「ちょうど良い」と選択肢 4 の「やや難しい」の中間値に近い値となっている。

「授業の進度」(設問項目 II-3)について、5 点満点で 3.28 (専任教員の科目 3.29、講師の科目は 3.24) となっている。平均値は選択肢 3 の「ちょうど良い」から選択肢 4 の「やや早い」に近い値となっている。

「説明はわかりやすいか」(設問項目 II-4)について、5 点満点で 3.77 (専任教員の科目 3.76、講師の科目は 3.97) となっている。平均値は選択肢 3 の「どちらでもない」より選択肢 4 の「そう思う」に近い値となっている。

「授業の内容は理解できたか」(設問項目 II-9)について、5 点満点で 3.64 (専任教員の科目 3.70、講師の科目は 3.88) となっている。平均値は選択肢 3 の「どちらでもない」と選択肢 4 の「そう思う」の中間値に近い値となっている。

「知識や技術が身についたか」(設問項目 II-10)について、5 点満点で 3.66 (専任教員の科目 3.74、講師の科目は 3.86) となっている。平均値は選択肢 3 の「どちらでもない」と選択肢 4 の「そう思う」の中間値に近い値となっている。

「ものの見方や考え方が深まったか」(設問項目 II-11)について、5 点満点で 3.63 (専任教員の科目 3.69、講師の科目は 3.74) となっている。平均値は選択肢 3 の「どちらでもない」と選択肢 4 の「そう思う」の中間値に近い値となっている。

「満足度」(設問項目 III)について、5 点満点で 3.88 (専任教員の科目 3.89、講師の科目は 4.03) であり、平均値は選択肢 3 の「どちらでもない」と選択肢 4 の「そう思う」の中間値より高い値となっている。

全国的な FD の研究学会に出席すると、II-10、II-11、III の数値が 5 段階評価で 3.5 以上であることが望ましいと耳にする。この基準にしたがえば、商学部専門科目は合格ラインを満たしているという結果にはなっている。同じように、全国的な FD の研究学会で指摘されることであるが、学生の理解度や満足度、関心度は 4 つの要因に依存するそうである。

第 1 に、「話し方や声は聞きやすいか」(設問項目 II-5)である。5 点満点で 4.05 (専任教員の科目 4.05、講師の科目は 4.19) となっており、平均値は「ちょうど良い」という評価に近い。第 2 に、「教材等は授業内容を理解するのに有効か」(設問項目 II-6)である。5 点満点で 3.90 (専任教員の科目 3.94、講師の科目は 4.03) であり、これも平均値は「ちょうど良い」という評価に近くなってきている。第 3 に、「板書等の文字等は見やすいか」(設問項目 II-7)である。5 点満点で 3.83 (専任教員の科目 3.80、講師の科目は 4.02) であり、平均値は「ちょうど良い」という評価に近くなってきている。

第 4 に、(アンケート項目にはないが)『双方向型、学生参加型授業』を実践することである。学生の理解度や満足度、関心度を上げるためには、これら 4 つの項目に関して授業改善をする必要がある。

今後は「授業の内容は理解できたか」という項目の平均値を上昇させることを最重視し、「話し方や声は聞きやすいか」、「教材等は授業内容を理解するのに有効か」、「板書等の文字等は見やすいか」という 3 つの項目を改善し、『双方向型、学生参加型授業』の実践を推進し、スタディ・スキルを徹底することで、学生の学力の向上を図っていくべきであると考えられる。



## (B) 学科別の結果の点検

「満足度」について、経営 3.82、国際ビジネス 3.85、会計 3.86 であった。平成 20 年度には会計学科の満足度がやや低かった。この状況を会計学科の教員、講師に伝えて自主的な授業改善を要求した結果、満足度の数字は良くなっている。学生の理解度や満足度、関心度に影響を与えるとされる項目について見ると、3 学科とも改善しているが会計の改善が顕著である。「話し方や声は聞きやすいか」については平成 20 年度には経営 3.92、国際ビジネス 3.96、会計 3.75 であったものが平成 22 年度には 3.99、4.02、4.00 となっている。

「教材等は授業内容を理解するのに有効か」については同様に 3.85、3.88、3.73 から 3.87、3.91、3.96 となっている。「板書等の文字等は見やすいか」については 3.72、3.81、3.58 から 3.77、3.80、3.85 となっている。

「学生の出席状況」についてはそれぞれ 4.50、4.49、4.63 であり、会計が一番高い。「ノートやメモをとっているか」については、それぞれ 3.97、4.07、4.09 でありやや経営学科が低い。「予習・復習」については 2.74、2.80、2.71 であり、全体的に低目である。「授業の狙いやポイントが明確か」については 3.96、3.95、4.05 となっている。全体的に数値は高めであるが、会計学科がやや高い。「授業の難易度」については 3.50、3.53、3.49 であり、大差はない。平成 20 年度には、会計の数値が選択肢 4 の「やや難しい」に近い値となっていたが、この状況を教員に伝えて自主的に授業改善した結果、3 つの学科の数値は差がなくなっている。「授業の進度」については 3.30、3.32、3.26 となっておる。会計学科に関して、平成 20 年度には選択肢 4 の「やや早い」に近い数値となっていたが、これも改善されている。「説明はわかりやすいか」については、それぞれ 3.72、3.74、3.75 となっている。これについても平成 20 年度の会計の数値が低かったが、改善されている。

「授業の内容は理解できたか」については、3.63、3.66、3.67 となっている。これについても平成 20 年度の会計の数値が低かったが、改善されている。「知識や技術が身についたか」については、3.64、3.68、3.69 となっている。「ものの見方や考え方が深まったか」については、3.59、3.65、3.56 となっており、3 学科の数値に大差はない。

平成 20 年度の当該報告書では「特に会計学科に関して改善が必要であると判断される」と記したが、平成 22 年度にはこの課題は解決されている。

## (3) 今後の課題

第 1 に、教員個人レベルでの FD 活動に関して、学生による評価結果に対する教員のコメントをさらに学生にフィードバックするためにも、学生による評価結果をわかりやすい形で全面公開することが望ましいと考えられる。

第 2 に、組織レベルでの FD 活動に関して、学科・コース等の構成メンバーである教員が学生による評価結果を持ち寄り、お互いに情報を共有した上で、授業カリキュラムの再編や履修モデルの作成等を進めていくべきである。平成 20 年度には、国際ビジネスで授業カリキュラムの改訂が行われ、会計において履修モデルの改善・作成が行われた。平成 21 年度には国際ビジネスにおいて履修モデルが作成された。平成 22 年度には経営においても授業カリキュラムの改訂と履修モデルの作成が行われた。

平成 23 年度には、大学の理念・目標を受けて商学部と各学科のディプロマ・ポリシー（学

位授与の方針)を明確にし、各授業の到達目標との整合性を合理的・体系的に説明するカリキュラム・ポリシーを具体化すべきである。具体的には、商学部と各学科のディプロマ・ポリシーと各授業の到達目標との関係性を合理的に表現したカリキュラム・マップを作成することになる。

カリキュラム・マップはディプロマ・ポリシーと各授業の到達目標の整合性を明示するマトリックスである。これにより、どの授業でどのディプロマ・ポリシーを実現するかが一目瞭然となる。教員がカリキュラム・マップを作成することで、ディプロマ・ポリシーの達成度を具体的にどの授業で保証しているかを明確に説明できる。学生の立場から見れば、何のためにその授業を履修するか、カテゴリ(学科・科目群・学年)ごとの目標を達成するとどのような能力を修得できるかを知ることができる。

## 2. 政経学部

### (1) 実施状況について

平成 22 年度の「授業改善のための学生アンケート」調査は、専任教員では対象教員 57 人全員によって実施され(100%)、非常勤講師も対象教員 119 人全員によって実施された(100%)。

アンケート調査の実施科目数は専任教員全体で 129 科目、非常勤講師全体で 189 科目、合計 318 科目だった。専任教員数は平成 21 年度と比べて増減はないが、実施した科目数は前年比で 4 科目増加し、非常勤講師は平成 21 年度に比べて 6 人増え、実施した科目数は前年比で 3 科目増えた。専任教員は 1 人あたり平均して 2.3 科目(昨年度は 2.2 科目)、非常勤講師は 1 人あたり平均して 1.59 科目(昨年度は 1.64 科目)のアンケート調査を実施したことになる。

アンケート調査の実施科目を科目別に多い順で言えば、専門科目が 130 科目(昨年度は 127 科目)、外国語科目が 107 科目(昨年度は 104 科目)、教養科目・総合教育科目が 26 科目(昨年度は 31 科目)、スポーツ・トレーニング科目が 18 科目(昨年度は 19 科目)、教職・社教・国語科目が 18 科目(昨年度は 13 科目)、ゼミ・外書講読が 16 科目(昨年度も 16 科目)などとなっている。学生のアンケート回答数(延べ人数)は、1 年生が 4,028 人(昨年度は 3,639 人)、2 年生が 3,658 人(昨年度も 3,658 人)、3 年生が 2,952 人(昨年度は 3,060 人)、4 年生が 1,160 人(昨年度は 1,217 人)であり、無回答の 32 人を含めて合計 11,830 人(昨年度は 11,622 人)だった。

### (2) 集計結果について

#### ①. 設問項目別評価

近年、政経学部専門科目のアンケート結果に関して、全般に平均値の上昇が見られる。平成 22 年度は、I-1「学生の出席状況」および I-2「ノート・メモ」、II-3「進度」などで平成 21 年度より若干悪化したものの、ほとんどの項目で平均値が平成 21 年度を上回った。各項目の上昇率は次のようになっている。

ここ数年間にわたり連続して平均値が上昇する項目が多くなった。「予習・復習」は 4 年連続、「狙いの明確さ」は 3 年連続、「説明方法」は 4 年連続、「声の大きさ」は 4 年連続、「教材等の効果」は 5 年連続、「文字・画面」は 5 年連続、「理解しやすさ」は 4 年連続、「知識・技術が身につく」は 4 年連続、「見方・考え方が深まる」は 5 年連続、「総合的な満足度」は 4 年連続で平均値が前年度を上回っている。

「出席状況」、「ノート・メモ」に関しては、若干数値の減少がみられるものの、前年度報告書にて述べたように、平成 19 年度から始まった初年次のアカデミックスキル・クラスでの効果が現れている可能性は否定できないが、因果関係について必ずしも明確ではない。初年次教育(アカデミックスキル)の改善については、教員から複数意見も出されており、FD 委員会等を中心として今後の改善に期するところが大きい。「出席状況」の数値低下は、学生の就職活動長期化と密接に関係していると思われる。

以下では項目ごとに見ていく。

- I-1 学生の出席状況は授業に 80%以上出席していると回答している学生が 60.13%(昨年度は 86.78%)と減少した結果、全体としての評価も下がっている。すでに述べたように、4年生に関しては就職活動の長期化によって出席が困難になっている状況がある。出席さえしていればよいというものではないが、これまで以上に教員側として「魅力ある授業」を行う工夫や努力を継続していくことは大事であろう。
- I-2 ノートやメモを取っているかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」を合計すれば 66.65%(昨年度は 65.28)になり、次第に改善されていることが分かる。しかし、「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「まったくそう思わない」の合計が 33.35%もいることを考えると、この点での底上げをさらに図ることが必要である。
- I-3 予習。復習をしているかどうかについて、平均値はわずかに上昇しているものの、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 22.77%で昨年度よりやや増加した(昨年度は 20.78%)。学生一人ひとりが、講義の内容を踏まえ、そのオリジナルな主張が展開された学会誌などを紐解くに至るまでには、何段階かステップが必要に思われる。この点もまだ改善の余地が大きいと言える。
- II-1 授業の狙いは明確かどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 70.74%であり(昨年度は 69.59%)、次第に改善されていることがうかがえる。「そう思わない」とまったくそう思わないも 6.67%(昨年度は 6.79%)と減少しており、教員の工夫が数値に表れる結果となっている。
- II-2 授業の難易度について、内容が「難しすぎる」と「やや難しい」の合計は 48.13%(昨年度は 47.21%)とやや増加している。しかし、「難しい」ことが悪いことなのか、「やさしい(平易である)」ことがいいことなのかについては、十分な検討が必要であろう。いたずらに学生のレベルに迎合することで、学視力や就職力の低下を招く可能性は否定できない。大切なことは、学生が「難しい」と感じた時、それを自分自身でどのように解決したらよいか学生自身が知ることではないか。そのための手段として、教育助手(ティーチング・アシスタント)などの設置も考慮すべきではないだろうか。
- II-3 授業の進度について、「ちょうど良い」と回答しているのは 66.96%(昨年度は 68.70%)で、多くの学生は「ちょうど良い」と思っているようである。
- II-4 説明方法(の的確さ)について、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 59.23%(昨年度は 57.62)であり、毎年改善されているように思われる。改善状況は「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計が 10.06%に減っている(昨年度は 10.98%)ことから分かる。
- II-5 声の大きさ(の適当さ)について、「そう思う」と「強くそう思う」の合計が 69.01%(昨年度は 67.17%)になり、この点でも改善が見られる。
- II-6 教材等の効果について、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 72.27%(昨年度は 69.71%)になっており、70%以上の学生が教材は授業内容を理解するのに有効だと考えている。教員による教材の改善が進んでいると思われる。
- II-7 文字・画面の見やすさについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は 66.32%であり、昨年度(63.93%)よりやや改善しているものの、大幅な改善は見受け

られない。文字や画面の見やすさに関しては、教員によって評価が大きく分かれていることも考えられる。

- II-8 学習しやすいように教室の雰囲気が保たれているかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答している学生は、71.36%(昨年度は 70.11%)と改善している。しかし、「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は 7.60%(昨年度は 6.84%)と増加している。アカデミックな雰囲気で学習できるような工夫が継続して必要である。
- II-9 授業内容が理解できたかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答している学生は 56.72%(昨年度は 55.79%)と改善している。ここ数年間は学生の理解度が進んできているが、授業が理解できるかどうかは教育の要であるから、理解できる学生の割合をせめて 70%以上にはしなければならないだろう。
- II-10 知識が身についたかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」の合計は 59.33%(昨年度は 58.59%)になっており、年々改善が見られる。「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は 9.13%(昨年度は 8.82%)である。
- II-11 見方・考え方が深まったかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は 57.28%と増加した(昨年度は 56.07%)。また「そう思わない」と「まったくそう思わない」の合計は 9.13%(昨年度は 9.51%)となり、見方や考え方が深まっていないと考える学生は昨年度に引き続いて 10%を切った。
- III. 総合的に見て授業に満足したかどうかについて、「そう思う」と「強くそう思う」と回答した学生は 66.44%まで上昇した。一昨年度が 63.98%、昨年度が 65.60%であったから、授業に対する総合的な満足度は次第に増加していることがうかがえる。

以上のように、設問項目の全体から見て授業は昨年度よりさらに改善されたと言える。ただ各項目について「どちらとも言えない」と回答している学生は 20%台から 36%台の間におり、決して少なくない。しかしながら、昨年度と対比すると、「ノート・メモ」の項目で 18.89%(昨年度は 20.31%)、「予習・復習」の項目で 34.72%(昨年度は 36.58%)、「狙いの明確さ」の項目で 22.59%(昨年度は 23.62%)、「説明方法 (の的確さ)」の項目で 30.71%(昨年度は 31.39%)、「声の大きさ (の適当さ)」の項目で 22.94%(昨年度は 23.87%)、「理解しやすさ」の項目で 32.68%(昨年度は 34.09%)、「知識が身につく」の項目で 31.54%(昨年度は 32.60%)、「見方・考え方」の項目で 32.60%(昨年度は 34.42%)と改善している点は評価に値するであろう。

## ②. 教員別評価

### I. 専任教員の評価

専任教員の評価では、昨年度に比べてすべての設問項目で平均値の上昇が認められる。昨年度も一昨年度に比べてすべての項目で平均値の上昇が見られたが、今年度はさらに評価が上がったことになる。ここ数年間にわたる教員の積極的な FD 活動の成果が現われている。

## Ⅱ. 非常勤講師の評価

非常勤講師の評価では、昨年度と比較すると、今年度はすべての項目で平均値の上昇が見られた。この点で非常勤講師の授業改善が進み、評価が高まったと言える。

## Ⅲ. 専任教員と非常勤講師との比較

学生に接する時間の長さが圧倒的に異なる（専任教員の方が長い）ため、単純比較はできないことに注意が必要である。しかし、数値（平均値）の上では、満足度に関して専任教員が 4.01、非常勤講師が 3.91 と若干専任教員が上回る結果となった。個別項目についてみると以下のようになっている。

「学生の出席状況」専任教員(4.45)、非常勤講師(4.38)

「ノート・メモ」専任教員(4.02)、非常勤講師(3.87)

「予習・復習」専任教員(2.86)、非常勤講師(2.81)

「狙いの的確さ」(4.07)、非常勤講師(4.03)

「説明方法」(3.87)、非常勤講師(3.82)

「声の大きさ」(4.11)、非常勤講師(4.06)

「教材等の効果」(3.94)、非常勤講師(4.00)

「文字・画面（の適当さ）」(3.91)、非常勤講師(3.93)

「教室内の雰囲気」(4.24)、非常勤講師(4.20)

「知識・技術が身につく」(3.82)、非常勤講師(3.87)

「見方・考え方が深まる」(3.78)、非常勤講師(3.67)

「難易度（の適切さ）」(3.48)、非常勤講師(3.44)

「進度（の適切さ）」(3.22)、非常勤講師(3.21)

しかしながら、この結果から分かるように、「教材等の効果」「文字・画面（の適当さ）」においては、専任教員の方が非常勤講師よりも評価が低い。専任教員はこの結果を真摯に受け止め、教材の開発や板書・スライド表記の工夫をする必要がある。

## ③. 学科別評価

法律政治学科と経済学科とを比較すると、昨年度は「文字・画面」の1項目だけ両学科の平均値が同値(3.82)である以外、他のすべての項目で法律政治学科の平均値が経済学科の平均値を上回っていた。しかし、今年度は「教材等の効果」「難易度」「進度」の3つの項目について経済学科の平均値が法律政治学科のそれを上回る結果となった。経済学科教員のFD活動の成果を示す証左といえよう。

具体的には、法律政治学科の平均値は経済学科の平均値に比べて、「学生の出席状況」が+0.02、「ノート・メモ」が+0.08、「予習・復習」が+0.01、「狙いの明確さ」が+0.05、「説明方法」が+0.07、「声の大きさ」が+0.08、「教材等の効果」が-0.03、「文字・画面」が+0.02、「教室内の雰囲気」が+0.14、「理解しやすさ」が+0.08、「知識・技術が身につく」が+0.12、「見方・考え方が深まる」が+0.13、「満足度」が+0.07という差がある。

数値の差が0.1以上あるのは「教室内の雰囲気」、「知識・技術が身につく」、「見方・考え方が深まる」の3項目である。経済学科の学生数が法律政治学科の学生数の約2倍であ

り、必然的に多人数授業が多くなるのがこのような差に反映されていると思われる。加えて、法律政治学科と経済学科の差は昨年、一昨年と次第になくなってきている。経済学科教員の日々の教育努力が、成果として表れ始めていることがうかがえる結果となった。

#### ④. 分野別評価

政経学部の専門科目である法律、政治、行政、経済の各分野について、それぞれの設問項目の平均値を合計して高い順に示せば、政治分野が 51.47 (昨年 50.56)、法律分野が 51.08 (昨年 50.18)、行政分野が 50.39 (昨年 49.53)、経済分野が 49.39 (昨年と同値) である。平均値の合計が高い順は昨年度と同じである。また、項目の平均値は、法律 3.96、政治 3.97、行政 3.88、経済 3.80 と、平均値で見ると各分野近接していることがわかる。

##### I. 法律分野 (カッコ内は昨年数値)

昨年度と比べると、今年度の法律分野はすべての項目で昨年度を上回った。「出席状況」は 4.41 (4.47)、「ノート・メモ」は 4.05 (3.99)、「狙いの明確さ」は 4.18 (4.06)、「説明方法」は 3.90 (3.78)、「声の大きさ」は 4.23 (3.68)、「教材等の効果」は 4.07 (4.03)、「文字・画面」は 4.01 (3.80)、「教室内の雰囲気」は 4.43 (4.25)、「理解しやすさ」は 3.77 (3.75)、「知識が身につく」は 3.85 (3.77)、「見方・考え方が深まる」は 3.85 (3.85)、「総合的な満足度」は 3.99 (3.90) である。なかでも、「狙いの明確さ」、「説明方法」の改善が顕著である。

##### II. 政治分野 (カッコ内は昨年数値)

昨年度と比べると、今年度の政治分野は「出席状況」、「ノート・メモ」、「教材等の効果」、「理解しやすさ」の 4 項目で平均値が低下したが、他の 9 項目では改善された。「出席状況」は 4.45 (4.51)、「ノート・メモ」は 4.14 (4.12)、「予習・復習」は 2.75 (2.73)、「狙いの明確さ」は 4.08 (4.04)、「説明方法」は 3.90 (3.77)、「声の大きさ」は 4.12 (4.05)、「教材等の効果」は 3.81 (3.86)、「文字・画面」は 3.83 (3.72)、「教室内の雰囲気」は 4.45 (4.33)、「理解しやすさ」は 3.78 (3.79)、「知識が身につく」は 3.88 (3.84)、「見方・考え方が深まる」は 3.88 (3.83)、「総合的な満足度」は 4.01 (3.97) となっている。

##### III. 行政分野 (カッコ内は昨年数値)

昨年度と比べると、今年度の行政分野は「出席状況」、「見方・考え方が深まる」の 2 項目で平均値がやや低下したが、他のすべての項目では昨年度を上回った。「出席状況」は 4.41 (4.42)、「ノート・メモ」は 3.58 (3.77)、「予習・復習」は 2.75 (2.65)、「狙いの明確さ」は 4.13 (4.01)、「説明方法」は 3.90 (3.73)、「声の大きさ」は 4.12 (3.63)、「教材等の効果」は 4.02 (3.84)、「文字・画面」は 3.84 (3.83)、「教室内の雰囲気」は 4.30 (4.27)、「知識が身につく」は 3.69 (3.65)、「見方・考え方が深まる」は 3.76 (3.77)、「総合的な満足度」は 4.10 (3.83) である。昨年度から飛躍的な改善がされている点が特筆される。今後も継続した FD 活動をしていく必要がある。

#### IV. 経済分野（カッコ内は昨年数値）

昨年度と比べると、今年度の経済分野は「出席状況」、「説明方法」、「声の大きさ」「教材等の効果」の4項目で平均値がやや下回ったが、「総合的な満足度」は昨年と同じである。昨年度、経済分野においては大幅な平均値の改善がみられたが、今年度はその流れを失速させないよう教員それぞれが努力した様子が見える。

「出席状況」は4.40(4.44)、「ノート・メモ」は3.92(3.92)、「予習・復習」は2.70(2.67)、「狙いの明確さ」は3.92(3.94)、「説明方法」は3.73(3.75)、「声の大きさ」は3.95(3.96)、「教材等の効果」は3.96(3.97)、「文字・画面」は3.84(3.83)、「教室内の雰囲気」は4.12(4.11)、「理解しやすさ」は3.64(3.64)、「知識が身につく」は3.67(3.63)、「見方・考え方が深まる」は3.66(3.65)、「総合的な満足度」は3.88(3.88)である。

#### (3) 今後の課題

各項目について学生による今年度の評価は、昨年度よりも平均値でわずかに減少した「学生の出席状況」「ノート・メモ」の2項目を除くと、過去5年間(平成18年度以降)で最高の平均値を示した。特に経済学科の改善が目覚ましく、ここ数年のFD活動の成果として評価できるであろう。先に述べたように、政経学部における経済学科の定員は法律政治学科の2倍近くあり、学生の能力、動機、学問に対するモチベーションに幅があることも否めない。経済学科だけの問題ではないが、学生の知的好奇心を喚起するような教育を提供していく努力は、今後も継続して行う必要がある。そのためには中・長期的なビジョンに立った戦略的なFD活動を展開する必要がある。

学部全体の評価が改善している一方で、各項目をより詳細に分析すると、必ずしも満足できない点も多々見受けられる。昨年度報告書にも書いたとおり、各教員が授業成果を高めるには、それぞれの設問項目で「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「まったくそう思わない」の回答を可能な限り少なくすることが必要である。「どちらとも言えない」との回答をどのように解釈するかで大きな差が生じるが、この回答を選んだ学生がその授業に十分満足していないことは確かであろう。「どちらとも言えない」と回答した学生は20%台から30%台もいる。もし教員が授業で少しでも手を抜くとすれば、この回答を選んだ学生はおそらく「そう思わない」の選択肢へと移るであろう。授業改善に終わりはない。今後もさらなる改善に向け、より一層の教員努力が求められよう。



### 3. 外国語学部

#### (1) 実施状況について

今年度「授業改善のための学生アンケート」を実施した外国語学部教員は、専任教員（特別非常勤講師を含む）が 40 名、非常勤講師が 48 名であった。実施対象者がそれぞれ 41 名、49 名であるので、実施率は、専任教員については 97.6 %、非常勤講師については 98.0 %で、残念ながら 100 %に達しなかった。来年度はともに 100 %になるよう、アンケート調査の実施を呼びかけたい。

実施科目数を見ると、専任教員は 95、非常勤講師は 104 で、合計 199 であった。その内訳は、外国語学部専門科目が 109、国際学部専門科目が 1、教養科目・総合教育科目が 25、外国語科目が 52、教職・社教・日語科目が 5、ゼミ・外書講読が 7 であった。

アンケート回答数（延べ人数）は、1 年が 1,351 名、2 年が 835 名、3 年が 589 名、4 年が 184 名、無回答が 38 名で、合計 2,997 名であった。昨年度は、1 年が 1,162 名、2 年が 816 名、3 年が 714 名、4 年が 136 名、無回答が 20 名で、合計 2,848 名であった。昨年度に比べ、1 年が増え、3 年が減少しているが、比較的バランスのとれたアンケート調査となっている。

#### (2) 集計結果

##### ①学科目別（講義等科目） 外国語学部専門科目に対する評価

設問項目別に具体的に見ていくと、次のような結果になる。

I-1「学生の出席状況」4.44 は、大学全体の平均値 4.46 を 0.02 だけ下回っている。また I-2「ノート・メモ」3.92 も、大学全体の平均値 3.94 を 0.02 だけ下回っている。I-3「予習・復習」3.36 は、0.33 だけ大学全体の平均値を上回っている。

残りの科目は、すべて大学全体の平均値より良好な数字が出ている。

I-1「学生の出席状況」以外に 4.0 以上がついている項目は、次のとおりである。

II-1「狙いの明確さ」 4.23

II-4「説明方法」 4.05

II-5「声の大きさ」 4.28

II-6「教材等の効果」 4.08

II-7「文字・画面」 4.11

II-8「教室内の雰囲気」 4.24

II-9「理解しやすさ」 4.04

II-10「知識・技術が身につく」 4.04

III「満足度」 4.13

4.0 以上がついている項目は、計 10 項目になっている。

II-11「見方・考え方が深まる」は 3.93 であるが、昨年の 3.89 よりも高く、大学全体の平均値 3.75 より上である。

II-1「狙いの明確さ」、II-4「説明方法」、II-5「声の大きさ」など、いずれも外国語教育にとって重要な項目であるが、昨年度同様、良好な評価であるといえる。

また、3.00 の回答が適切であると考えられる設問項目 II-2「難易度」と II-3「進度」に関しても、それぞれ 3.33、3.15 という数字で、大学全体の平均値より良好な結果が出ている。

以上のことから、外国語担当教員の基本的な姿勢や資質、適正などと大いに関係ある項目は、今年度も学生から比較的高い評価を受けていることがわかる。特に「難易度」、「進度」、「教室内の雰囲気」などは、少人数のクラスが多いため、学生へのきめ細かい対応ができていると推察することができる。

また、外国語学部専門科目は、すべての設問項目について、それぞれ昨年度のものに近い良好な評価がつけられている。たとえ少しずつであっても、上向き傾向が今後も続くよう期待したい。

一方、改善の余地があると考えられるのは、I-3「予習・復習」と I-2「ノート・メモ」である。昨年度までは他学部の学生を上回っていたが、今年度は大学全体の平均より低くなってしまった。毎時間の予習と復習が何より大切な外国語学部の学生としては、もっと高くてもいい数字である。学生に対しては、予習・復習に力を入れるよう、新入生のオリエンテーションのときから指導しているが、さらにそのことを強調しなければいけないだろう。

#### 最近 5 年間のデータから見た評価

外国語学部専門科目に対する評価に関しての大きな特徴は、平成 18 年度から平成 22 年度の間ポイントが少しずつ上がっていることである。

「教材等の効果」、「文字・画面」、「見方・考え方が深まる」の項目は、アンケートを実施するたびに評価が高くなっている。

昨年度は全般に評価が高かった年だったので、今年度はそれよりやや下回っているが、「狙いの明確さ」、「説明方法」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「理解しやすさ」、「満足度」など、この数年安定した高い評価を受けている。

今後もこの上向き傾向を維持できるよう、いっそう努力したい。

#### ②教員所属別評価 専任教員（特別非常勤講師を含む）に対する評価

「教材等の効果」と「教室内の雰囲気」を除く項目は、すべて他学部より高い評価を受けている。特に評価が高いのは「狙いの明確さ」と「声の大きさ」である。

「見方・考え方が深まる」の評価はまだ 3.95 だが、毎年徐々に評価が高くなっているため、近い将来、4.0 を超える評価につながるよう努力したい。あとの項目は 4.0 以上である。

「教材等の効果」と「教室内の雰囲気」についても、それぞれ 4.05、4.21 なのでけっして低い数字ではない。

特にポイントが高い項目からは、外国語学部の専任教員たちが、毎年授業の工夫をしながら学生の指導にあたっていることが窺える。

学生の授業に対する「満足度」は、昨年度 4.21、今年度 4.11 で、安定した評価になっている。

### 非常勤講師に対する評価

昨年度は、「狙いの明確さ」から「満足度」まですべて大学全体の平均を少しずつ上回る評価を受けたが、今年度は、「声の大きさ」、「文字・画面」、「理解しやすさ」、「知識・技術が身につく」、「見方・考え方が深まる」の5項目にとどまった。

それでも、「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「文字・画面」の項目は 4.0 以上で、外国語の指導に関して特に大切と思われる重要な項目は比較的高い評価を受けているといえよう。

学生たちの「予習・復習」のポイントを上げることが、やはり大きな課題のようである。非常勤講師担当授業での学生たちの「予習・復習」は、大学の平均を上回っているものの、外国語学部の学生として 3.13 という数字は決して高くはない。昨年度は 3.05 だったので、わずかに上回っているが、来年度はさらに学生たちが予習・復習にもっと時間を割くよう、いっそうのご指導をお願いしたいと考えている。

学生の満足度は、昨年度 4.04 だったが、今年度は 3.95 と、やや低くなった。

専任教員と非常勤講師との連携を密にしながら、より効果的な外国語教育ができるよう、努めていきたい。

### ③学生所属別評価（講義科目）

#### 学科別の分析

講義科目に関する今回の学生アンケートの回答を学科別に見てみよう。

##### 「学生の出席状況」

学科ごとの平均値は、英米語 4.55、中国語 4.50、スペイン語 4.39 で、英米語がやや高いが、全体として他学部の平均値に近い。昨年度は、それぞれ 4.58、4.45、4.46 だった。

##### 「ノート・メモ」

学科ごとの平均値は、英米語 3.92、中国語 3.99、スペイン語 3.80 で、中国語が若干上回っている。昨年度は、それぞれ 4.04、3.97、3.94 だった。

##### 「予習・復習」

学科ごとの平均値は、英米語 2.93、中国語 3.08、スペイン語 3.06 で、他学部の平均値と大差ない。昨年度は、それぞれ 2.78、2.86、3.18 だった。

##### 「狙いの明確さ」

学科ごとの平均値は、英米語 4.02、中国語 3.99、スペイン語 4.15 で、スペイン語が高く、学内では開発協力量科に次いでいる。昨年度は、それぞれ 4.11、3.84、4.13 だった。

##### 「説明方法」

学科ごとの平均値は、英米語 3.84、中国語 3.72、スペイン語 3.99 で、英米語とスペイン語は、開発協力量科とアジア太平洋学科に次いでいる。昨年度は、それぞれ 3.92、3.66、3.99 だった。

##### 「声の大きさ」

学科ごとの平均値は、英米語 4.06、中国語 3.99、スペイン語 4.16 で、これもスペイン語と英米語が、開発協力量科とアジア太平洋学科に次いでいる。昨年度は、それぞれ 4.16、3.96、4.20 だった。

#### 「教材等の効果」

学科ごとの平均値は、英米語 3.92、中国語 3.89、スペイン語 4.03 で、他学部の数字に近い。昨年度は、それぞれ 4.01、3.70、4.01 だった。

#### 「文字・画面」

学科ごとの平均値は、英米語 3.90、中国語 3.90、スペイン語 4.05 で、学内平均よりやや高い。昨年度は、それぞれ 3.91、3.68、4.02 だった。

#### 「教室内の雰囲気」

学科ごとの平均値は、英米語 4.04、中国語 3.90、スペイン語 4.08 で、学内平均に近い。昨年度は、それぞれ 4.07、3.82、4.16 だった。

#### 「理解しやすさ」

学科ごとの平均値は、英米語 3.80、中国語 3.77、スペイン語 3.97 で、学内平均をやや上回っている。昨年度は、それぞれ 3.89、3.61、3.95 だった。

#### 「知識・技術が身につく」

学科ごとの平均値は、英米語 3.83、中国語 3.80、スペイン語 3.97 で、これも学内平均をやや上回っている。昨年度は、それぞれ 3.90、3.60、4.02 だった。

#### 「見方・考え方が深まる」

学科ごとの平均値は、英米語 3.76、中国語 3.64、スペイン語 3.86 で、学内平均に近い。昨年度は、それぞれ 3.77、3.42、3.89 だった。

#### 「満足度」

学科ごとの平均値は、英米語 3.90、中国語 3.82、スペイン語 4.01 で、英米語とスペイン語が学内平均よりやや高い。昨年度は、それぞれ 4.01、3.72、4.13 だった。

外国語学部の3学科中、中国語学科の評価が若干低いですが、大学全体の中では決して低くはなく、ほぼ平均値に近い評価を受けている。

昨年度までも、「狙いの明確さ」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「満足度」などの項目は、学内で高い評価を受けていた。今後も、いい意味で外国語学部らしきが出せるような授業を続けていきたい。

この5年間を振り返ってみると、英米語、スペイン語は年々上昇し、昨年度は高い評価を受けたが、今年度は少し下がった。一方、中国語は平成19年度、20年度と伸び悩んでいたが、今年度は上昇した。

### ④授業に対する学生の満足度

#### 学科目別満足度

学科目別満足度の平均値を見てみると、「外国語学部専門科目」は、「ゼミ・外書講読」や「スポーツ・トレーニング科目」には及ばないものの、大学全体の中では高いポイントを得ている。

また、この5年間のデータを見ても、平成18年度以降は平均値4.0以上を維持している。特に年度によるばらつきがなく、安定した評価を得ている。

このデータを見る限り、外国語学部では、最近5年間、概ね学生の満足いく授業が行われていると考えていいだろう。

## 教員所属別満足度

外国語学部に所属する教員（非常勤講師を含む）の授業に対する学生の満足度はどうであらうか。

学内では比較的満足度が高いと言える。また、平成 18 年度以降は常に平均値 4.0 以上を維持し、安定した数値を示している。

## 学科目別回答の分析

### 設問項目別に見た「外国語学部専門科目」に対する満足度

それぞれの設問に対し、学生は 5 段階（最高値は⑤）で評価を下している。どの項目で満足のいく数値⑤や④が多く付けられているだろうか。

I-1「学生の出席状況」は、⑤が 62.30 %と最も多く、次いで④の 25.25 %となっている。

I-2「ノート・メモ」は、⑤の 37.13 %が最も多く、次いで④の 33.55 %となっている。

I-3「予習・復習」は、③の 31.47 %が最も多く、次いで④の 26.83 %となっている。

I-4「受講した動機」は、③の「単位が必要だから」51.92 %が最も多く、次いで⑤の「講義要項を読んで興味を持ったから」27.69 %となっている。

II-1「狙いの明確さ」は、⑤の 44.25 %が最も多く、次いで④の 36.85 %となっている。

II-2「難易度」は、③のちょうど良いが 54.67 %で最も多く、次いで④のやや難しいが 31.30 %である。

II-3「進度」は、③のちょうど良いが 73.61 %で、④のやや速いが 18.06 %である。

II-4「説明方法」は、④の 38.46 %と⑤の 34.10 %が並んでいる。

II-5「声の大きさ」は、⑤の 50.73 %が最も多く、次いで④の 28.57 %となっている。

II-6「教材等の効果」は、⑤の 40.93 %が最も多く、次いで④の 35.10 %となっている。

II-7「文字・画面」は、⑤の 40.66 %が最も多く、次いで④の 33.14 %となっている。

II-8「教室内の雰囲気」は、⑤の 44.25 %が最も多く、次いで④の 34.62 %となっている。

II-9「理解しやすさ」は、④の 40.05 %が最も多く、次いで⑤の 33.76 %となっている。

II-10「知識・技術が身につく」は、④の 41.71 %が最も多く、次いで⑤の 33.12 %となっている。

II-11「見方・考え方が深まる」は、④の 37.75 %が最も多く、次いで⑤の 29.86 %、③の 25.09 %である。

III「満足度」は、⑤の 40.66 %が最も多く、次いで④の 36.48 %である。

## ⑤学部設問項目

今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の 2 つであった。

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」

「このクラスの学生数は適切ですか」

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では4.13で、非常勤講師の授業では4.02であった。

また、「このクラスの学生数は適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では4.10、非常勤講師の授業では4.02であった。

この2項目は、特に少人数教育を中心とした外国語の授業で、集中して効果的に授業が行われる環境が整備されているかどうかを問うものであるが、学生の反応は、今年度も概ね良好であったと言える。

### (3) 授業改善に向けての今後の課題

以上、「平成22年度授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、外国語学部は、今年度も、全般にわたって比較的安定した高い数値を得られている。

説明方法や声の大きさ、理解のしやすさ、明確さなど、特に外国語教授法の中の要となる部分を、多くの教員たちがよく心得て実践している結果が、この数年間の安定した右上がりの評価につながっていると考えられる。

授業時間内だけでなく、休み時間を利用して研究室に足を運び、教員の指導を受けている学生の姿は、今年度もよく見かけられた。また、留学相談、資格試験対策、外国語弁論大会などの指導も続けている。これも教員に対する学生の評価がこの数年安定している一因であろう。教室内外で懇切な指導を続けることが、学生たちをさらに伸ばすことにつながるはずである。そのための創意工夫は、これからもたえず怠らないようにしなければならないだろう。

今年度も、学生たちの学習能力にかなりばらつきがあり、授業の進め方が以前よりむずかしくなっている、という声は何人も教員から届いている。外国語学部では、3学科とも能力別クラスを一部導入することによって、より学習効果が上がるよう配慮している。しかし、そのためには、教員たちがたえず学生の学習到達度を細かくチェックする必要があり、教員間の連携も重要である。

おそらく将来も、学生たちの学力差は広がる一方であろう。さまざまな学習到達度の学生が混在する授業では、それにどう対応するか、授業の進め方がさらにむずかしくなることが予想される。教員の力量がますます問われることになるだろうが、あわてずに学生の能力を正しく把握し、適切な指導をしていくことが重要だと思われる。

## 4. 工学部

### (1) 授業アンケートの実施状況

今年度も例年と同様、後期科目および通年科目に関して授業改善のための学生アンケートを行った。

工学部での実施科目は、160科目で、昨年の149科目を上回った。アンケート回答数(のべ人数)は、6153人で、昨年より約700名程度多くなった。1年生と3年生の回答数が増えたことによる。授業の履修制限制度やGPAの導入も影響を与えている可能性もあるかと思われる。

学生アンケートを実施した160科目の内訳は、専門(講義)科目が83科目、専門(実験・実習・演習)科目が32科目、教養科目が8科目、外国語科目が29科目、スポーツ・トレーニング科目が2科目、教職・日本語科目が2科目、その他が3科目である。昨年と比べて、外国語科目が3科目増加し、ゼミ・外書講読科目が1科目減少した。専門科目では、講義科目が11科目増加し、実験・実習・演習科目が2科目減少した。実施対象教員数は、専任教員62名と講師(非常勤)38名であるが、専任教員62名と講師(非常勤)38名の全員が実施し、昨年までと同様100%の実施率となった。

実施率が常に高率であることは、授業完全に役立つデータを得る有効な手段として「学生によるアンケート」が定着していることを示している。今後もアンケートの分析結果を具体的に如何に授業改善に結びつけるかが重要である。今年度を含めて5年間、後期開講科目・通年科目を対象に授業アンケートを実施したことから、授業改善結果を検証できるだけの、いわゆる定点観測を行う資料が揃ったと考えることができる。来年度は前期科目について、学生アンケートを実施するので新たな局面の切り口もまた調べることができる。

以下、全体集計結果に基づき、工学部の専門科目に対する授業アンケート結果を分析し、所見を述べる。さらに分野別集計結果に基づいて工学部専門科目に対する授業アンケートを分析し、所見を述べ、実施目的が達成できたかという視点から今後の課題を指摘して総評としたい。

### (2) 全体集計結果に基づく授業アンケート結果の分析

工学部の卒業生の多くが製造業や、他の様々な分野の企業でも技術系の職種に就職する。このため、工学部の専門科目(学科別専門科目と基礎科目)には、実験・実習・演習科目が多い。また、近年、座学による学習を苦手とする学生が多く、実験や演習を通じて、初めて実際に技術を自分のものとする場合が少なくない。かつては、講義科目を対象としたアンケート様式を実験・実習・演習科目にも適用していたが、授業内容の違いから講義用アンケートでは授業改善に行かせるデータ収集が難しいという欠点があった。そこで、現在はそれらの科目用のアンケート様式は新たに作成され、講義科目とは別にすることが可能になった。

以下、昨年までと同様に専門(講義)科目、専門(実験・実習・演習)科目の順に授業アンケート結果を分析する。

## 1) 専門（講義）科目

### ①. 出席状況（設問 I-1）

今年度も含め、この数年、工学部の学生の 70 %以上が、90 %以上授業に出席していると回答しており、おおむね授業への出席状況は良好である。本年度も出席率が上がり、さらに改善された。

### ②. ノート・メモ（設問 I-2）

近年講義に出席に出席しても、ノートやメモを取らない学生がしばしば見受けられる。一昨年をピークとして、2年連続して減少していたが、本年度は若干ではあるが改善傾向が見られる。”筆”をとって学生自身が書くことによって知識の浸透がある。今後も一層の改善が必要である。

この①と②の結果から、学生の授業への取り組みの姿勢がわずかであるが良くなっていることがわかる。今後も学生のこの姿勢を高めることが期待される。

### ③. 予習・復習（設問 I-3）

予習や復習に取り組む学生はまだまだ少ないが、毎年少しずつではあるが、連続して改善され続けている。

### ④. 狙いの明確さ・説明方法・声の大きさ・教材の効果（設問 II-1、II-4、II-5、II-6）

これらのすべての項目において、5年連続して、改善している。

### ⑤. 文字・画面（設問 II-7）

昨年より、文字・画面は、改善されている。

予習・復習や狙いの明確さ・説明方法・声の大きさ・教材の効果はわずかずつであるが、学生アンケートの結果から教員の努力は学生にも認められているようであり、文字・画面については例年に比べて改善効果が増加した。

### ⑥. 教室の雰囲気（設問 II-8）

教室の雰囲気についても昨年度に比べて改善されている。

### ⑦. 難易度・理解のし易さ（設問 II-2、II-9）

アンケート実施が後期科目であるため、難易度は前期より高く、年々、授業が難しいと思う学生がわずかではあるものの増加していたが、本年度は減少した。授業の難易度については、就職する卒業生に要求される専門性を考えるとやむをえない面もあり、入学生の基礎学力が低下している中、今後も学生に分かりやすい授業の実施が望まれる。また、多様な入試システムから工学の基礎である数学や物理などの科目を高校で履修していない学生が増えていることも一因ではないかと思われる。学生支援センターの協力も得て更なる改善を目指すことが望まれる。

一方、理解のしやすさについては、昨年より改善しており、授業は難しいと感じながらも、教員の努力により、理解度も向上していると考えられる。

### ⑧. 進度（設問 II-3）

授業の進行速度については、速すぎると感じる学生が増えていたが、本年度はその傾向がわずかではあるが改善された。平均的には改善傾向にあるが、「遅い」、「速すぎる」と感じる学生の両極端に別れる傾向があるのではないかと思われる。



- ⑨. 知識・技術が身につく（設問 II-1 0）  
この4年間で、改善されてきていることがわかる。工学部の授業は実践力養成を目的としており、その目的が少しずつであるが理解されるようになってきているといえる。
- ⑩. 見方・考え方が深まる（設問 II-1 1）  
この項目も⑨と同様4年間改善されてきている。
- ⑪. 満足度（設問 III）  
満足度もわずかであるが、改善されている。⑨や⑩の知識・技術が身についたり、見方・考え方が深まる、という実感から満足度につながるよう取り組みたいと思う。

アンケートが現在の方法になってから、少しずつではあるが、教員の授業改善の努力により良い方向に向かってきているといえる。本年度は全項目にわたってより良い方向に進んだ。今後、入学する学生の多様性がますます増し、入学時の学力の差が大きくなり、難しい、進行が速いと感じる学生と、易しい、遅いと感じる学生の両極端に分かれ、両者のやる気を引き出すことが重要な指導になるのではないかと思われる。

## 2) 専門（実験・実習・演習）科目

- ①. 出席状況（設問 I-1）  
きわめて出席率は高いが、年々少しずつ減少していた。本年度は若干改善している。
- ②. 事前準備・レポートの作成（設問 I-2、I-3）  
昨年度より改善されており、ほぼ一昨年の状態まで回復した。実験などに事前の予習が必要であるという認識のない学生も多いが、実験の意義・目的を事前に勉強しておくことは実験実習の深い理解に繋がるので、さらに一層の指導が必要である。また、実験や演習の後のレポートは、実習した内容を自分のものにするために必要不可欠であるばかりでなく、エンジニアとしても必要な技術であるため、再提出を課すなどして、きめ細かく指導する必要があると考える。
- ③. 狙いの明確さ・説明方法・声の大きさ（設問 II-1、II-4、II-5）  
これらの項目は、すべて昨年より改善され、一昨年のレベルに達している。説明方法・声の大きさの改善傾向が著しく、教員の改善の結果が反映されているようである。実験や演習などは、狙いの明確さが重要であるので、この改善はより良い効果に繋がるものと思われる、
- ④. 教材の効果・適切性（設問 II-6、II-7）  
例年に比べて改善傾向が見られる。授業の相互参照などを通して異なる観点からのアドバイスを受けての効果とも考えられる。
- ⑤. 理解のしやすさ（設問、II-9）  
昨年より、改善されているが、実験・演習科目であることを考えるともう少し高くする工夫が必要だと考える。
- ⑥. 知識・技術が身につく（設問 II-1 0）  
昨年に比べて、わずかであるが改善効果が高い。
- ⑦. 見方・考え方が深まる（設問 II-1 1）  
昨年同様に、改善効果が上昇している。

⑤～⑦の項目で、学生の基礎学力の低下に教員が対処し、授業が改善されてきたことがわかる。授業参観では、実験・実習を対象とすることが多く、客観的な立場からの意見交換が反映され、徐徐にはあるが、改善されている一因になっていると思われる。実験・演習科目であるので、より一層これらの項目が改善される必要がある。

⑧. 難易度・進度（設問Ⅱ-2、Ⅱ-3）

難しいと感じる学生が増加している。一定の技術や知識、考え方を取得することと難易度や進度の兼ね合いは難しい問題である。安易に内容を易しくするのではなく、学生が興味を持って取り組み、困難さを感じないようなテーマなどを工夫したい。

⑨. 満足度（設問Ⅲ）

一昨年にほぼ並び、満足度が高くなった。

### （3）分野別集計に基づく授業アンケート結果の分析

工学部の組織は、機械システム工学科（以下、機械）、電子システム工学科（以下、電子）、情報工学科（以下、情報）、デザイン学科（以下、デザ）の4学科および基礎教育系列（以下、基礎）から構成されている。

以下、専門（講義）科目、専門（実験・実習・演習）科目の順に、分野別集計結果に基づき、授業アンケート結果を分析する。

#### 1) 専門（講義）科目

①. 出席状況（設問Ⅰ-1）

工学部全体の平均は 4.63 であり、昨年度の 4.58 に比べて若干の改善傾向にある。本年度も機械の選択科目や電子のコア・応用が工学部平均より高い。情報の講義、コア、選択科目の出席状況は例年と大きく変わっていない。デザの講義科目の出席状況は改善されている。基礎の選択科目の出席率が昨年の 4.34 から 4.76 に増えている。必修となっていることが多い実験・実習科目になどに比べると若干ではあるが、選択科目の講義科目への出席率が低い。しかし、他学部などの結果と比較すれば、工学部の全科目区分について出席率は高い。

②. ノート・メモ（設問Ⅰ-2）

工学部全体の平均は 3.63 で、昨年度の 3.62 と同様の値である。一昨年度の平均値は 3.69 であり、これに比べると減少傾向が続いている。機械の3・4年次選択科目の平均値が昨年度の 3.83 から 3.60 に低下した。本年度の情報の選択科目は学部平均値を上回り、改善傾向が見受けられたが、コア科目の平均値は低下した。

③. 予習・復習（設問Ⅰ-3）

工学部全体の平均値は 2.81 と低いが、昨年度の 2.65 より改善され、一昨年度の 2.60 から漸増している。基礎の選択科目が一昨年の平均値 2.21 から昨年度は 2.50 となり、本年度は 3.23 と大幅に改善されている。全体的には、学科・基礎別あるいは科目区分に関わらず、予習・復習に取り組む学生がまだまだ少なく、今後も改善が必要である。

④. 狙いの明確さ（設問Ⅱ-1）

工学部全体の平均は 3.70 であり、昨年度 3.68 と大きな変化はなかった。基礎の選択

科目の 4.14 がもっとも高く、昨年度の 3.55 に比べて高い結果を得ている。最低は情報の講義科目の 3.19 であり、昨年度の 3.34 と比べて低下している。

⑤. 説明方法（設問Ⅱ-4）

工学部全体の平均値は 3.43 であり、昨年度の 3.36 と比べて若干改善されている。情報の講義科目が一昨年は 2.96 であり、昨年は 3.08 と改善されていたが、本年度は 2.88 と以前の評価に低下した。工学部の講義科目全般に説明方法の工夫・改善の余地がある状況に大きな変化はない。

⑥. 声の大きさ（設問Ⅱ-5）

工学部全体の平均は 3.67 であり、昨年度の 3.65 と大きな変化はなかった。デザの講義科目が例年高い評価を受けている。基礎の選択科目は昨年の 3.57 から 4.02 へと改善傾向が見受けられる。また、必修科目の平均値が昨年と比べると改善されている。しかし、声の大きさに関しては全ての区分について問題無いと言える。

⑦. 教材等の効果（設問Ⅱ-6）

工学部全体の平均値は 3.71 であり、昨年度の 3.69 と変化がなかった。基礎の選択科目が昨年の 3.55 から 4.19 へと改善された。デザの講義科目が例年高い評価を受けている傾向は今年も同様である。今後も全般的に教材開発に関しては改善の余地がある。

⑧. 文字・画面（設問Ⅱ-7）

工学部全体の平均は 3.61 であり、昨年度の 3.51 と比べると若干の改善が見られ、一昨年度の 3.49 から少しずつ改善傾向にある。科目区分ごとの差はあまり無い。基礎の専門科目が昨年の 3.46 から 4.14 に大きく改善された。板書方法や液晶プロジェクタ等の活用方法にもう一工夫必要である。

⑨. 教室内の雰囲気（設問Ⅱ-8）

工学部全体の平均は 3.68 であり、昨年度の 3.63 と変化がなかった。デザの講義が 4.10 と高い平均値となっているが、ここでも基礎の選択科目が昨年の 3.72 から 4.11 へと改善された。全体での科目ごとの差は小さい。履修者数が増えたり、マナーを守らない学生が増えているようであり、更に一層の指導が望まれる。

⑩. 難易度（設問Ⅱ-2）

授業の難易度が適切かどうかとの問いに対して、工学部全体の平均は 3.69 であり、昨年度の 3.65 と大きな変化はない。他学部と比べて高い値となっている。今後も授業内容を見直し、改善していく必要がある。

⑪. 理解のしやすさ（設問Ⅱ-9）

工学部全体の平均は 3.29 であり、昨年度の 3.23 と比べると若干の改善が見られるが、他学部と比べると低い値となっている。工学部の専門性を考えれば、やむを得ない面もあるが、高度な内容を分かりやすく説明する努力が必要とされ、如何に授業を理解させるかに改善・工夫の余地は多い。

⑫. 進度（設問Ⅱ-3）

工学部全体の平均は 3.37 であり、昨年度の 3.35 と比べると大きな変化は見られない。科目ごとの差は小さく、学生はどの科目についても授業の進め方が速いと感じている。

⑬. 知識・技術が身につく（設問Ⅱ-10）

工学部全体の平均は 3.37 であり、昨年度の 3.28 と若干の改善が見られる。一昨年度

は 3.25 であり、徐々に改善傾向が続いているが、全学部と比べると低い値となっている。工学部の授業は実践力養成を目的としており、知識・技術の習得を重要視しているが、理解のし難さゆえに知識・技術が身につくとは考えない学生が多いようである。

⑭. 見方・考え方が深まる（設問Ⅱ-1 1）

工学部全体の平均は 3.35 であり、昨年度の 3.26 と比べて若干の改善傾向が見られるが、他学部と比べると低い状況が続いている。「知識・技術が身につく」と同様に習得すべき内容の理解のし難さ故に、見方・考え方を深められたと考えさせるまでには至っていない。

⑮. 満足度（設問Ⅲ）

全学部の満足度の平均値、3.95 と比べると、工学部全体の平均値は 3.49 と低く、昨年度の 3.42 と変わっていない。「受講動機」の解答分布を見ると、単位の取得を一番の理由とする学生数が他学部と比べると多く、また、他学部では「時間帯が空いているから」とする学生が多いのに対して、工学部はその割合が低い。体系だった学問をひとつひとつ地道に学んでいく工学部には新奇さが少なく、講義に興味があり、積極的に履修したいという学生よりも、エンジニアとして必要な知識を修得したいという動機をもった学生が多く、授業への期待感が少ない分、満足度も低いのではないかとと思われる。講義への興味が 8.9 と昨年度の 9.5 に比べると低くなり、一昨年は 9.8 であったので低下傾向が続いている。学生の講義への興味を高めることは学生の学力向上とも深い関係があるので改善が望まれる。

## 2) 専門（実験・実習・演習）科目

①. 出席状況（設問Ⅰ-1）

工学部 3 4 科目の平均値は 4.70 であり、他学部と比べても高い平均値になっている。

②. 事前準備（設問Ⅰ-2）

工学部の平均値は 3.58 であり、昨年度の平均値 3.42 に比べると改善されているが、全般的に低い。機シの平均値は昨年の 2.64 に比べると 2.98 と改善されているが、他学部と比べると低く、事前準備の指導を見直す必要がある。

③. レポート作成（設問Ⅰ-3）

工学部全体の平均は 4.10 であり、昨年度の平均値 4.06 と大きく変わらない。科目区分ごとの差は小さく、レポート作成の指導は適切に行なわれていると考えられる。

④. 理解のしやすさ（設問Ⅱ-9）

工学部全体の平均は 3.72 であり、昨年度の 3.57 と変化がなかった。実験・実習科目は講義科目（平均値 3.29）と比べて理解しやすいと考えているように思われる。

⑤. 授業の狙い・重要なポイント（設問Ⅱ-1）

工学部全体の平均は 4.02 であり、昨年度の 3.94 と比べて若干の改善が見られる。実験・実習科目で具体的に説明するテキストや実際のモノを見て理解する内容が受け入れやすいものと思われる。

⑥. 知識・技術が身につく（設問Ⅱ-1 0）

理解しやすさと関連して、工学部全体の平均は 3.82 と高い。眼前で行われる実験・

実習の経験を通して、学生は知識・技術が身につくと感じているようである。

#### ⑦. 満足度（設問Ⅲ）

工学部全体の平均は 3.88 であり、昨年度の 3.76 に比べて若干の改善が見受けられる。昨年と同様にデザの科目は 4.05 と高い水準となっている。機シの平均値は昨年度の 3.27 と比べると 3.67 と改善された。自然現象の客観的な理解と、自由な発想の下での創造作業に学生が覚える満足度の特徴が現れていると思われる。

#### （４）今後の課題

工学部専門科目に関する授業アンケートの全体集計結果および分野別集計結果に基づいて分析を行なった。設問Ⅰ－３予習・復習から、設問Ⅲ満足度まで、徐々にではあるが、平均値はほとんどの項目で高くなっており、昨年と比べて改善が進んだといえる。授業を受ける学生に関わる設問Ⅰ－１の出席状況は増加傾向にあり、設問Ⅰ－２のノート・メモでは低下傾向に歯止めがかかった。ゆとり教育の下で学んできた学生気質や、入試の多様化の影響で、工学部に入学してくる学生の基礎学力にかなりの幅が見られる。設問Ⅱ－２の難易度や設問Ⅱ－３の進度は昨年度に比べれば改善されたが、授業についていけず、授業が面白くなる学生と、分かり易い、平易な授業を目指した結果、知的好奇心が薄れて講義に物足りなさを感じる両極端の学生に分かれている印象がある。学生の様々な能力を拾い上げる柔軟な教育が必要とされると思われる。

授業アンケートの目的が、「教員の授業改善に役立てること。また、教育の質の向上を図ること」であることを踏まえ、以下の点を今後の課題としたい。

#### ①学生の授業への取り組み姿勢を改善する方策の検討

高校までの学習が不十分な学生が増加している現状に対応するために、工学部学習支援センターを設立し、高大接続教育に一定の効果を上げている。この取り組みを今後も授業改善にも活かしていく必要がある。

教員の授業改善が徐々に進み、学生の授業への取り組みも若干ではあるが改善している。数学や物理を基礎とする工学部の授業にあっては、これらに対する基礎学力が不足している学生が増加しており、授業への取り組み方を再考する必要がある。本年度の基礎系列の専門科目の平均値は全ての項目で昨年度のそれを上回っており、大きな改善効果が見られる。

漠然とした興味で工学部に進んだ学生も多いように思われる。初年次教育や、コース制の下で学ぶ学生が積極的に関わろうとする勉学環境を一層盛り上げることが重要である。

#### ②満足度の改善

工学部の実験・実習科目は例年、「満足度」が比較的高く、「出席状況」、「理解しやすさ」、「知識・技術が身につく」などの項目の全てで講義科目よりも高い評価になっている。机上の知識だけを学んできた学生が新鮮さをもって実際のモノに触れる実験・実習科目を習得しているのではないかと思われる。工学部の専門講義科目の満足度は改善されてきたとは言えるが、他学部と比べてまだ、その満足度は低く、今後も引き続いて改善を目指す必要がある。

実験・実習に興味を覚える学生に対して、その原理や理屈を分かりやすく説明することにより一段と高いレベルに上げることが期待される。各授業の目的をより周知させ、コース制の下で展開される将来の進路と授業科目の関連などを説明することが重要である。このような努力が「満足度」の改善に繋がり、「理解しやすい授業」へとも繋がると思われる。

## 5. 国際学部

### (1) 実施の状況

本年度もこれまで同様に、専任教員と非常勤講師にかかわらず学部開設のすべての科目を対象に「授業改善のための学生アンケート」を実施した。できるだけ多くの回数の授業を行った後で学生の反応を把握するために、実施期間は予備日も利用し、平成22年11月8日（月）から12月20日（月）に設定した。

アンケートの実施科目総数は243科目であった。アンケート結果は、英語群（75科目、6分類）、地域言語群（82科目、6分類）、基礎科目群（23科目、4分類）、専門共通科目（14科目、4分類）、専門コース科目（44科目、14分類）の5群34分類の分野別データとして集計された。さらに、専門コースの所属別で集計を行っている。また、本年度から農業総合コースが新設されたので、それに伴う所要の変更を加えた。

アンケート回答数（延べ人数）は、1年生2,876人、2年生2,751人、3年生1,267人、4年生361人、無回答213人の計7,468人であった。前年度に比べて23人の増加で、ほぼ同じ水準であった。

### (2) 学科目別の評価

#### ① 全体の傾向

専門科目（66科目）について過去4年間における各項目の平均値を並べた（左から平成18年度→19年度→20年度→21年度→22年度）。前年度よりも向上したものに△印を、低下したものに▼印を、変化がなかったものに□印を付けた。なお、「2-2. 授業難易度」と「2-3. 授業進度」の2項目は数値が3の回答が適切であると判断される項目であるため、3に近づく方向を「向上」とした。なお、参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

	H18	H19	H20	H21	H22	H22 全体
1-1. 授業への出席状況	4.26 →▼	4.18 →△	4.33 →▼	4.31 →▼	4.28	4.46
1-2. ノート・メモをとる	3.64 →△	3.72 →△	3.74 →△	3.81 →▼	3.74	3.94
1-3. 予習・復習	2.66 →△	2.75 →▼	2.66 →△	2.68 →△	2.89	3.03
2-1. 狙いの明確さ	4.11 →▼	4.04 →▼	3.94 →▼	3.92 →△	3.99	4.06
2-2. 授業難易度（3が最善）	3.47 →△	3.45 →▼	3.46 →△	3.44 →▼	3.45	3.45
2-3. 授業進度（3が最善）	3.18 →△	3.17 →▼	3.21 →△	3.19 →▼	3.21	3.23
2-4. 説明のわかりやすさ	3.80 →▼	3.78 →▼	3.67 →△	3.71 →△	3.76	3.86
2-5. 聞き取りやすさ	4.09 →▼	4.01 →▼	3.92 →△	3.93 →□	3.93	4.10
2-6. 教材の効果	3.97 →△	3.98 →▼	3.81 →△	3.84 →△	3.99	3.99
2-7. 読み取りやすさ	3.89 →▼	3.82 →▼	3.70 →△	3.79 →△	3.96	3.96
2-8. 教室の雰囲気	4.14 →▼	4.10 →▼	4.04 →□	4.04 →△	4.08	4.13
2-9. 理解度	3.76 →□	3.76 →▼	3.63 →△	3.66 →△	3.75	3.82

2-10. 知識・技術の習得	3.81 → □ 3.81 → ▼ 3.67 → △ 3.68 → △ 3.79	3.83
2-11. 見方・考え方の深まり	3.78 → △ 3.83 → ▼ 3.66 → △ 3.68 → △ 3.81	3.75
3. 満足度	3.92 → ▼ 3.89 → ▼ 3.77 → △ 3.79 → △ 3.87	3.95

専門科目の平均値は全体として高まる傾向にある。15 項目のうち、10 項目について前年度より平均値が向上した。前年度よりも低下したのは 4 項目だけであった。1 項目については前年度と同じであった。特に、「3. 満足度」について平成 18 年度から下降傾向が続いたが、本年度は大幅に改善した。しかし、大学全体の平均値との比較では、これを上回ったのは 15 項目のうち 2 項目にとどまっている。「3. 満足度」でも若干低く、さらに改善の余地があることを示している。

## ② 学生の受講姿勢

1-1、1-2、1-3 の 3 項目からは学生が授業に臨む様子がうかがえる。「1-1. 授業への出席状況」の平均値は 4.0 を超え、全体としては「80 %以上の授業に出席している」ことを示す。しかし、昨年度に続き、本年度もやや低下している。また、「1-2. ノート・メモをとる」の平均値は若干低下した反面、「1-3. 予習・復習」については向上した。

## ③ 授業の設計と運営

2-1、2-2、2-3 の 3 項目は授業の設計に関するものである。「2-1. 狙いの明確さ」の平均値は平成 18 年度をピークに低下傾向が続いていたが、本年度はかなり向上した。その一方で、「2-2. 授業難易度」と「2-3. 授業進度」については低下しているが、この 2 項目は大学全体の平均値と同じか、これを上回っており、学生の学力に見合った授業が行われていることを表す。

次に、授業の技術と運営に関わる 2-4 から 2-8 までの 5 項目のうち、「2-5. 聞き取りやすさ」の平均値だけは前年度から変化がなかったが、それ以外の 4 項目すべてで平均値が上昇している。「2-8. 雰囲気」については高まる傾向にあるものの、大学全体の平均値より劣っており、授業中の私語など問題が残っていることを示す。

## ④ 学習の成果

2-9、2-10、2-11 は学習の成果についての項目である。この 3 項目とも平均値で、2 年連続で向上した。特に、授業の総合的な評価となる「3. 満足度」については、平成 18 年度から低下傾向が続いたが、この傾向が改善に転じている。これは授業の設計と運営の改善にむけた学部全体の取組みによる成果といえる。

## (3) 学部設問項目の評価

学部設問項目として、本年度もこれまで同様に、授業の開始時間・終了時間、出欠席管理、授業中の私語の 3 つを設けた。学部設問項目について、過去 3 年間における各項目の平均値を並べた（左から平成 19 年度→ 20 年度→ 21 年度→ 22 年度）。



	H19	H20	H21	H22
6-1. 授業の開始・終了時間				
専任教員	4.41	→△ 4.46	→▼ 4.45	→△ 4.47
非常勤講師	4.38	→△ 4.43	→▼ 4.41	→▼ 4.40
6-2. 出欠席管理				
専任教員	4.48	→△ 4.50	→▼ 4.43	→△ 4.49
非常勤講師	4.48	→△ 4.52	→▼ 4.48	→□ 4.48
6-3. 授業中の私語				
専任教員	3.99	→△ 4.08	→▼ 4.06	→▼ 4.03
非常勤講師	3.78	→▼ 3.73	→△ 3.76	→□ 3.76

授業の開始・終了時間と出欠席管理については、若干の変化はあるが、継続的に高い平均値を維持しており、これらが定着していることを表している。しかし、授業中の私語については、専任教員の場合は低下傾向が続いており、非常勤講師の場合には平均値が低いことから、問題が改善していないことが分かる。

#### (4) 教員所属別の評価

専任教員の科目（89 科目）と非常勤講師の科目（154 科目）について、各項目について前年度と本年度の平均値を並べた。

	専任教員	非常勤講師
1-1. 学生の出席状況	(4.38 →△ 4.42	／ 4.35 →▼ 4.32)
1-2. ノート・メモ	(3.99 →▼ 3.98	／ 4.03 →△ 4.04)
1-3. 予習・復習	(3.11 →△ 3.21	／ 3.24 →△ 3.28)
2-1. 狙いの明確さ	(4.13 →△ 4.14	／ 4.09 →△ 4.12)
2-2. 授業難易度 (3 が最善)	(3.41 →▼ 3.42	／ 3.43 →▼ 3.45)
2-3. 授業進度 (3 が最善)	(3.20 →▼ 3.23	／ 3.23 →▼ 3.25)
2-4. 説明のわかりやすさ	(3.89 →△ 3.90	／ 3.92 →△ 3.93)
2-5. 聞き取りやすさ	(4.11 →▼ 4.09	／ 4.16 →▼ 4.12)
2-6. 教材の効果	(4.00 →△ 4.08	／ 4.04 →△ 4.05)
2-7. 読み取りやすさ	(4.00 →△ 4.08	／ 4.02 →△ 4.05)
2-8. 教室の雰囲気	(4.19 →▼ 4.18	／ 4.12 →△ 4.15)
2-9. 理解度	(3.88 →△ 3.91	／ 3.92 →△ 3.95)
2-10. 知識・技術の習得	(3.86 →△ 3.92	／ 3.91 →△ 3.94)
2-11. 見方・考え方の深まり	(3.82 →△ 3.85	／ 3.80 →△ 3.87)
3. 満足度	(3.95 →△ 3.98	／ 4.02 →△ 4.05)

専任教員と非常勤講師とも、「3. 満足度」を含むほとんどの項目で前年度よりも平均値が上昇した。しかし、専任教員と非常勤講師の比較においては、15 項目のうち、専任教員が非常勤講師よりも平均値で高いのは、「1-1. 学生の出席状況」「2-1. 狙いの明確さ」「2-2.

授業難易度」「2-3. 授業進度」「2-6. 教材の効果」「2-7. 読み取りやすさ」「2-8. 教室の雰囲気」の7項目にとどまっております、非常勤講師の優位が際立っている。この傾向は「3. 満足度」の差に顕著に表れている。

## (5) 分野別の評価

### ① 相互の比較

英語群、地域言語群、基礎科目群、専門共通科目の4群について、相互に比較した。最も平均値が高いものに◎印を付けた。これに次ぐものに○印を、続いて□印をつけ、最も平均値が低いものが●印である。平均値において、地域言語群が突出して高く、これに英語群が次ぐ。その後に基礎科目群が続き、専門共通科目群が最も低い。

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目群
1-1. 学生の出席状況	□ 4.43	● 4.33	◎ 4.47	○ 4.44
1-2. ノート・メモ	○ 3.94	◎ 4.34	● 3.80	□ 3.88
1-3. 予習・復習	◎ 3.43	○ 3.42	□ 2.96	● 2.93
2-1. 狙いの明確さ	□ 4.12	◎ 4.21	○ 4.18	● 3.98
2-2. 授業難易度	◎ 3.37	○ 3.43	● 3.62	□ 3.47
2-3. 授業進度	◎ 3.23	○ 3.27	● 3.32	□ 3.28
2-4. 説明のわかりやすさ	○ 3.89	◎ 4.04	□ 3.85	● 3.74
2-5. 聞き取りやすさ	□ 4.14	○ 4.17	◎ 4.20	● 3.94
2-6. 教材の効果	□ 4.02	○ 4.12	◎ 4.14	● 3.93
2-7. 読み取りやすさ	□ 4.05	○ 4.08	◎ 4.19	● 3.82
2-8. 教室の雰囲気	□ 4.12	○ 4.23	◎ 4.26	● 3.99
2-9. 理解度	○ 3.94	◎ 4.06	□ 3.85	● 3.71
2-10. 知識・技術の習得	□ 3.88	◎ 4.07	○ 3.89	● 3.73
2-11. 考え方の深まり	○ 3.76	◎ 3.99	● 3.73	□ 3.74
3. 満足度	○ 4.00	◎ 4.18	□ 3.91	● 3.76

### ② 英語群

「3. 満足度」の平均値が、4.00 を超えており、その水準が高い。大学全体の外国語科目の平均値との比較では、「1-3. 予習・復習」「2-1. 狙いの明確さ」「2-2. 授業難易度」「2-7. 読み取りやすさ」「2-9. 理解度」の5項目で上回っただけであり、全体としてやや劣っている。また、15項目のうち、12項目で同じ外国語科目である地域言語群よりも低い水準にある。

### ③ 地域言語群

大学全体の外国語科目の平均値との比較では、「1-1. 学生の出席状況」「2-2. 授業難易度」「2-3. 授業進度」を除いて、12項目において上回っており、全体として極めて評価が高い。特に、「3. 満足度」は4.18と突出して高い。地域言語群は学部の特色の一つでもあるが、その授業についても評価が最も高いといえる。

#### ④ 基礎科目群

授業の設計と運営に関する項目で平均値が高い一方で、「2-2. 授業難易度」「2-3. 授業進度」の2項目が極めて低いという特徴がある。大学全体の教養科目の平均値との比較では、「1-1. 学生の出席状況」「1-2. ノート・メモ」「1-3. 予習・復習」「2-1. 狙いの明確さ」「2-4. 説明のわかりやすさ」「2-5. 聞き取りやすさ」「2-6. 教材の効果」「2-7. 読み取りやすさ」「2-8. 教室の雰囲気」「2-9. 理解度」「3. 満足度」とほとんどの項目で上回っている。これらの結果は、基礎科目群の授業が充実していることを表している。

#### ⑤ 専門共通科目群

専門共通科目群の平均値はほとんどの項目で他の3群よりも劣っている。「2-2. 授業難易度」「2-3. 授業進度」の2項目については適切な水準に近く、授業の内容は学生の学力に見合ったものとなっている。それにしても、「3. 満足度」の平均値でもかなり低く、この状態が定着したものか今後注視する必要がある。

#### ⑥ 専門コース科目

学生の所属別を含めた科目区分別分類を行った専門コース科目群の結果は、次の3点で利用されることが期待される。①科目担当者は、特性の異なる科目をも含む「全体平均」ではなく、共通の要素を持つ科目の平均値を比較とすることにより、より正確に自身の授業の改善の方向を見定めることができる。②共通の要素を持つ科目の担当者は、自身の科目と他を比較することにより、科目としての課題を見つけ出し、その科目担当の他の教員と協力しながら全体の水準向上を考慮できる。③所属の別がある程度は学生の関心の方向の別に関わっていると仮定すると、その関心の違いが同じ科目への評価を変えていることが予想される。その差を把握し、満足度を高める方策の一助とすることができる。

専門コース科目については、履修学年別ではなく、科目の配当されているコースと学生の所属の2点を考慮して集計した。農業総合コースを除いた5つのコースの平均値を比較して、最も高いものに◎印を付けた。これに続いて○印、□印、■印の順とし、最も平均値が低いものが●印である。但し、国際農業コースは本年度新設されたばかりであり、該当するものがなかった。

	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光
1-1. 学生の出席状況	□ 4.22	○ 4.25	■ 4.15	◎ 4.35	● 4.07
1-2. ノート・メモ	□ 3.68	○ 3.76	● 3.48	■ 3.59	◎ 4.55
1-3. 予習・復習	◎ 2.96	○ 2.90	■ 2.83	● 2.80	□ 2.88
2-1. 狙いの明確さ	■ 4.01	□ 4.03	○ 4.07	● 3.79	◎ 4.23
2-2. 授業難易度	■ 3.42	● 3.54	○ 3.41	○ 3.41	◎ 3.34
2-3. 授業進度	■ 3.18	○ 3.17	○ 3.17	● 3.26	◎ 3.14
2-4. 説明のわかりやすさ	■ 3.71	○ 3.83	□ 3.78	● 3.64	◎ 4.06
2-5. 聞き取りやすさ	■ 3.85	○ 3.98	□ 3.89	● 3.81	◎ 4.15
2-6. 教材の効果	○ 4.08	□ 4.02	■ 3.96	● 3.91	◎ 4.20
2-7. 読み取りやすさ	◎ 4.06	○ 4.05	■ 3.97	● 3.95	□ 4.01
2-8. 教室の雰囲気	■ 3.94	○ 4.17	□ 4.15	● 3.93	◎ 4.39

2-9. 理解度	□ 3.76	■ 3.72	○ 3.81	● 3.68	◎ 4.15
2-10. 知識・技術の習得	□ 3.79	○ 3.81	■ 3.78	● 3.70	◎ 4.13
2-11. 考え方の深まり	■ 3.82	○ 3.86	□ 3.84	● 3.65	◎ 4.10
3. 満足度	■ 3.83	○ 3.90	○ 3.90	● 3.74	◎ 4.14

専門コース科目相互の平均値の比較では、全体として国際観光コースが最も優れている。15 項目のうち、12 項目において国際観光コースで最も平均値が高い。これに国際経済コース、国際政治コース、国際協力コースの順で続いている。国際文化コースが 15 項目のうち、12 項目で平均値が最も低い。

この傾向は、「3. 満足度」の平均値にも表れている。国際観光コースは 4.14 と極めて高い水準にある。これに国際経済コースと国際政治コースが続いているが、その差は大きい。国際文化コースが 3.74 と低い水準にあることは懸念される点である。

## (6) 評価と課題

本年度の授業アンケートの結果は総じて前年度よりも向上した。平成 18 年度から低下傾向が続いていたが、この傾向も改善に転じた。しかし、大学全体の平均値との比較では、若干劣る部分があり、改善の余地がある。

専門科目では、授業の狙いは明確であり、学生の学力に見合った授業が行われており、満足度も高まった。しかし、教室内の雰囲気や大学全体の平均値より低く、授業中の私語など問題が残っていることを示す。

学部設問項目の結果からも、授業の開始・終了時間と出欠席管理が定着しているが、授業中の私語については問題が改善していないことが明らかである。また、専任教員と非常勤講師の比較においては、多くの項目で非常勤講師の優位が際立っているという傾向があった。

分野相互における平均値の比較では、地域言語群が突出して高く、これに英語群が次ぐ。その後に基礎科目群が続く、専門共通科目群が最も低い。特に、地域言語群は学部の特色の一つでもあるが、その授業の満足度は高い。全体として、基礎科目群の授業も充実しているといえる。その一方で、専門共通科目群で満足度を含めて全体として平均値が低い水準にとどまっており、この状態が定着したものか今後注視する必要がある。

専門コース科目相互の平均値の比較では、全体として国際観光コースが最も優れていた。これに国際経済コース、国際政治コース、国際協力コースの順で続いている。国際文化コースで多くの項目の平均値が最も低いことは懸念される。

授業アンケートの結果から明らかとなった問題を真摯に受け止めて、その解決のために学部全体で取り組まなければならない。また、こうした取組みを継続することが肝要である。さらに、授業アンケートと並行して、成績評価や授業見学など、さまざまな活動が全学又は学部独自に実施されており、これらが授業アンケートと一体となって推進され、より多角的な視点から授業を改善する機会をつくりだしたい。

## 6. 教養教育科目

### (1) 講義等科目

本節で対象とする教養教育科目は、1～10群および12群の講義科目である。本節では、これらを便宜的に教養科目と略記する。教養科目で今年度アンケートを実施したのは102科目であった(昨年度は102科目実施)。ここでは、与えられたデータに基づいて教養科目の結果の概要を述べ、幾つかコメントをしておきたい。

#### ① 教養科目全体の特徴——5学部の専門科目との比較より

まず、教養科目全体(p.11)の特徴から見ていこう。その際、同じ講義形式の科目でデータ数が比較的大きい商・政経・外国語・工・国際5学部の専門科目の結果(p.11)と比べながら見ることにする。

学生の受講姿勢 “出席状況”は、外国語学部と同値の3位である。一方、〈ノート・メモ〉も、商学部、外国語学部に次、政経学部、国際学部と同値の3位、また“予習・復習”は5位であった。

授業の内容や進め方 この11項目に関しては、2位のものが5項目、3位のもの4項目であった。一位の項目はないものの、11項目中9項目で2位または3位であり、相対的に授業の内容や進め方については学生の支持を得ていたと考えられる。3位であったのは、〈教材等の効果〉、〈文字・画面〉、〈教室内の雰囲気〉、〈見方・考え方が深まる〉の項目であった。〈教材等の効果〉、〈文字・画面〉、〈教室内の雰囲気〉については、教養科目に比較的受講者数の多い科目が多く、大教室での講義が中心であることが関係していると思われる。この講義規模の問題については最後までもう一度触れる。

満足度 全体の平均値をやや下回ったが、「順位」は外国語学部に次いで2位であった。

#### ② 教養科目の各群の傾向①(P.51)

##### I.今年度の結果

##### 第1～9群について

10群(日本語の表現)と12群(情報技術)の科目は、授業の規模や形態・必修か否かなどの点で1～9群の科目と異なっているので後に回し、まず1～9群から述べたい。これら各群の名称は次のようになっている。

A系列：1群(人間の探求)・2群(文学・芸術)・3群(身体と運動)

B系列：4群(歴史・民族)・5群(社会のしくみ)・6群(現代社会の変容)

C系列：7群(自然の認識)・8群(技術の発展)・9群(環境と人間)

9つの群は、カリキュラム上、上記のように、A系列(人間)・B系列(社会)・C系列(自然と環境)の3系列にまとめられている。各項目の平均値は、全体として、Aが高く、Bがこれに次ぎ、Cが最も低い傾向が見られた。ただ各系列とも群によってかなりの差が認められるので、ここでは群単位で見ることにする。

### 学生の受講姿勢や受講動機

〈出席状況〉の項目はどの群も高く4点を超えている。

〈ノート・メモ〉の項目は、1群が極めて高く、次いで7・5・4群の順番で高い。一方、8・9群は低かった。

〈予習・復習〉の項目は全群とも低かった。この項目は、全群で大学全体の平均を下回っており、教養教育全体でも全学の平均を0.5ポイント以上下回っていた。予習・復習について、教養教育は大教室での講義が多く、仮に予習を課したとしてもその確認が難しく、その結果予習・復習を課していないとも考えられる。また教養科目という性質上、入門的な講座も多く、特に予習・復習を課していないとも考えられる。ただ、ブラック・ボードを利用して予習・復習を受講生に勧める講座もあり、そうした試みを推進させて、学生に十全な予習・復習を行わせるという方法もある

授業の内容や進め方 全項目を概観すると、1・2・4・5群の平均点が比較的高い一方、7・8・9群の平均点は比較的低かった。特に1・2・5・6群は全般的に平均点が高く、1群は4つの項目で教養教育の中で1位、2群と5群は3つの項目で1位、6群は2つの項目で1位であった。対して、7・8・9群の数字は全般的に低く、多くの項目で教養教育全体の平均値を下回っていた。

〈声の大きさ〉〈教材等の効果〉〈文字・画面〉の項目では、群ごとの平均値に大きな差が見られなかったが、他方〈説明方法〉〈理解しやすさ〉〈知識・技術が身につく〉〈見方・考え方が深まる〉といった項目では、1・2・3・4・5・6群では大きな差が見られないが、7・8・9群では前記の群に比べ平均で0.3～0.4ポイントあまり低かった。これは、5学部中4学部が文系の学部であり、7・8・9群の課目が自然科学の、いわゆる理系の課目であり、そうした課目を高校時代熱心に勉強しなかった可能性が高く、そうしたことも影響があると推測される。

また〈教室の雰囲気〉は、どの群もあまり差はないが3群だけ教養全体の平均よりも0.6ポイントあまり低く、その低さが目についた。

満足度 上記の結果を反映して、満足度でも5群は、3.83と最も高く、次に1群が3.79、2群と6群が3.72で続いた。対して7・8・9群の満足度が低かった。

### 第10・12群について

以上は1～9群の特徴だったが、最後に、第10群（日本語の表現）と第12群（情報技術）に触れておく。まず、受講姿勢では、“出席状況”は両群ともに高かった。しかし、〈ノート・メモ〉の項目では12群が教養科目全体の平均値を1ポイント以上下回る低いものであった。“予習・復習”では、10群で教養科目全体の平均値を上回った反面、12群は全体の平均値と同じであった。

授業の内容や進め方の項目では、第10群の平均点の高さが際だっており、各項目とも1～9群の平均値を大きく超え、全項目で4点台であった。満足度も4.33点と全学の科目と比較すると〈ゼミ・外書講読〉に次いで高い数値を出していた。第12群も、10群

ほどではないが、高い点数を出しており、9項目中5つの項目で4点台であった。また他の項目もいずれも4点に近い高い値を記録していたが、〈見方・考え方が深まる〉が1～9群と比べても低く、全体の平均値を下回った。

## II. 昨年度の結果との比較

昨年、平成21年度の結果と比べると、今年平成22年度は、〈出席〉〈予習・復習〉〈教材等の効果〉〈文字・画面〉〈教室内の雰囲気〉〈見方・考え方が深まる〉〈難易度〉〈授業の進度〉の項目で昨年度の数値を上回った。昨を下回ったのは、〈ノート・メモ〉〈狙いの明確さ〉〈説明方法〉、〈声の大きさ〉〈理解しやすさ〉、〈知識・技術が身につく〉、〈満足度〉の項目であった。しかし、いずれも、大幅に数値が悪化したわけではない。また、昨年と比べると平均値が下がった項目でも、一昨年の平成20年度や19年度と比べると高い数値を出しており、高止まりの状態にあるとも言える。

### ③ 若干のコメント

#### I. 教養科目全体の特徴に関して

教養科目の満足度について、5学部と比較すると昨年と同様に外国語学部につき第2位であった(P.11の数値)。外国語学部との差は平均値にして0.22の開きで、昨年の差が0.22であったので、その差は変わっていない。この差は、授業規模の大きさが大きく作用しているものと考えられる。このことは、人数制限をして最大でも一クラス受講者数80名以下に抑えている10群の講義の平均値が高いことから類推可能である。したがって学生の講義に対する満足度を上げる効果的な手段は、授業規模の縮小が考えられる。新入生が大学に入って最初に学ぶ教養教育を質的に充実させることは、大学の今後の死命を制する最重要の課題といえる。それだけに、大学執行部には、講義棟建設(八王子キャンパス)を含んだ教養教育の授業規模縮小計画を速やかに策定するよう、強く望んでおきたい。

#### II. 教養科目の各群の特徴及びアンケートに関して

他の群と比べ、第10群の受講姿勢を含め各項目の平均点が極めて高いのは、この群の授業が他の講義科目と比べて小規模であること、また学生の提出物に対して添削等を加えて返却するなど、教員と受講生の間での双方向的やりとりがほぼ毎行われていることを反映したものであろう。大学での教育は往々にして教師から学生への一方通交の教育になりがちである。ブラック・ボードが導入され、これを積極的に活用することで教師と学生との間の双方向的やりとりが活発化すれば、教育効果だけでなく、学生の拓殖大学への帰属意識の向上にもつながるものと考えられる。ただ、こうしたシステムの充実もさることながら、1講座あたりの受講生数を減らすことは、きめ細かな教育を行うためには不可欠なことだということを申し添えておく。

学生の満足度において、教養教育全体では昨年度の数値を若干下回った。しかし、最初に述べたように五学部との比較においては外国語学部に次いで満足度は高い。これは、教養教育に携わる教員が学生の興味・関心を引く講義を高いレベルで実践している結果だと思われる。

昨年も指摘したことだが、アンケートを実施する時期が後期ということで結果的に前期

に開講される講座についてはアンケートが実施されないということにもなっている。前期しか開講されない講座を担当している教員はその講座について学生がどのような評価を下しているか知る機会がないということになる。こうしたことも回避するためには、前期・後期の2回アンケートを実施する必要がある。それが経費的にあるいはシステム上困難であるのなら、前期・後期隔年でアンケートを実施する。あるいはアンケートを実施する課目を前期・後期ふりわけ全体の実施数を現在と同数程度にして実施するような方法が考えられる。いずれにしろ、アンケートの実施時期や方法についても再考する余地があると思われる。

またアンケートが実施されるのは、全ての講義が終わる以前であり、また途中で受講を何らかの理由で断念した学生からはアンケートをとることが出来ない。教員にとっては、講義全体が終わったところでの学生の評価が聞けないということ、さらにどのような学生が講義への出席を断念するのかが判らないというような問題点もあるという指摘が教員から提出されていることをここに記しておく。

授業の内容や進め方のところで、7・8・9群の数値が低いことについて言及した際に、その原因を高校時代に理科系の課目をあまり熱心に勉強しなかったことが原因ではないかと指摘した。これは、教員から実際に聞いたことであるが、本学の学生には天動説と地動説の区別が出来ない学生がいるということである。もちろんこうした学生は一部の者であり、またその学生があらゆる面で基礎知識が欠落したとはいえないかもしれないが、大学生としての基礎知識に欠けた学生がいるという声は、多くの教員が口にすることであり、筆者自身も毎日の講義の際に実感しているところである。したがってこうした事態は、7・8・9群だけの問題ではないのである。

講義の〈理解しやすさ〉あるいは〈説明方法〉〈知識・技術が身につく〉〈見方・考え方が深まる〉という項目は、講義を行う教員の講義方法や内容に左右されるだけでなく、学生の基礎学力の問題も大きく影響を与えているものとも思われる。昨今マスコミ等でも話題にされていることでもあるが、基礎学力の充実を図る、いわゆるリメディアル課目の設置の必要性はこうした結果からも推測可能であり、本学においても早急に対策を講じる必要がある。

昨年度の報告においても指摘があった受講者数の問題について触れておく。今年度は、多くのアンケート項目において受講者数の増加に反比例して、数値が下がっている（P.14）。ただ満足度においては、受講者数201～300人が最低で3.66、次いで101～200人で3.75、以下301人以上で3.81、100人以下で3.99となっている。これは昨年度とは異なる結果である。昨年に較べると101～200人の講義が昨年度3.64→今年度3.75に、また300人以上で3.69→3.81と上昇したのに対して、201～300人の講義で3.78→3.66と低下した。300人以上の規模の講座の満足度が昨年度と比して向上したのは、当該講座を担当された教員の努力の賜物といえようが、注目すべきはこうしたいわば逆転現象が起きたことではない。100人以下の講座の満足度の平均値とそれ以上の受講生のいる講座との満足度の差である。今年度100人以下の講座の満足度が3.99であったのに対して、最も満足度が高い300人以上の講座でも満足度3.81で0.19の差があるということだ。300人を超える受講生のいる講座でも高い満足度が取れても、結局は少人数の方が学生の満足度は高いということである。それは、200人を超える講



座で高い満足を得られた学生がより少ない受講者数で講義に出られたらさらに大きな満足を感じつつ講義に出られたらと推測させる。受講者数の問題は、学生から、より高い満足を得られる講義に出る機会を奪っている可能性があるではないかということを指摘して、今回の報告を終えることとする。

## (2) 外国語科目

### 1. アンケートの実施状況

本年度の「授業改善の学生アンケート」は11月8日(月)～12月10日(金)に実施され、実施学部は、商・政経・外国語・工学部・国際学部である。ここで取り上げる「外国語科目」とは、商・政経・外国語学部における英語、アラビア語、ブラジル・ポルトガル語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、インドネシア・マレーシア語、ロシア語、スペイン語、日本語を集計対象とする。

### 2. 項目別における集計結果(設問項目別に昨年度と比較)

#### I-1 「学生の出席状況」

昨年の全体平均値が 4.47 に対し、4.46 の数値を示している。0.01 の減少がみられる。語学においても、昨年の数値の 4.52 に対し、0.01 の減少がみられた。全体平均値と外国語科目を比較した場合、外国語科目における出席状況の数値ははるかに高いといえる。これは、教員が毎時出席を取っていることがこの高数値を示していると思われる。また、大半の語学の授業において実施される復習テスト等の影響も考えられる。

#### I-2 「ノート・メモ」

全体の平均値が、昨年の 3.93 から今年は 0.01 上回って 3.94 となった。外国語科目においても、4.08 から 4.10 に 0.02 上回った。4.0 を上回る数値は 9 区分のうち、外国語科目と教職・社教・日語科目のみとなった。

#### I-3 「予習・復習」

3.03 で、昨年の全体平均値の 2.96 と比較した場合、0.07 上回った。外国語科目においても、昨年度と比較した場合 3.10 から 3.19 に 0.09 上回っている。かなりの進歩がみられる。

#### II-1 「狙いの明確さ」

昨年の全体平均値の 4.06 と同数値である。一方、外国語科目においては、昨年度と比較した場合、4.08 から 4.09 に 0.01 上回った。

#### II-4 「説明方法」

全体平均値は 3.86 で、昨年の 3.85 より 0.01 上回った。外国語科目においては、3.92 から 3.94 に上回った。教員間において定期的に意思疎通のできる機会などを設けることや、授業参観実施などの効果が数値から伺える。

#### II-5 「声の大きさ」

昨年の全体平均値の 4.10 と同数値となった。外国語科目においては、4.15 から 4.18 へと 0.03 上回った。声の大きさに関しては、外国語の指導において必要不可欠な要素である。

#### II-6 「教材などの効果」

全体平均値は 3.99 となり、昨年の 3.96 より 0.03 上回ることができた。外国語科目では、3.96 から 4.02 へと 0.06 上回った。

## II-7 「文字・画面」

3.96 で、昨年の全体平均値の 3.91 より、0.05 上回った。外国語科目においては、3.96 から 4.03 へと 0.07 の上昇。

## II-8 「教室内の雰囲気」

4.13 で、昨年の全体平均値の 4.12 よりも 0.01 の上昇。外国語科目においても、4.17 から、4.18 へと 0.01 の上昇を見せた。2 年連続の上昇を見せた。

## II-9 「理解しやすさ」

昨年の全体平均値は 3.79 であったが、今年は 3.82 と 0.03 上回った。外国語科目においては、3.83 から 3.90 へと 0.07 上回った。

## II-10 「知識・技術が身につく」

3.83 で、昨年の全体の平均値の 3.80 よりも 0.03 上回った。外国語科目では、昨年は全体の平均値よりもかなり下回ったにもかかわらず、今年は 3.78 から 3.86 へと 0.08 の急上昇を見せた。昨年度の課題を克服できたといえる。

## II-11 「見方・考え方が深まる」

3.75 で、昨年の全体の平均値の 3.71 より 0.04 上回った。また、外国語科目においては、3.64 から 3.70 に 0.06 上回った。この項目においては、全体の平均値よりも外国語科目の方が低い。今後何らかの対策を考える必要がある。

## III 「満足度」

3.95 で全体の平均値は昨年と同値であった。一方、外国語科目は昨年の課題項目とされていたが、今年は 4.0 を上回る 4.02 という数値を得ることができた。これは、語学教員が定期的に学生に授業についての意識調査を実施したことに効果があったと考える。

## 3. 本年度の集計結果の評価について

- ①. 外国語学部において、本年度と昨年度を比較した場合、「学生の出席状況」は昨年度よりも 0.01 下回ったが、4.46 という高数値であるので特に心配する必要はない。
- ②. 「ノート・メモ」、「予習・復習」、「狙いの明確さ」、「説明方法」、「声の大きさ」、「教室内の雰囲気」、「文字・画面」、「理解しやすさ」、「満足度」の項目において昨年よりも数値が上回った。
- ③. 平成 20 年度と昨年を比較した場合、「文字・画面」、「理解しやすさ」、「説明方法」、「満足度」において数値が下回っていたが、今年度は下回っていたすべての項目の数値を上昇させることができた。
- ④. 2 年連続数値が下回った「満足度」において、今年度は数値を上昇させることができた。

## 4. 課題

- ①. 商・政経学部の第二外国語においては、共通試験の成績優秀者及び語学技能検定試験合格者に対する表彰制度を設けている。この取り組みは学習者の学習意欲向上に貢献したといえよう。しかし、まだ全クラスの学生に情報が周知できていないのが現状である。

- ②. 「個人研修奨学金」、「短期・長期留学」などの本学のプログラムについての情報提供が若干名の教員によってのみ行われているのが現状である。語学の担当教員が事前に学生達に周知することにより、学生の学習意欲の向上にも大きく影響するはずである。
- ③. 専任教員については相互授業参観などの FD 活動を積極的に実施されているが、非常勤の教員の実施も検討し、専任及び非常勤教員による包括的相互評価システムを構築する必要があると考える。また、非常勤教員と教員の意思疎通のできる機会を定期的に設けたい。

### (3) スポーツ・トレーニング科目

#### 1. 評価

##### I. 受講する姿勢や動機について

###### I-1 「学生の出席状況」

平均値 4.51 (平成 21 年度調査は 4.47・平成 20 年度 4.53・平成 19 年度 4.47・平成 18 年度 4.53)。出席率 80 %以上と答えた学生は 88 %であった。平成 21 年度は 88 %、平成 20 年度調査では 90 %、平成 17 年度調査では 93 %、平成 18 年度 89 %平成 19 年度 88%と出席状況は年々下降。平成 22 年度は前年と変わらず。

###### I-2 「健康・運動への関心」

平均値 4.20 (平成 21 年度調査は 4.08 平成 20 年度、4.11・平成 19 年度 4.12・平成 18 年度 4.06)。平成 22 年度は「強く関心を持つが 45.80 %、そう思うが 34.35 %」で約 80%。平成 21 年度は約 77 %である。過去 3 年間は 75 %の学生が「健康・運動」に関心を持っていると回答したが、今回は増加した。

###### I-3 「積極的参加」

平均値 4.35 (平成 21 年度調査は 4.28 平成 20 年度 4.21・平成 19 年度 4.21・平成 18 年度 4.26)。平成 22 年度は「強くそう思う 55.72 %、そう思うが 31.67 %」の約 87%。平成 21 年度はで積極的態計の学生は 85 %。比率は昨年と比べ微増した。

###### I-4 「受講動機の回答比率」

必修科目であるのでこの項目調査は適当でない。

##### II. 授業の内容や進め方について

###### II-1 「狙いの明確さ」

平均値 4.33(平成 21 年度調査は 4.23、平成 20 年度調査 4.21・平成 19 年度 4.30・平成 18 年度 4.14)。平成 21 年度は「強くそう思う 50.65 %、そう思う 33.53 %」の約 84 %。平成 20 年度の 83 %よりわずかに向上した。この比率は平成 19 年度 83%も超え前年に引き続き達成目標値も超えた。

###### II-2 「難易度」

平均値 3.26(平成 21 年度調査は 3.20、平成 20 年度調査は 3.20・平成 19 年度 3.22 平成 18 年度 3.22)。平成 22 年度は「ちょうど良い 67 %」平成 21 年度とほぼ同様であった。

###### II-3 「進捗」

平均値 3.19 (平成 21 年度調査は 3.14、平成 20 年度調査は 3.12、平成 19 年度 3.17、平成 18 年度 3.12)。平成 22 年度は「ちょうど良い 83 %」平成 20 年度まではよい傾向で改善されていたが、平成 21 年度は過去最低を記録した。平成 22 年度は改善。

###### II-4 「説明方法・分かりやすさ」

平均値 4.23 (平成 21 年度調査は 4.02、平成 20 年度調査は 4.08・平成 19 年度・4.17 平成 18 年度「3.98」)。平成 22 年度は「強くそう思う 48.48 %、そう思う 28.22 %」の約 77 %。平成 21 年度は約 69 %、平成 20 年度は約 71 %、19 年度 74 %と比較するとかこうしている最も向上している。21 %の学生は、どちらとも言えないと回答しており、この結果を大局的に見ると、まだまだ教員自身の改善努力が必要な項目になっているが、

良い変化の兆しが見える。

#### Ⅱ－５ 「話し方や声の聞き取りやすさ」

平均値 4.45（平成 21 年度調査は 4.36、平成 20 年度調査 4.41、平成 19 年度 4.42、平成 18 年度 4.37）。平成 22 年度は「強くそう思う 62.32 %、そう思う 26.39 %」の約 89 %である。平成 21 年度は約 86 %である。昨年は前年より下降傾向が見えたが、平成 22 年度は向上した。

#### Ⅱ－６ 「学生とのコミュニケーション」

平均値 4.44（平成 20 年度調査は 4.29・平成 20 年度 4.30・平成 19 年度 4.30・平成 18 年度 4.24）。平成 22 年度は「強くそう思う 58.41%、そう思う 27.83 %」の約 86 %である。平成 21 年度は約 83 %の学生が評価している。前年度は下降傾向を示していたが今年度は大きく向上している。十分に目標値は達成している。

#### Ⅱ－７ 「リーダーシップ」

平均値 4.46（平成 21 年度調査は 4.32、平成 20 年度調査 4.32、平成 19 年度 4.38、平成 18 年度 4.31）。平成 22 年度は「強くそう思う 60.00 %、そう思う 26.96 %」の約 87 %である。平成 17 年度、18 年度、20 年度の約 83 %は超えて 19 年度の 86 %をも超えた。「民主的・協動的リーダーシップ」は指導スキルに欠かせないものであるので今後も向上を目指す必要がある。

#### Ⅱ－８ 「授業の雰囲気」

平均値 4.46（平成 21 年度調査は 4.34、平成 20 年度調査 4.36、平成 19 年度 4.42・平成 18 年度 4.27）。平成 22 年度は「強くそう思う 59.91 %、そう思う 26.48 %」の約 86 %。平成 20 年度約 85 %。過去と比較しても同じ比率傾向を示している。この項目に影響を与える要素は、学生間の集団力学、施設設備、備品などがあると考えられるが、教員の指導スキルが影響する項目でもある。

#### Ⅱ－９ 「理解しやすさ」

平均値 4.41（平成 21 年度調査は 4.29、平成 20 年度調査 4.30、平成 19 年度 4.35、平成 18 年度 4.23）。平成 22 年度は「強くそう思う 56.09 %、そう思う 29.71 %」の約 86 %。平成 21 年度は約 85 %で同傾向。達成目標値に並んでいる。

#### Ⅱ－１０ 「知識・技術が身につく」

平均値 4.28（平成 21 年度調査は 4.13、平成 20 年度 4.16、平成 19 年度 4.20、平成 18 年度 4.05）。平成 22 年度は「強くそう思う 48.62 %、そう思う 33.09 %」の約 82 %。平成 21 年度で約 79 %。前回より向上している。重要な項目であるのでさらに何が有用な知識技術であるのか研究する必要がある。目標達成地まであと一步。

#### Ⅱ－１１ 「健康・体力維持に役立つ」

平均値 4.38（平成 21 年度調査は 4.22、平成 20 年度調査 4.19、平成 19 年度 4.27、平成 18 年度 4.17）。平成 22 年度は「強くそう思う 53.11 %、そう思う 32.42.%」の約 86 %。平成 21 年度で約 80 %。この 4 年間を見ると 80 %前後の評価であった。今回の調査では達成目標値 85 %を達成した。

### Ⅲ. 総合的に見て、この授業に満足していますか

平均値 4.46（平成 21 年度調査は 4.34、平成 20 年度調査 4.35、平成 19 年度 4.36、平成 18 年度 4.27）。平成 21 年度は「強くそう思う 59.94 %、そう思う 28.01 %」の約 88 %である。過去 5 年間は 85 %位の同じ傾向である。達成目標値 90 %に近い数値が今回の調査では得られた。

### Ⅳ. スポーツ・トレーニング用の独自の設問項目

#### Ⅳ-1 「希望種目」

平均値 4.19（平成 21 年度調査は 4.09、平成 20 年度調査は 4.22、平成 19 年度 4.08、平成 18 年度 4.06）。この調査項目は、1 年生の授業は必修であり、2 年時以上は自由科目であるので、データが混在し正しい評価は出来ない。恐らく、1 年生は、受講時間、種目選択に学生個人の意思が反映されないから「単位取得のため」であり、2 年次以上の学生は必修でないためいろいろな動機があると思われる。しかし「スポーツ種目」は希望種目になるように一定の配慮が必要である。

#### Ⅳ-2 「時間帯」

平均値 3.97（平成 21 年度調査は 3.80、平成 20 年度調査 3.92、平成 19 年度 3.89、平成 18 年度 3.72）。時間帯は学生の満足を得ていないと思われる。特に 1 時限目の設定は運動するのに相応しいと思われない。しかし悪いという訳でもないようである。現在の授業時間設定はやむをえないものであるが今後の改善課題でもある。

#### Ⅳ-3 「次年度の履修希望」

平均値 3.60（平成 21 年度調査は 3.51、平成 20 年度調査は 3.54、平成 19 年度 3.56、平成 18 年度 3.61）。1 年次終了して 2 年時以降に履修したい学生の比率が、平成 17 年度から徐々に低下していたが、今回は若干持ち直した。「希望種目」「時間帯」の設問と同様に 1 年生のみに限定して調査する必要がある。

## 2. 課題

- ①. 平成 17 年度達成値から、平成 18 年度以降の「達成する目標値」を設定した（表 1 参照）。この数値は努力目標であり義務目標ではない。また数字の根拠となる理論も無い。しかし、「努力目標数値」と考え、時間をかけていくと根拠のある数字を見つけることが出来るであろうという前提のもとで以下を記す。表 1 の「希望種目」「時間帯」「次年度履修希望」には「達成目標値」を設定していない。
- ②. 表 1 の達成値はアンケートの調査項目で、「⑤強くそう思う、④そう思う」、と回答した学生の割合である。但し、「難易度」「進度」については、「③ちょうど良い」と解答した学生の割合である。また、表の項目の「達成・未達成・増減」は、達成目標値を達成した項目は◎印、未達成は×印で表し、そして、今回の調査が前年度に比べて増加した場合は↑、減少した場合は↓、横這いは→で表している。数値は小数点以下四捨五入である。

表 1 「年度別達成値」と「達成目標値」の推移

	調査項目	18年度 達成値	19年度 達成値	20年度 達成値	21年度 達成値	22年度 達成値	達成 目標値	◎達成
I-1	学生出席状況	89%	88%	90%	88%	88%	95%	
I-2	健康・運動関心	75%	75%	77%	77%	80%	80%	◎
I-3	積極的参加	84%	84%	83%	85%	87%	85%	◎
II-1	狙いの明確さ	77%	83%	79%	84%	84%	80%	◎
II-2	難易度	68%	69%	72%	68%	72%	80%	
II-3	進度	82%	82%	85%	81%	85%	85%	◎
II-4	説明方法	67%	74%	71%	69%	77%	75%	◎
II-5	話し方・声の大きさ	85%	87%	89%	86%	89%	87%	◎
II-6	コミュニケーション	81%	82%	84%	83%	86%	85%	◎
II-7	教員のリーダーシップ	83%	86%	83%	85%	87%	88%	
II-8	授業の雰囲気	82%	85%	85%	87%	86%	90%	
II-9	理解しやすさ	80%	83%	85%	85%	86%	85%	◎
II-10	知識・技術の習得	76%	79%	77%	79%	82%	80%	◎
II-11	健康・体力維持	77%	81%	79%	80%	86%	85%	◎
III	総合的な満足度	85%	86%	85%	86%	88%	90%	
IV-1	希望種目							
IV-2	時間帯							
IV-3	次年度履修希望							

#### 総括

- ①. 「達成目標値」をクリアした項目：10項目
- ②. 「達成目標値」にあと1歩の項目：3項目
- ③. 「達成目標値」に一層の努力を要する項目：「学生出席状況」「難易度」「総合的満足度」の3項目

#### 備考

- 平成22年度の努力目標設定

上表を見ると努力の成果が十分にうかがわれる。教員が共通意識を持ち努力次第で未達成項目の達成は可能と考えている。平成22年度は「体育教員室」に努力目標として一つだけ「説明方法を改善しよう」のポスターを掲示した。学生の評価結果としては十分に効果あった。23年度も引き続き努力の継続である。

- 討議のための参考資料として「表2」を作成した。「表1」の補完として利用できる。



表 2 「各年度の平均値の推移」

	調査項目	17年度 平均値	18年度 平均値	19年度 平均値	20年度 平均値	21年度 平均値
I-1	学生出席状況	4.61	4.53	4.47	4.53	4.47
I-2	健康・運動関心	4.10	4.06	4.12	4.11	4.08
I-3	積極的参加	4.25	4.26	4.21	4.17	4.28
II-1	狙いの明確さ	4.10	4.14	4.30	4.21	4.23
II-2	難易度	4.00	3.22	3.22	3.20	3.20
II-3	進度	3.51	3.12	3.17	3.12	3.14
II-4	説明方法	3.91	3.98	4.17	4.08	4.02
II-5	話し方・声の大きさ	4.28	4.37	4.42	4.41	4.36
II-6	コミュニケーション	4.12	4.24	4.30	4.30	4.29
II-7	教員のリーダーシップ	4.23	4.31	4.38	4.32	4.32
II-8	授業の雰囲気	4.26	4.27	4.42	4.36	4.34
II-9	理解しやすさ	4.23	4.23	4.35	4.30	4.29
II-10	知識・技術の習得	4.02	4.05	4.20	4.16	4.13
II-11	健康・体力維持	4.16	4.17	4.27	4.19	4.22
III	総合的な満足度	4.18	4.27	4.36	4.35	4.34
IV-1	希望種目	4.00	4.06	4.08	4.22	4.09
IV-2	時間帯	3.51	3.72	3.89	3.92	3.80
IV-3	次年度履修希望	4.18	3.61	3.56	3.54	3.51

## 7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の教職課程の科目数は35科目、社会教育主事講座の科目数は0科目、日本語教員養成基礎講座の科目数は3科目が対象であり、全体では昨年同様38科目であった。

「Ⅲの満足度」について二講座のトータルで見ると、一昨年の平均値4.08、昨年度4.26であったが、本年度はやや下がり4.11となったが、全体の区分からは、三番目に高い平均値を占めていた。

### (1) 教職課程について

#### I 受講する姿勢や動機について

I-1 教職科目全体での「学生の出席状況」を見ると、平均値は4.45（標準偏差0.29）であり、昨年の4.53より少し下がったが、出席率が90%以上及び80%以上の受講者が圧倒的に多かった。教職科目の履修学生の出席状況は昨年同様で、満足できるものと判断できる。

教員免許取得という明確な目標があり、目的意識の高い学生が多いことによると考えられる。しかし、毎年のことであるが、出席が良くない学生も少数見られた。

I-2 「授業内容についてノートやメモをとるか」についての回答は、昨年度は平均値4.34（標準偏差0.43）、本年度の平均値4.28（標準偏差0.48）であり、昨年より少し下がっている。出席状況と同じく、ノートやメモをとる学生が「90%以上及び80%以上」の受講者の合計で見ると、81%と高かった。

I-3 「予習・復習」をするかについては、一昨年度は平均値2.76（標準偏差0.39）、昨年度の平均値3.08（標準偏差0.46）であり、今年度は平均値2.99（標準偏差0.29）でありこの数値は昨年より少し減少したが、予習する学生は約半数であり、全般的に教職科目では、予習・復習の必要性を感じていないのが現状である。授業の事前事後にも学習に取り組む姿勢を高める工夫は引き続き求められている。

I-4 「受講動機」については、教職科目は免許取得のために単位修得が欠かせない科目が多いので、「単位が必要」の一昨年度の67.1%が昨年度は69.4%と増加していたが、今年度は68.0%やや減少した。その他の項目では、「単位取得が楽」が昨年は12.7%から14.6%に増えていた。「時間が空いている」は、13.7%で昨年度とほとんど変わらない傾向であった。

一方、「講義への興味」は昨年度3.6%今年度3.3%、「教員にひかれて」は昨年度0.5%、本年度は0.4%と相変わらず低い傾向は変わらず、指導者の魅力と講義への関心を高める工夫が昨年同様に必要であると考えられる。

#### II 授業内容や進め方について

II-1 「授業のねらいの明確さ」については、一昨年度は平均値4.18（標準偏差0.49）、昨年度の平均値4.27（標準偏差0.38）で、本年度の平均値4.23（標準偏差0.45）でこの数値は昨年とほぼおなじで、授業のねらいは毎年明確になっていると言える。

- II-2 「授業の難易度」については、一昨年度は平均値 3.37（標準偏差 0.36）、昨年度の平均値 3.44（標準偏差 0.24）であり、本年度は平均値 3.43（標準偏差 0.23）でこの数値は一昨年からはほぼ同じであり、教職科目の場合、「③ちょうどよい」と判断できる。
- II-3 「授業の進度」については、一昨年度は平均値 3.10（標準偏差 0.22）、昨年度の平均値 3.19（標準偏差 0.16）であり、本年度は平均値 3.16（標準偏差 0.13）であり、この数値もここ数年はほぼおなじであり、「③ちょうどよい」と判断できる。
- II-4 「説明は分かりやすいか」は、一昨年度は平均値 3.98（標準偏差 0.47）、昨年度の平均値 4.07（標準偏差 0.45）であり、本年度の平均値は 3.97（標準偏差 0.46）で、昨年より少し減少したが、分かりやすさが 80%ととする学生が多いことがわかる。
- II-5 「話し方や声は聞き取りやすいか」では、昨年度の平均値 4.26（標準偏差 0.37）が、本年度は平均値 4.18（標準偏差 0.39）であり、少し減少した。
- II-6 「教材等の有効性」では、昨年度は平均値 4.15（標準偏差 0.35）、本年度は平均値 4.05（標準偏差 0.40）であり、少し下がった。
- II-7 「板書等の文字の読み取りやすさ」では、昨年度は平均値 4.18（標準偏差 0.39）で本年度の平均値 3.97（標準偏差 0.40）であり、「そう思う」学生が多くいるが、「どちらとも言えない」とする学生もやや多い傾向は、昨年と同様であった。
- II-8 「学習環境の雰囲気」は、昨年度の平均値 4.39（標準偏差 0.32）で、本年度の平均値 4.36（標準偏差 0.38）であり、昨年とほぼ同じで、「そう思う」学生が多くなっていた。
- II-9 「学習内容の理解」では、昨年度の平均値 4.10（標準偏差 0.42）、本年度の平均値 4.00（標準偏差 0.44）であり、やや昨年度より値は低いですが、理解できている学生が多い。
- II-10 「授業内容が身に付いたか」では、昨年度平均値 4.15（標準偏差 0.39）、本年度の平均値 4.09（標準偏差 0.42）であり、昨年同様身につけているとする学生が多い。
- II-11 「ものの見方や考え方が深まる」では、昨年度は、平均値 4.18（標準偏差 0.36）であり、本年度の平均値 4.10（標準偏差 0.44）あり、昨年度と同様妥当な評価を受けていると考える。
- III 「総合的な満足度」では、一昨年度の平均値 4.09（標準偏差 0.44）が、昨年度は平均値 4.23（標準偏差 0.41）、本年度は平均値 4.13（標準偏差 0.43）であり、満足度の高い学生が多いことがわかる。

教職課程科目は、各評価項目とも平均値は「4」以上評価が得られている項目がほとんどであり、全体的に見ると改善充実が推進できていると言えるが、なお一層の改善充実が期待される。

## （2）社会教育主事講座について

今年度は、履修者が少なく、対象科目とならなかった。

### (3) 日本語教員養成基礎講座について

社会教育主事講座に関するアンケート結果は今回なかったので、教職課程と日本語教員養成基礎講座の2講座を比較してみると、I-4 「受講動機」の項目では、教職課程は「単位が必要」が68.0%、日本語教員養成基礎講座は18.5%となっている。ところが、「時間帯が空いている」を見ると、前者が13.7%で、に後者が60.4%となっている。また「講義への興味」を見ると、日本語教員養成基礎講座は4.6%、教職は3.3%となっている。このことから日本語教員養成基礎講座の受講者は特に強い動機を持って受講しているわけではなく、時間的余裕があるので、日本語教育とはどのようなものであるのかという未知のものへの好奇心から受けてみようという者が多いのかもしれない。したがって、「予習・復習」をする者も2.84%と低い結果になっている。「教員にひかれて」という項目を見てみると、1.5%となっており、おそらく受講して初めて講師を知ることになるためであろう。今後はさらに学生に広報などで本講座の内容を知ってもらう必要があるだろう。

ただ、その他の設問はほとんどが4.0以上を占めており、他の教科全体が3.5～4.0であることから、全体的に好印象をもって評価されていることがわかる。この評価が今後も継続できるようさらに努力を続けていく必要があるだろう。

## 参考資料－実施要領



## 実施要領

### 1. 目的

教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること。

### 2. 対象科目

担当科目のうち、履修登録者数の多い科目（原則として履修登録者20名以上のもの）の中から2科目程度を選択し実施する。講師（非常勤）の場合は、1科目以上とする。

専門教育及び教養教育等（教職・社教・日語を含む）の両分野の科目を担当している場合は、それぞれ1科目以上を実施する。

なお、国際学部では、従来どおり原則として全科目を対象に実施する。

### 3. 実施期間：平成22年11月8日（月）～12月10日（金）（約1カ月間）

予備日：12月11日（土）～12月20日（月）

### 4. 実施科目の届出

教員は、実施届出用紙に必要事項（実施科目、実施日等）を記入し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。（国際学部開設科目は、原則として全科目を実施対象とするため、届出は不要。）

### 5. アンケート用紙

アンケート用紙は、「講義等科目用」、「スポーツ・トレーニング科目用」、「工学部実験・実習科目用」の3種類とする。（添付のアンケート様式参照）

### 6. 実施当日の手順

（1）アンケート用紙及び回収用封筒を学務課・教員控室等から受け取る。

（2）授業時間の一部（30分程度）を利用し、アンケートを実施・回収する。

アンケートの回収は、受講生個人を特定できないようにするため、受講生の協力を得て行う。外国語学部及び国際学部では、アンケートの実施・回収は原則として受講生によって行う。

（3）回収用封筒に必要事項（アンケート枚数等）を記入し、直ちに学務課・八王子学務課へ提出する。

## 7. 科目別集計表の作成

- (1) 集計作業は、外部の業者に委託する。
- (2) 実施科目については、科目別集計表を作成する。
- (3) 科目別集計表は、担当教員に学生が記入したアンケート用紙（自由意見欄を含む）とともに送付する。

## 8. 実施結果のとりまとめ

- (1) 担当教員は、科目別集計表の「科目別集計結果に対する所見」欄を作成し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。
- (2) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書にまとめるにあたって、学部、学科、コース、分野等別において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。

記載項目は、①実施状況（グループ分けの方法を含む）、②実施結果の分析、③今後の課題の3構成で記述し、概ねA判2枚程度（2,000字）とする。

- (3) FD委員会は、実施結果報告書 第Ⅰ部 全体集計、第Ⅱ部 科目別集計を作成する。

## 9. 活用方法

- (1) 実施報告書を教員に配布し、教員は自己の授業の改善に役立てる。
- (2) 各学部自己点検・評価委員会（または「FD委員会」）においてアンケートの結果をもとに、組織的に授業改善の方策を検討する。
- (3) 学長は、アンケートの結果をもとに、必要な改善策を検討する。



## アンケート様式



## 平成22年度 「授業改善のための学生アンケート」 講義等科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにすることを目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目名	担当教員名
-------	-------

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他											
	○	○	○	○	○											
学科	経営	国語	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	情報電子	情報	デザイン	開発	アジア	国際	その他
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

● 悪い例      ○ 良い例

【選択肢の凡例】 5：強く思う    4：そう思う    3：どちらとも言えない    2：そう思わない    1：全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-6	教材等(教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ)は授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	II-7	板書・OHP・パワーポイント・ビデオなどの文字や画面は読みとりやすいですか。	⑤	④	③	②	①
I-2	あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。	⑤	④	③	②	①	II-8	教室内は学習にふさわしい雰囲気に保たれていますか。	⑤	④	③	②	①
I-3	あなたはこの科目について、よく予習あるいは復習をしていますか。	⑤	④	③	②	①	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	⑤	④	③	②	①	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
							II-11	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	IV-1		⑤	④	③	②	①
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさすぎる	⑤	④	③	②	①	IV-2		⑤	④	③	②	①
II-3	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	IV-3		⑤	④	③	②	①
II-4	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①	IV-4		⑤	④	③	②	①
II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	⑤	④	③	②	①							①

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

---

---

---

---

---

---

---

---

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

---

---

---

---

---

---

---

---

○この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

---

---

---

---

---

---

---

---

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

平成 22 年度 学部 設 問 項 目

1. 政経学部

- IV-1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか
- IV-2 授業に支障をきたすような私語は無い

2. 外国語学部

- IV-1 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか
- IV-2 このクラスの学生数は適切ですか

3. 国際学部

- IV-1 授業の開始時間、終了時間は守られている
- IV-2 出欠はきちんととられている
- IV-3 授業中、学生同士の私語はない
- IV-4 1年生は今後進むコースを、2年生以降は所属するコースを選んでください。①国際協力、①国際経済、②国際政治、  
③国際文化、④国際観光、⑤農業総合

# 平成22年度 「授業改善のための学生アンケート」 スポーツ・トレーニング科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目名		担当教員名	
-------	--	-------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他											
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>											
学科	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	情工・電子	情工	デザイン	開発	アジア	国際	その他
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

● 悪い例      ○ 良い例

【選択肢の凡例】 5：強くそう思う    4：そう思う    3：どちらとも言えない    2：そう思わない    1：全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	⑤	④	③	②	①
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤	④	③	②	①	II-6	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	⑤	④	③	②	①
		90%以上	80%以上	60%以上	40%以上	40%未満	II-7	教員は授業運営に必要なリーダーシップを発揮していますか。	⑤	④	③	②	①
		II-8	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気になられていますか。	⑤	④	③	②	①					
I-2	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	⑤	④	③	②	①	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
I-3	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
		II-11	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	⑤	④	③			②	①			
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	⑤	④	③	②	①							
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	III	総合的に見て、この授業に満足していませんが。	⑤	④	③	②	①
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1
II-2	授業の難易度はどうですか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる	⑤	④	③	②	①	IV-1	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	⑤	④	③	②	①
		IV-2	受講した時間帯は適切でしたか。	⑤	④	③			②	①			
II-3	授業の進度はどうですか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①	IV-3	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか。	⑤	④	③	②	①
II-4	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①							

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

○この教室の環境(アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具<ボール・ラケット等>)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

# 平成22年度 「授業改善のための学生アンケート」 工学部・実験・実習科目用

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をより良いものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答えください。

授業科目名		担当教員名	
-------	--	-------	--

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他											
	○	○	○	○	○											
学科	経営	国ビ	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	情工・電子	情工	デザイン	開発	アジア	国際	その他
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

● 悪い例      ○ 良い例

【選択肢の凡例】 5：強くそう思う    4：そう思う    3：どちらとも言えない    2：そう思わない    1：全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-3	授業の進度はどうか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。 90%以上    80%以上    60%以上    40%以上    40%未満	5	4	3	2	1	II-4	説明は分かりやすいですか。	5	4	3	2	1
							II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	5	4	3	2	1
I-2	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	5	4	3	2	1	II-6	教材等(教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ・模型)は授業内容を理解するのに有効ですか。	5	4	3	2	1
I-3	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	5	4	3	2	1	II-7	教材(テキスト・配付資料・OHP・ビデオ・模型など)の使用は適切ですか。	5	4	3	2	1
I-4	あなたの受講態度(遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価)はどうか。 ⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	5	4	3	2	1	II-8	教室内は学習にふさわしい雰囲気に保たれていますか。	5	4	3	2	1
							II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	5	4	3	2	1
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	5	4	3	2	1
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	5	4	3	2	1	II-11	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。	5	4	3	2	1
II-2	授業の難易度はどうか。 ⑤難すぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさすぎる	5	4	3	2	1	III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	5	4	3	2	1

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

○この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 科目別集計様式









平成22年度「授業改善のための学生アンケート」科目別集計表（工学部・実験・実習科目用）

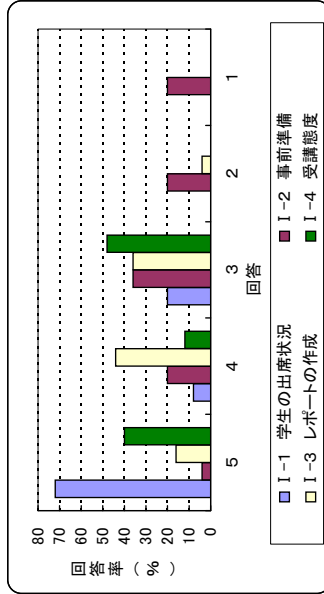
整理番号	*-*-*		*****		*****		*****		*****		*****		*****	
	年度	科目	1年	2年	3年	4年	教習	実習	実験	講義	演習	実習	実習	実習
1	2022	工学部	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

1. 各設問の回答の分布・標準偏差・平均値

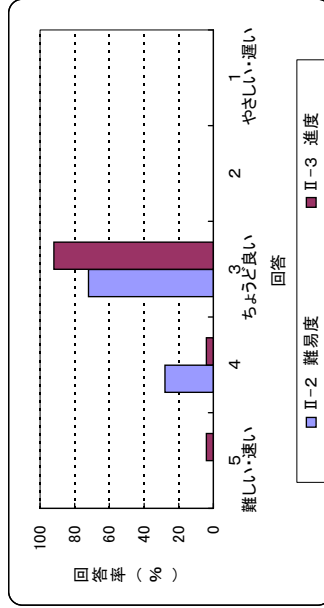
設問項目	有効回答数	エラー件数	1	2	3	4	5	標準偏差	全体平均値	注・参照
I-1 学生の出席状況	25	0	18	5	2	0	0	0.8	4.5	5.0
I-2 事前準備	25	0	1	5	9	5	1	1.1	2.7	2.7
I-3 レポートの作成	25	0	4	11	9	1	0	0.8	3.7	3.8
I-4 受講態度	25	0	10	3	12	0	0	1.0	3.9	4.2
II-1 狙いの明確さ	25	0	8	8	8	1	0	0.9	3.9	4.2
II-2 難易度	25	0	7	18	0	0	0	0.5	3.3	3.3
II-3 進度	25	0	1	23	0	0	0	0.4	3.1	3.1
II-4 説明方法	25	0	6	11	2	0	1.0	3.6	3.9	
II-5 声の大きさ	25	0	5	14	1	0	0.9	3.6	3.9	
II-6 教材等の効果	25	0	5	7	12	1	0	0.9	3.6	3.9
II-7 教材等の適切性	25	0	8	6	10	1	0	0.9	3.8	4.1
II-8 教室内の雰囲気	25	0	6	8	11	0	0	0.8	3.8	4.0
II-9 理解しやすさ	25	0	5	4	16	0	0	0.8	3.6	3.8
II-10 知識・技術が身につく	25	0	3	8	12	2	0	0.8	3.5	3.7
II-11 風方・考え方が深まる	25	0	3	5	14	3	0	0.9	3.3	3.4
III 満足度	25	0	6	5	13	1	0	0.9	3.6	3.8

注)平均値:授業の出席率が90%以上の学生による回答  
【選択肢の凡例】 5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全く思わない

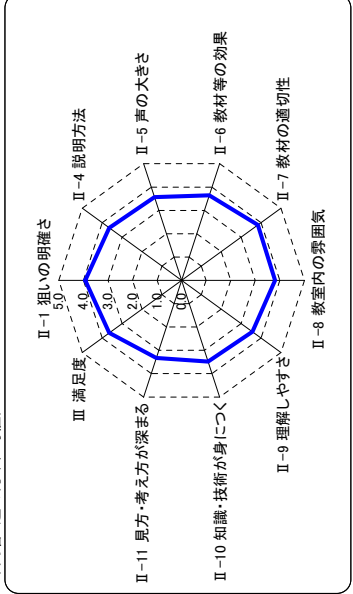
2. 受講する姿勢等について(回答の分布)



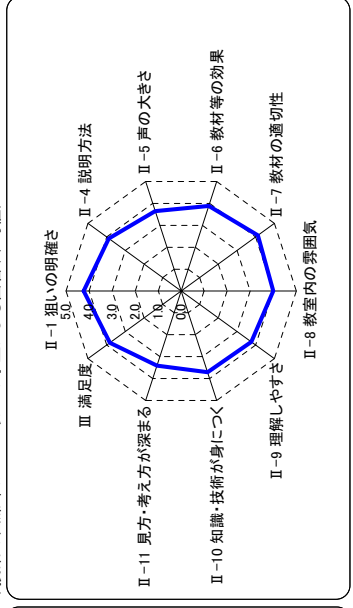
3. 授業の内容や進め方(難易度・進度(回答の分布))



2)内容・進め方(平均値)



3)授業の出席率が90%以上の学生による回答(平均値)



所属	身分	フリガナ	担当教員名
****	****	****	****
****	****	****	****

1. 自由意見欄での主な要望・指摘

自由意見欄での主な要望・指摘

2. 科目別集計及び自由意見欄に対する担当教員の所見

自由意見欄に対する担当教員の所見

3. 改善に向けた今後の取組方針

改善に向けた今後の取組方針

※字数は問いませんが、各項目の枠内に収まるように入力してください。



平成22年度  
授業改善のための学生アンケート報告書  
－全体集計－  
第I部

平成23年3月発行

編集・発行 拓殖大学自己点検・評価委員会

〒112-8585 東京都文京区小日向3丁目4番14号

電話 03-3947-7299 (学務部 学長事務室)